

小樽市 デジタル技術活用 オーバーツーリズム実態調査 分析結果 (2025年1-12月総括版)

2026.2.13



Pacific
Consultants

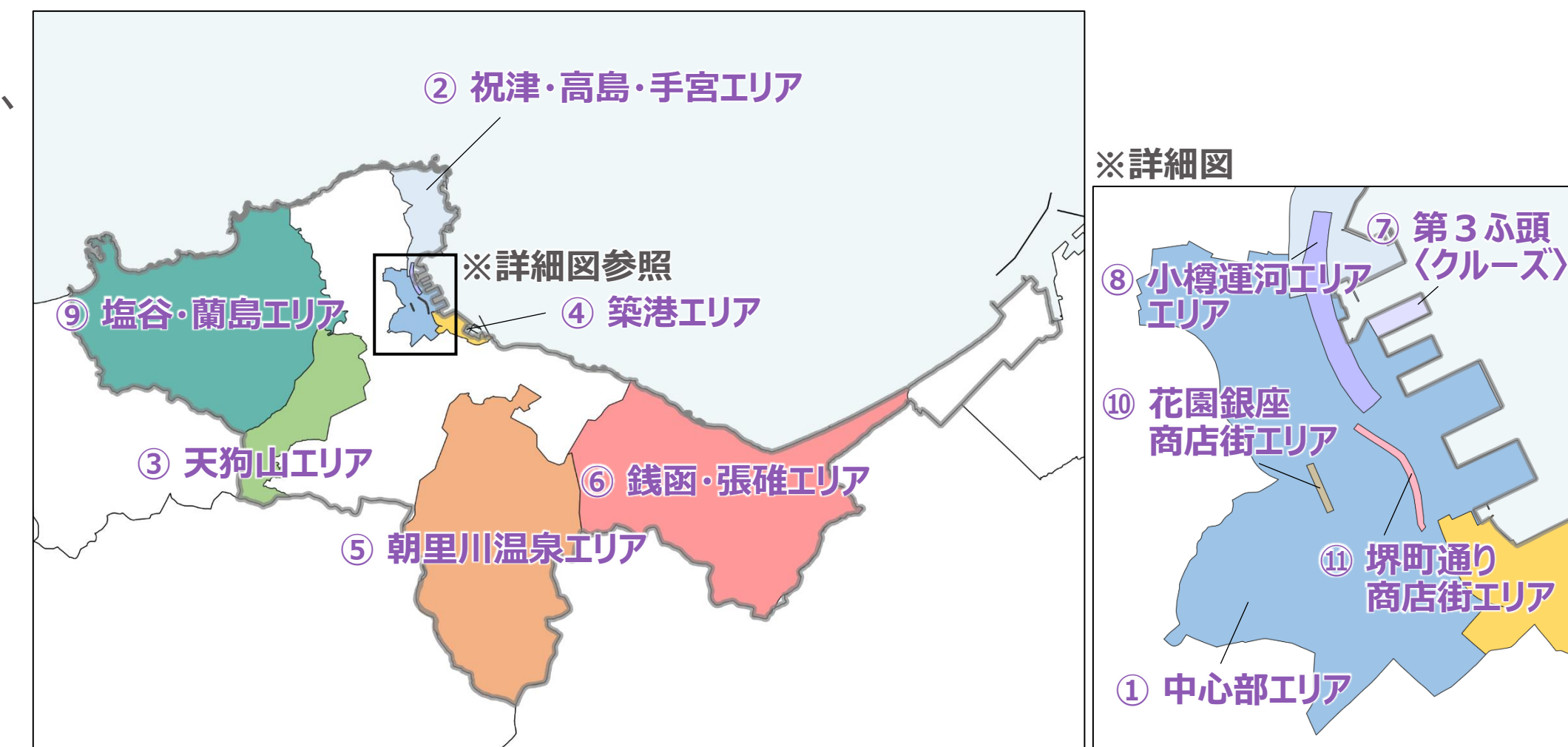
デジタル技術活用オーバーツーリズム実態調査（令和7年度）

【業務目的】

- 昨今、小樽市においては外国人観光客の増加などによりオーバーツーリズムが深刻化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じて実施する観光入込調査結果を基礎として、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の動態調査を網羅的かつ解像度の高い形で行い、オーバーツーリズムの実態を把握することを目的とする。
- また、小樽市がこれまで実施してきた観光入込客数調査をGPS人流データを使用した調査に切り替える場合の両者の結果の違いの傾向を把握するとともに、GPS人流データを用いる際の観光入込客の定義や、観光入込客の移動元・移動先分布に係るデータ取得のあり方、観光消費額算定上の観光入込客数（実人数）把握のあり方についての検討も併せて行うことを目的とする。

【調査対象地】 小樽市全域のほか、以下の市内11エリア

- ① **中心部エリア** : 稲穂、花園、色内1・2丁目、港町（第3ふ頭除く）、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目、住ノ江、住吉町、若松
- ② **祝津・高島・手宮エリア** : 色内3丁目、手宮、高島、祝津
- ③ **天狗山エリア** : 天狗山、最上2丁目
- ④ **築港エリア** : 有幌町、信香町、築港（勝納ふ頭含む）
- ⑤ **朝里川温泉エリア** : 新光5丁目、朝里川温泉
- ⑥ **銭函・張碓エリア** : 張碓町、春香町、桂岡町、銭函1～3丁目、見晴町、星野町
- ⑦ **第3ふ頭〈クルーズ〉** : 港町（第3ふ頭のみ）
- ⑧ **小樽運河エリア** : 小樽運河沿い
- ⑨ **塩谷・蘭島エリア** : 塩谷、蘭島
- ⑩ **花園銀座商店街エリア** : 花園銀座商店街
- ⑪ **堺町通り商店街エリア** : 堺町通り商店街

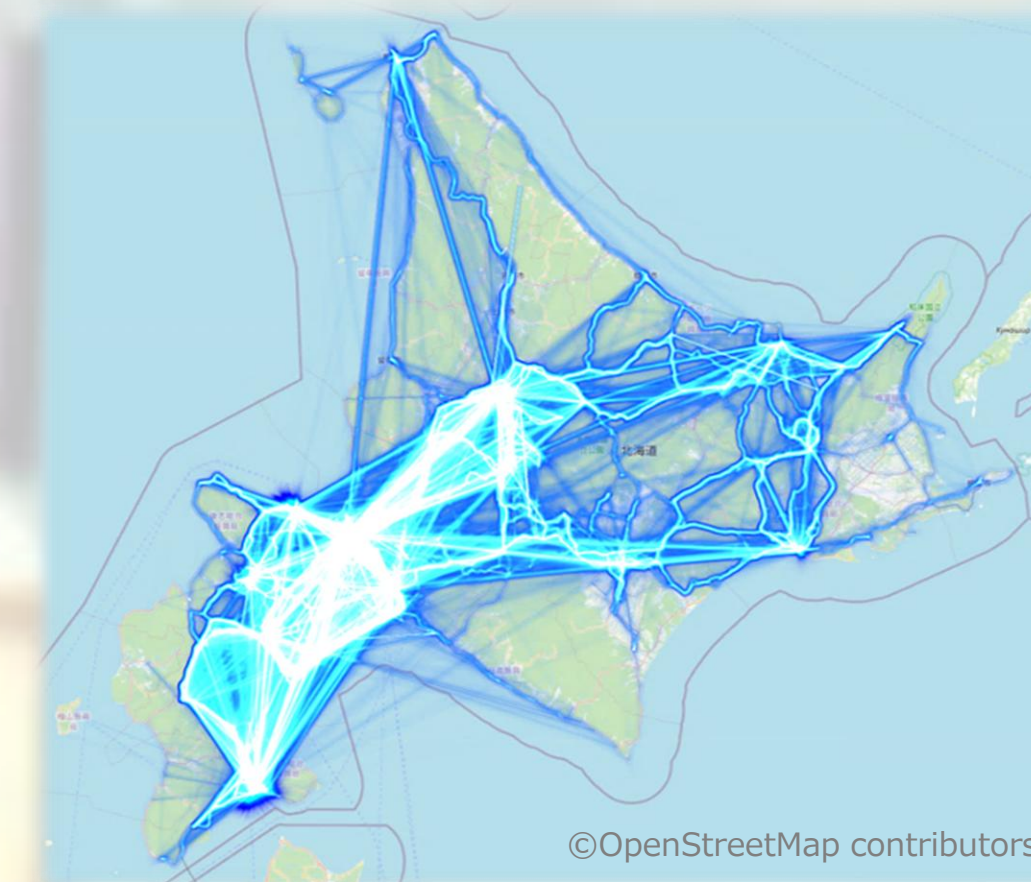


全国インバウンド統計

【網羅性】 24時間365日、全国数千万人のインバウンドの移動を高精度に把握

【機能性】 独自のロジック (特許技術) から、来訪・周遊動向を居住国別や交通手段別に分析

【有用性】 ご要望に応じ可視化・解釈や施策検討まで伴走、真に役立つアウトプットを提供




©OpenStreetMap contributors

できること

インバウンド携帯端末のGPS位置情報 Powered by **Azira**

メニュー

施設来訪分析 

エリア来訪分析 

広域周遊分析 

分析項目

※選択内容によりお見積りいたします。

来訪人数 / 宿泊客数

滞在時間 / 宿泊日数

居住国・自治体

移動経路 / 交通手段

+ オプション ・性/年代 ・拡大推計(居住国別) ・広告/アンケート配信 ・集客施策案の検討

ユースケース

観光

- 各観光地等への来訪状況の把握
- in-out空港や周遊ルートの把握
- 重点ターゲット・ペルソナの検討
- プロモーション検討、効果検証 等



交通

- 二次交通検討・周遊ルート造成
- 多言語対応コンテンツによる誘客
- 道路整備効果検討の多角化
- 交通安全対策検討の強化

商業・不動産

- 商品仕入・テナント誘致の最適化
- ライバル施設等への来客分析
- 出店候補地への来訪客層把握
- 開発・不動産投資の重点検討

項目	内容
「(日本人)観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。 ※「観光入込客統計に関する共通基準(令和5年改訂版)」(以下「共通基準」という)の定義に基づく。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率(日本人・インバウンド)、人口統計(日本人)、出入国管理統計(インバウンド)により、国別の拡大推計を実施している(いずれも詳細は非公開)。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
滞在判定について	エリア内に一定の時間以上滞在することにより、入込客としてカウントしている。 滞在判定の閾値は原則として「15分」としているが、エリアの面積や性質をふまえ、⑧小樽運河エリアは「0分」、⑩花園銀座商店街エリアは「5分」、⑤朝里川温泉エリア/⑥銭函・張碓エリア/⑨塩谷・蘭島エリアは「30分」に設定している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」としているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①人流データ「モバイル空間統計」(株式会社ドコモ・インサイトマーケティング)から、「中国人」と「台湾人+香港人+韓国人」の比率を算出。 ②全国インバウンド統計における「台湾人+香港人+韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」を補完。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/自動車/徒歩 とクルーズの4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低い、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

※「全国インバウンド統計」は、パシフィックコンサルタンツ株式会社の登録商標です。「モバイル空間統計」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

入込客数等

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 居住地別の入込客数・宿泊客数・延べ宿泊客数

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	観光入込客数	771,130	749,921	646,921	464,003	549,499	711,018	815,562	854,835	668,224	620,819	482,893	772,678	8,107,503
小樽市全域	うち道内	460,565	429,219	387,569	301,483	385,536	519,590	566,819	594,390	453,752	404,420	355,797	507,840	5,366,979
小樽市全域	うち道外(外国人含む)	310,565	320,702	259,352	162,520	163,963	191,428	248,743	260,445	214,472	216,400	127,096	264,837	2,740,523
小樽市全域	うち外国人	132,256	135,774	93,250	45,123	46,227	40,726	52,262	61,344	35,675	53,278	41,640	69,700	807,255

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	宿泊客数	93,094	89,716	73,320	55,906	70,940	80,729	98,800	116,840	90,984	89,006	67,885	90,149	1,017,370
小樽市全域	うち道内	33,253	32,026	36,668	28,880	39,677	44,831	34,628	46,375	32,693	31,873	37,715	42,519	441,138
小樽市全域	うち道外	13,961	14,629	17,534	12,462	14,282	18,297	42,178	50,464	45,225	40,279	20,503	29,341	319,156
小樽市全域	うち外国人	45,879	43,061	19,118	14,565	16,981	17,601	21,994	20,001	13,066	16,854	9,668	18,289	257,077

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	延べ宿泊客数	105,767	99,613	79,847	61,151	79,633	90,231	114,970	136,696	105,052	100,588	78,772	106,306	1,158,626
小樽市全域	うち道内	36,964	34,055	38,874	31,029	42,949	48,735	37,747	51,115	35,236	34,325	42,910	47,287	481,226
小樽市全域	うち道外	16,188	15,912	19,207	13,606	16,685	21,347	49,235	59,572	53,035	47,752	24,243	34,186	370,968
小樽市全域	うち外国人	52,615	49,646	21,767	16,515	19,999	20,149	27,989	26,008	16,781	18,511	11,619	24,833	306,432

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● エリア別の入込客数

人流データによる入込客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
来訪判定エリア：小樽市全域	771,130	749,921	646,921	464,003	549,499	711,018	815,562	854,835	668,224	620,819	482,893	772,678	8,107,503
来訪判定エリア：中心部	292,312	280,456	241,305	165,633	199,097	222,553	271,057	303,083	248,891	234,325	167,890	284,777	2,911,378
来訪判定エリア：小樽運河	251,897	251,752	212,341	142,735	162,479	207,818	266,315	295,439	228,325	213,175	144,560	215,781	2,592,617
来訪判定エリア：祝津・高島・手宮	39,078	33,412	32,418	26,796	40,533	57,331	76,025	81,433	50,306	38,420	32,125	41,146	549,023
来訪判定エリア：天狗山	42,014	22,505	17,905	9,331	14,562	14,848	22,520	28,854	17,475	11,867	7,068	17,509	226,458
来訪判定エリア：築港	61,242	52,081	55,115	42,595	67,672	93,734	110,289	116,317	86,105	82,707	69,711	80,896	918,463
来訪判定エリア：朝里川温泉	23,894	22,392	19,829	13,261	15,552	20,671	23,738	30,162	20,904	19,361	15,930	24,830	250,524
来訪判定エリア：銭函・張碓	78,461	71,665	70,809	58,287	57,934	69,758	78,818	71,088	48,888	47,716	64,122	97,103	814,648
来訪判定エリア：塩谷・蘭島	11,160	9,659	10,442	8,782	10,888	21,006	28,184	19,490	10,205	7,281	8,353	11,817	157,268
来訪判定エリア：花園銀座商店街	1,415	1,356	1,216	762	1,526	2,492	3,312	3,794	3,900	2,838	1,857	1,307	25,775
来訪判定エリア：堺町通り商店街	72,443	70,828	52,508	28,875	55,069	71,507	86,744	105,473	78,749	76,443	42,780	54,448	795,868

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 入込客数 道内客上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
道内（小樽市除く）	460,565	429,219	387,569	301,483	385,536	519,590	566,819	594,390	453,752	404,420	355,797	507,840	5,366,979
札幌市	328,450	302,752	271,585	213,176	261,056	363,662	383,712	392,625	294,293	256,135	238,611	352,535	3,658,592
江別市	11,345	10,357	9,201	6,968	10,346	15,517	18,559	17,193	12,848	11,516	8,708	11,893	144,451
石狩市	13,165	11,159	9,891	8,033	10,164	11,527	13,920	15,830	12,011	9,583	12,003	16,061	143,346
旭川市	9,137	8,786	7,573	5,580	7,255	10,450	11,554	15,087	10,004	8,070	5,537	9,439	108,472
苫小牧市	8,055	8,204	8,254	5,425	7,239	9,753	9,371	10,843	8,164	7,692	6,166	9,225	98,390
余市町	7,377	6,139	4,981	4,865	9,040	5,510	7,066	9,232	10,706	8,995	13,206	11,086	98,203
倶知安町	6,157	5,436	5,060	4,339	7,371	9,088	10,462	11,059	10,271	12,063	8,011	8,533	97,853
千歳市	6,999	6,897	5,733	4,297	6,313	8,677	11,615	11,183	6,993	5,968	4,935	7,858	87,468
函館市	7,549	7,040	6,936	5,047	6,082	6,492	7,430	9,263	8,431	6,389	4,088	7,545	82,290
北広島市	6,175	5,865	5,034	3,904	5,272	6,587	8,249	7,404	6,056	4,792	4,224	6,622	70,183
恵庭市	4,844	4,536	4,149	2,916	4,578	6,492	6,884	7,125	5,286	5,632	3,554	5,288	61,284
岩見沢市	3,968	3,690	3,707	3,133	3,140	5,795	7,127	6,908	4,283	5,170	2,857	4,431	54,209
帯広市	3,959	4,283	3,645	2,580	2,694	4,465	5,762	5,204	3,848	2,942	1,928	3,673	44,983
岩内町	2,954	2,328	2,477	1,794	3,124	3,895	5,368	5,235	4,651	4,539	4,060	4,168	44,594
釧路市	2,465	2,570	2,468	1,935	2,016	1,773	3,366	3,686	2,543	1,555	1,476	2,389	28,243
共和町	1,486	1,922	1,495	1,409	2,264	2,090	3,609	2,974	2,710	2,354	2,474	2,652	27,439
室蘭市	2,216	2,197	2,061	1,388	2,148	2,502	2,669	2,571	2,242	2,774	1,285	2,257	26,309
北見市	1,752	1,867	1,876	1,136	1,636	2,027	2,396	2,788	1,874	1,933	1,039	2,520	22,843
当別町	1,735	1,384	1,274	1,030	1,173	2,058	2,123	2,138	1,740	2,060	1,504	1,845	20,063
登別市	1,572	1,483	1,592	981	1,686	1,805	1,122	2,014	1,271	2,522	1,381	2,158	19,586

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 入込客数 道外客上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
道外（外国人除く）	178,309	184,928	166,102	117,397	117,737	150,703	196,481	199,101	178,797	163,121	85,456	195,137	1,933,269
東京都	41,110	43,777	38,405	27,807	26,344	29,672	40,940	43,711	35,632	29,127	18,524	44,773	419,822
神奈川県	20,688	21,658	18,959	12,764	13,188	16,087	23,533	23,792	20,777	16,770	9,036	20,904	218,157
大阪府	18,438	16,562	15,863	10,648	9,503	13,205	19,772	17,906	15,089	16,728	7,601	16,885	178,200
埼玉県	13,818	14,706	12,501	9,112	9,139	9,437	13,707	15,830	12,848	10,298	5,933	15,287	142,616
千葉県	13,698	13,893	12,970	8,825	8,065	10,608	13,556	13,290	12,011	11,895	6,330	13,639	138,780
愛知県	10,752	10,181	9,015	6,750	6,528	8,677	13,070	13,693	12,145	11,138	4,963	10,493	117,405
兵庫県	9,464	9,401	8,697	5,888	4,578	7,505	8,370	10,657	9,502	8,742	3,500	9,142	95,446
福岡県	3,641	3,910	3,247	2,509	2,743	3,072	5,216	5,545	4,751	6,305	2,461	4,514	47,914
宮城県	3,968	4,184	3,893	2,615	3,124	3,452	4,306	3,841	3,245	3,362	2,283	4,448	42,721
茨城県	3,049	3,185	2,725	2,201	2,512	3,388	3,275	3,470	4,684	2,396	2,310	4,546	37,741
京都府	2,997	3,064	2,990	1,893	2,165	3,325	5,186	3,934	3,379	4,035	1,189	2,833	36,991
静岡県	2,782	3,042	2,504	1,942	1,868	3,040	4,276	4,182	3,848	3,909	1,449	3,031	35,872
新潟県	2,405	2,449	2,530	1,696	1,901	3,167	2,669	1,859	3,145	2,102	1,244	2,306	27,472
栃木県	2,198	2,021	1,982	1,178	1,603	3,167	2,335	2,292	2,175	2,312	943	2,998	25,204
青森県	2,095	2,537	1,831	1,556	1,471	1,552	1,759	2,571	2,610	1,681	1,531	2,883	24,077
長野県	1,889	1,900	1,681	1,143	1,504	2,375	2,669	2,385	2,710	2,690	738	2,026	23,710
福島県	2,284	2,394	1,946	1,367	1,917	2,343	2,274	1,270	1,138	1,807	1,435	2,949	23,126
広島県	1,975	1,977	1,884	1,549	1,669	1,932	1,304	2,230	2,141	2,774	943	2,092	22,472
岐阜県	1,228	1,527	1,637	1,002	1,107	1,678	1,880	3,160	2,677	2,438	766	1,483	20,582
群馬県	1,348	1,461	1,433	1,276	1,322	2,850	2,790	1,487	1,840	1,429	807	2,125	20,168

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 入込客数 外国人上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外国人	132,256	135,774	93,250	45,123	46,227	40,726	52,262	61,344	35,675	53,278	41,640	69,700	807,255
台湾	37,951	48,353	50,655	28,075	11,199	10,977	15,337	20,007	13,353	15,921	17,444	14,047	283,320
韓国	24,225	25,401	15,842	6,876	18,556	20,409	20,522	26,711	16,250	25,624	12,198	21,099	233,715
中国	58,637	49,090	17,757	4,948	4,813	3,674	7,524	9,474	3,537	6,659	6,276	18,818	191,205
香港	4,540	4,505	2,594	1,442	7,302	2,505	3,397	3,229	780	1,654	2,418	6,768	41,132
タイ	3,237	4,206	2,912	1,689	2,346	1,694	1,543	480	595	1,350	1,737	4,930	26,720
インドネシア	598	605	1,039	195	380	161	133	182	49	161	124	415	4,042
マレーシア	591	403	244	504	144	65	109	195	165	202	238	375	3,236
シンガポール	389	485	456	482	39	75	116	109	147	139	97	375	2,909
ベトナム	176	332	412	204	132	100	595	*	70	90	113	595	2,818
フィリピン	331	547	273	117	147	44	154	172	188	252	236	261	2,721
オーストラリア	192	540	308	207	71	110	33	127	61	126	95	411	2,279
アメリカ	117	129	81	126	202	495	190	76	45	294	117	135	2,007
インド	210	188	*	90	97	100	*	40	35	90	225	170	1,245
カナダ	32	26	111	54	36	*	23	*	11	*	10	91	393
ブラジル	*	17	48	40	19	33	44	*	*	30	63	50	343

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 宿泊客数・延べ宿泊客数 外国人上位

	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数
外国人	45,879	52,615	43,061	49,646	19,118	21,767	14,565	16,515	16,981	19,999	17,601	20,149
台湾	11,363	12,862	13,448	15,955	9,139	10,463	8,766	9,677	2,668	2,752	5,169	5,935
韓国	8,625	9,814	7,579	8,259	3,218	3,375	1,822	2,174	6,070	6,913	7,630	8,129
中国	19,574	22,199	17,876	20,619	4,357	4,950	1,970	2,227	2,174	2,596	2,240	2,485
香港	3,423	3,873	2,078	2,437	719	1,018	601	801	4,402	6,024	1,823	2,155
タイ	1,231	1,692	1,122	1,262	884	1,085	604	690	1,254	1,254	497	1,160
マレーシア	301	473	126	126	90	90	204	204	33	33	16	16
シンガポール	101	121	102	179	115	129	302	412	11	11	14	14
オーストラリア	75	75	116	145	44	44	66	66	37	55	62	62
インドネシア	264	294	141	176	153	153	79	79	157	157	40	40
フィリピン	118	118	115	115	121	121	*	*	67	67	*	*

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計	
	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数
外国人	21,994	27,989	20,001	26,008	13,066	16,781	16,854	18,511	9,668	11,619	18,289	24,833	257,077	306,432
台湾	7,703	10,123	5,548	7,566	4,874	6,374	5,914	6,428	4,390	5,403	2,723	3,714	81,706	97,252
韓国	7,117	9,317	7,680	9,683	5,045	5,910	6,601	7,452	2,633	2,734	4,793	5,021	68,811	78,781
中国	3,797	4,871	3,625	4,730	1,954	2,519	2,723	3,015	1,570	1,893	5,712	7,920	67,572	80,023
香港	2,496	2,774	2,623	3,430	187	747	236	236	613	1,072	3,513	6,557	22,714	31,124
タイ	304	304	*	*	427	570	437	437	148	148	800	800	7,710	9,404
マレーシア	86	86	98	98	75	75	178	178	62	62	55	55	1,323	1,495
シンガポール	28	28	52	52	23	23	128	128	86	108	92	165	1,054	1,371
オーストラリア	*	*	95	95	*	*	*	*	32	65	171	171	1,025	1,188
インドネシア	*	*	*	*	*	*	*	*	55	55	41	41	930	995
フィリピン	*	*	129	129	96	96	123	123	*	*	111	111	880	880

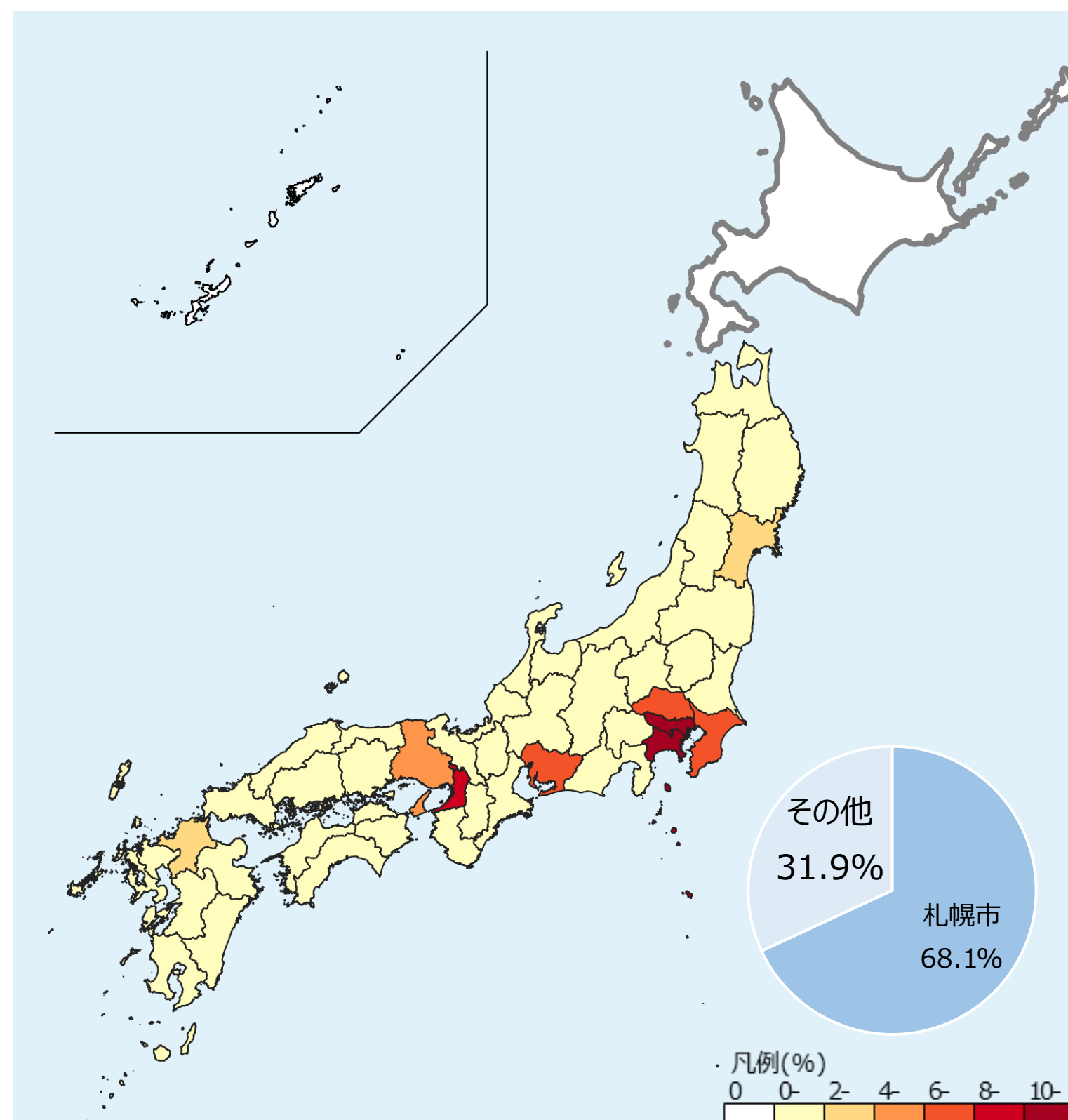
居住地

小樽市全域来訪者の居住地（2025年1-12月）

- 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は札幌のほか旭川・苫小牧・江別・千歳・石狩・倶知安・余市が多い。
- インバウンドは台湾が最も多くおよそ3割を占め、次いで韓国・中国が多い。

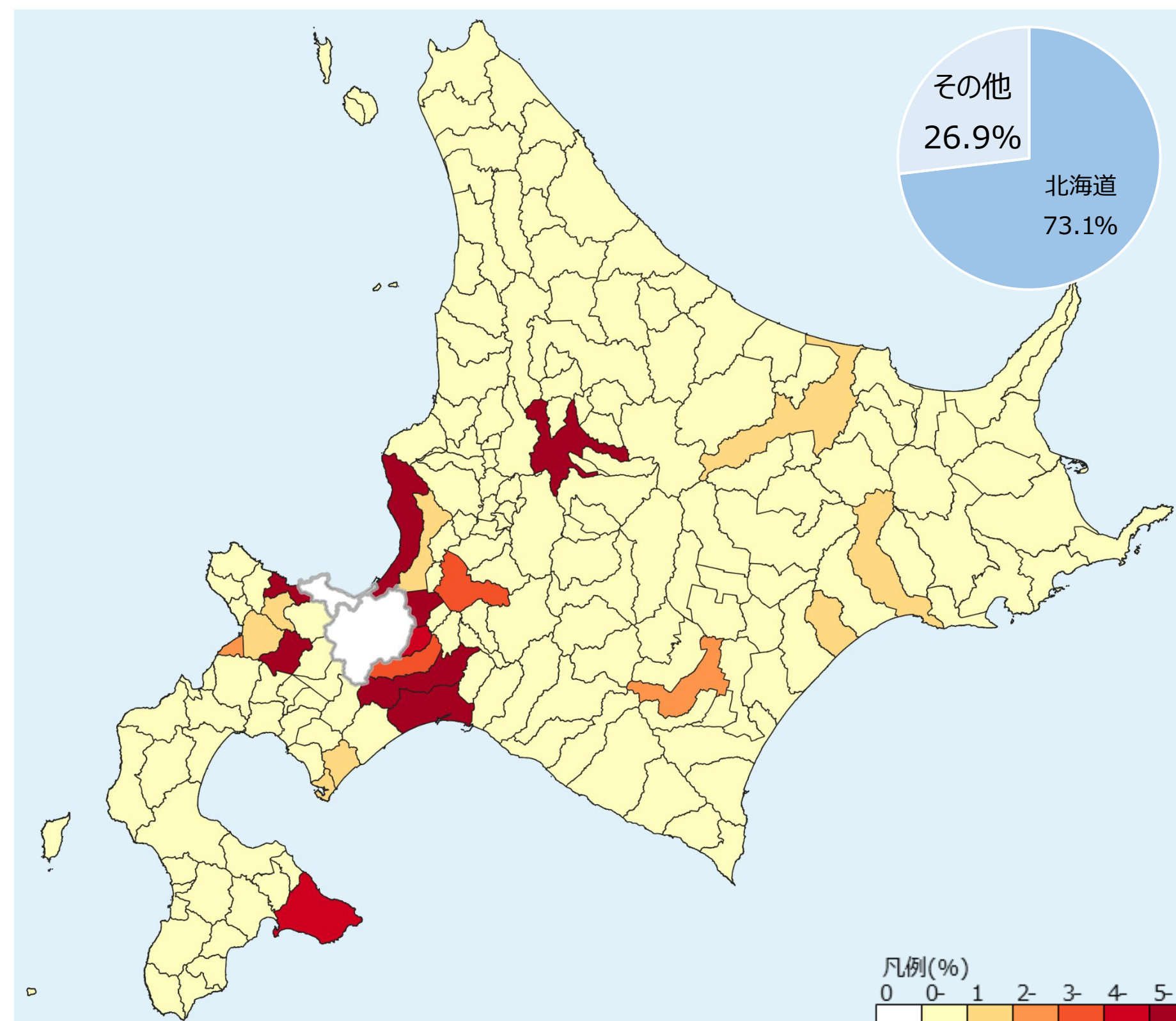
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客5,296.6人、道内客14,704.1人（一日当たり）



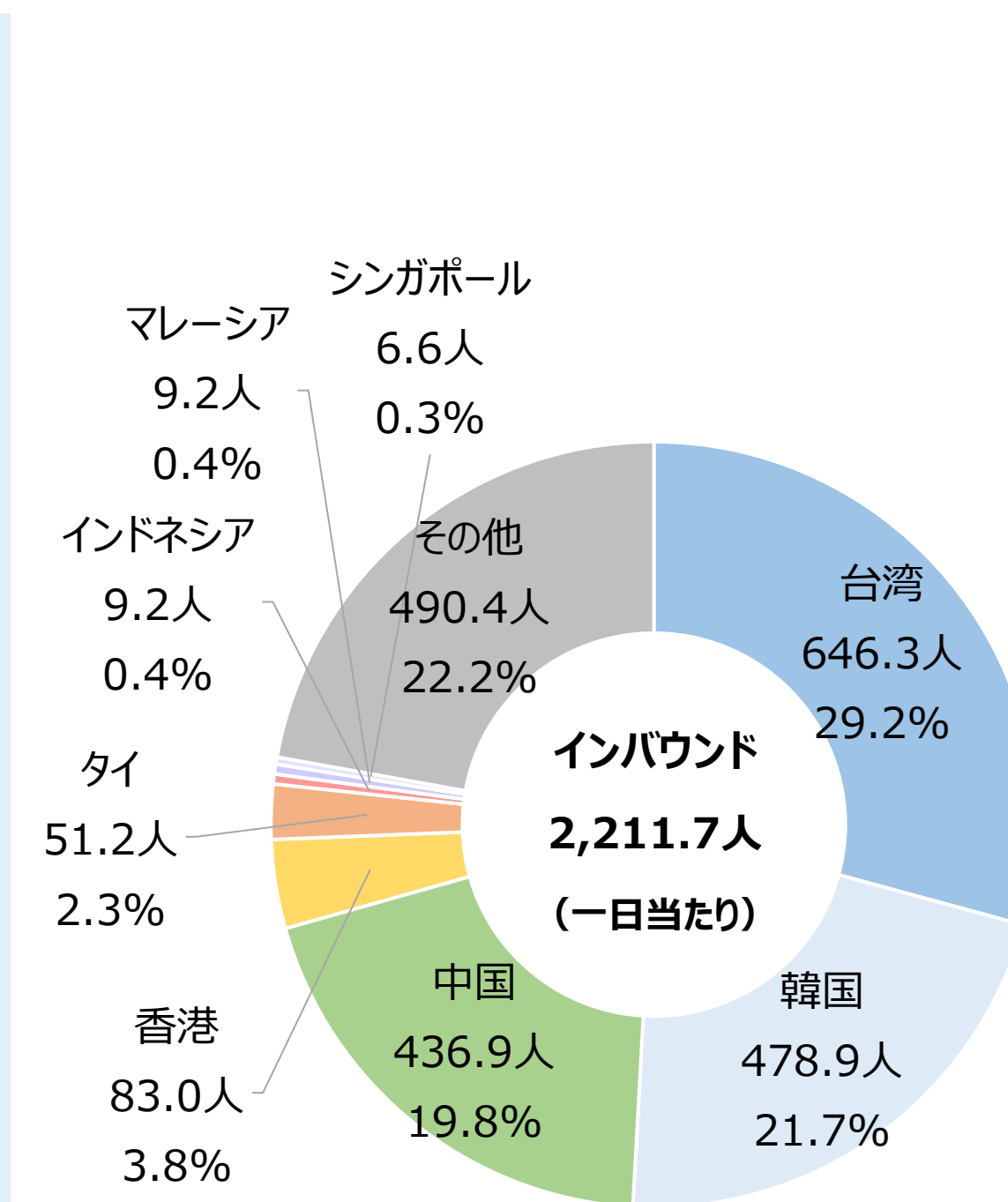
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）



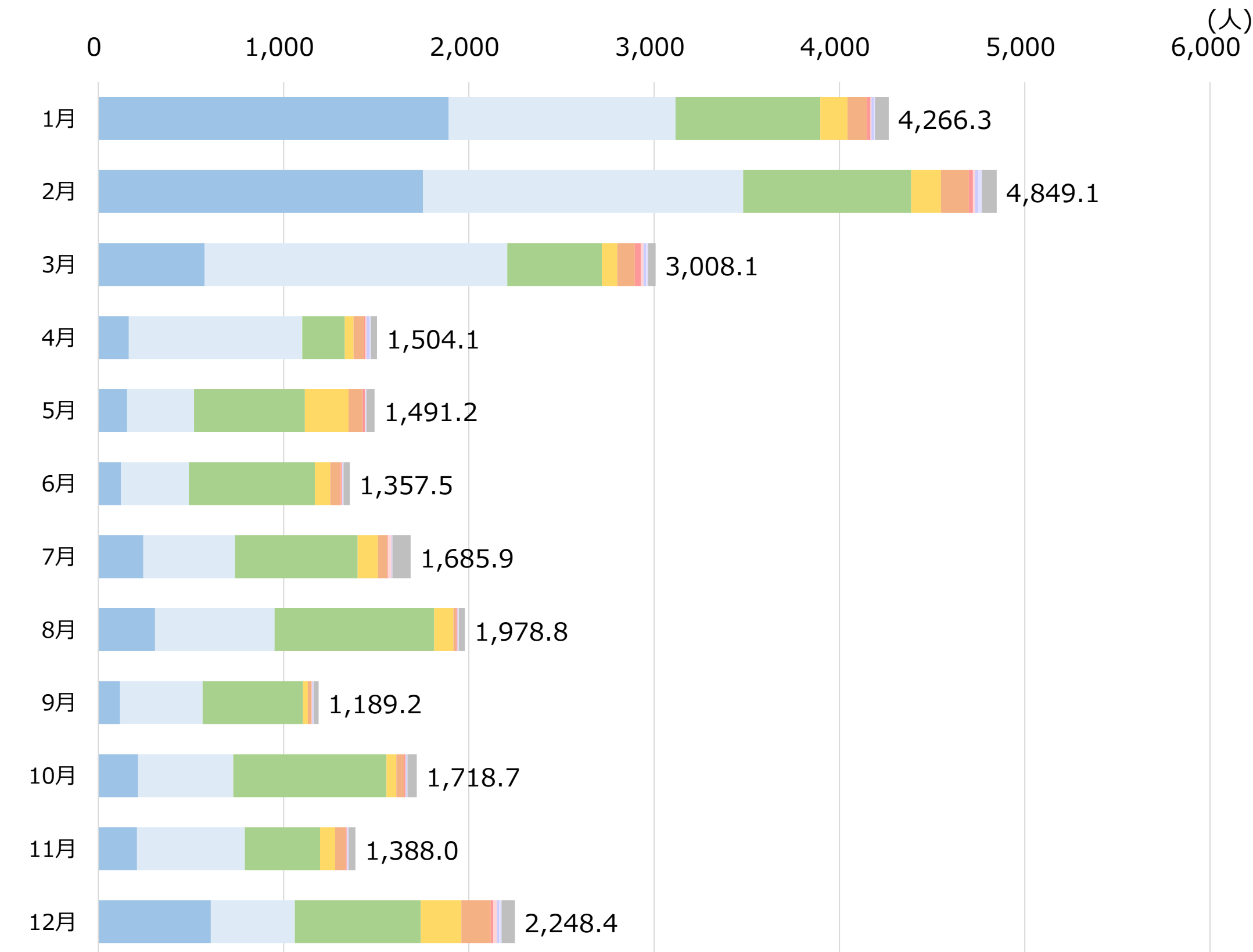
※インバウンドの合計値を100%としている。
 なお、中国については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の居住国（インバウンド）

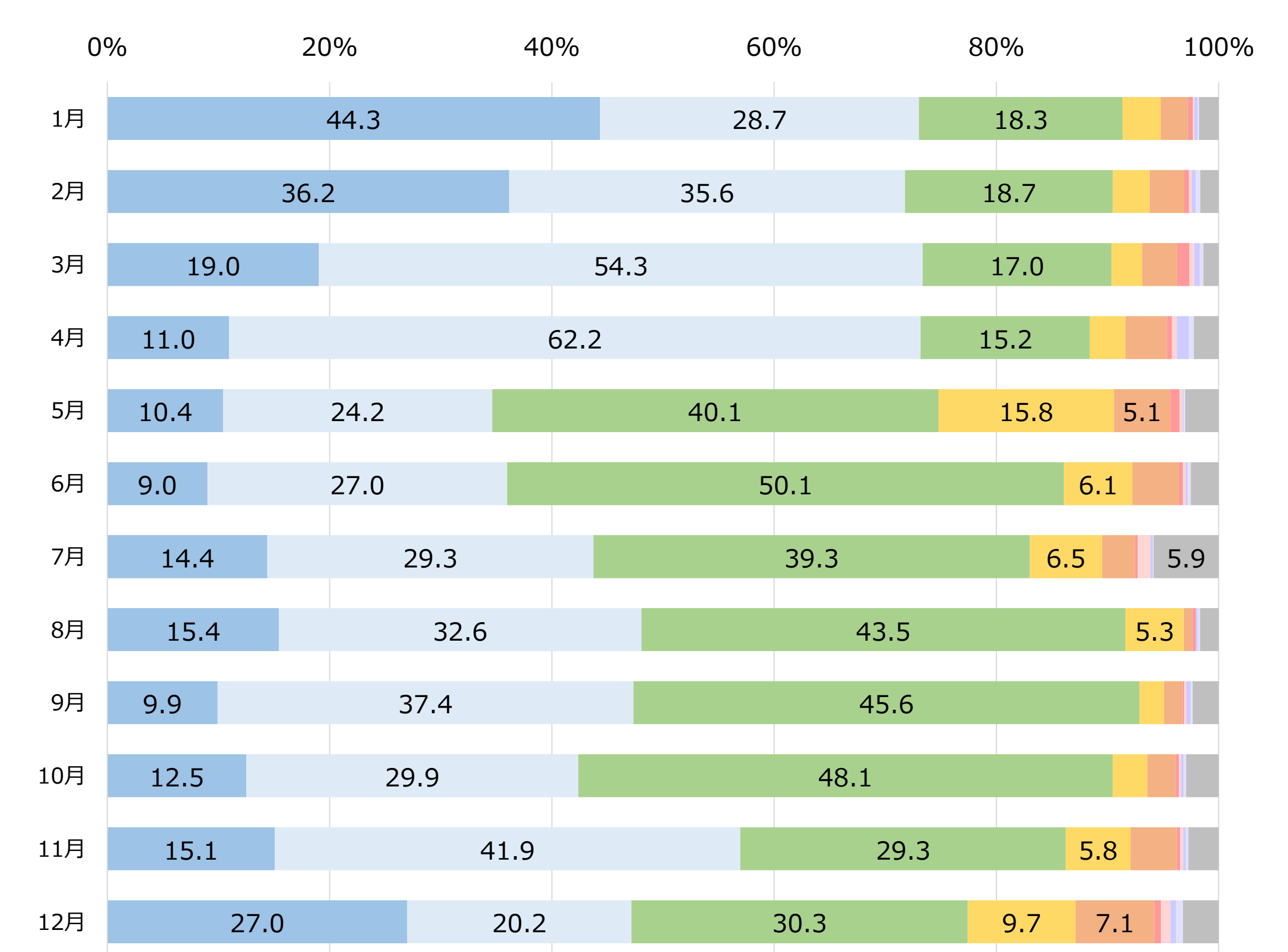
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉 ※一日あたり（次頁以降も同じ）



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

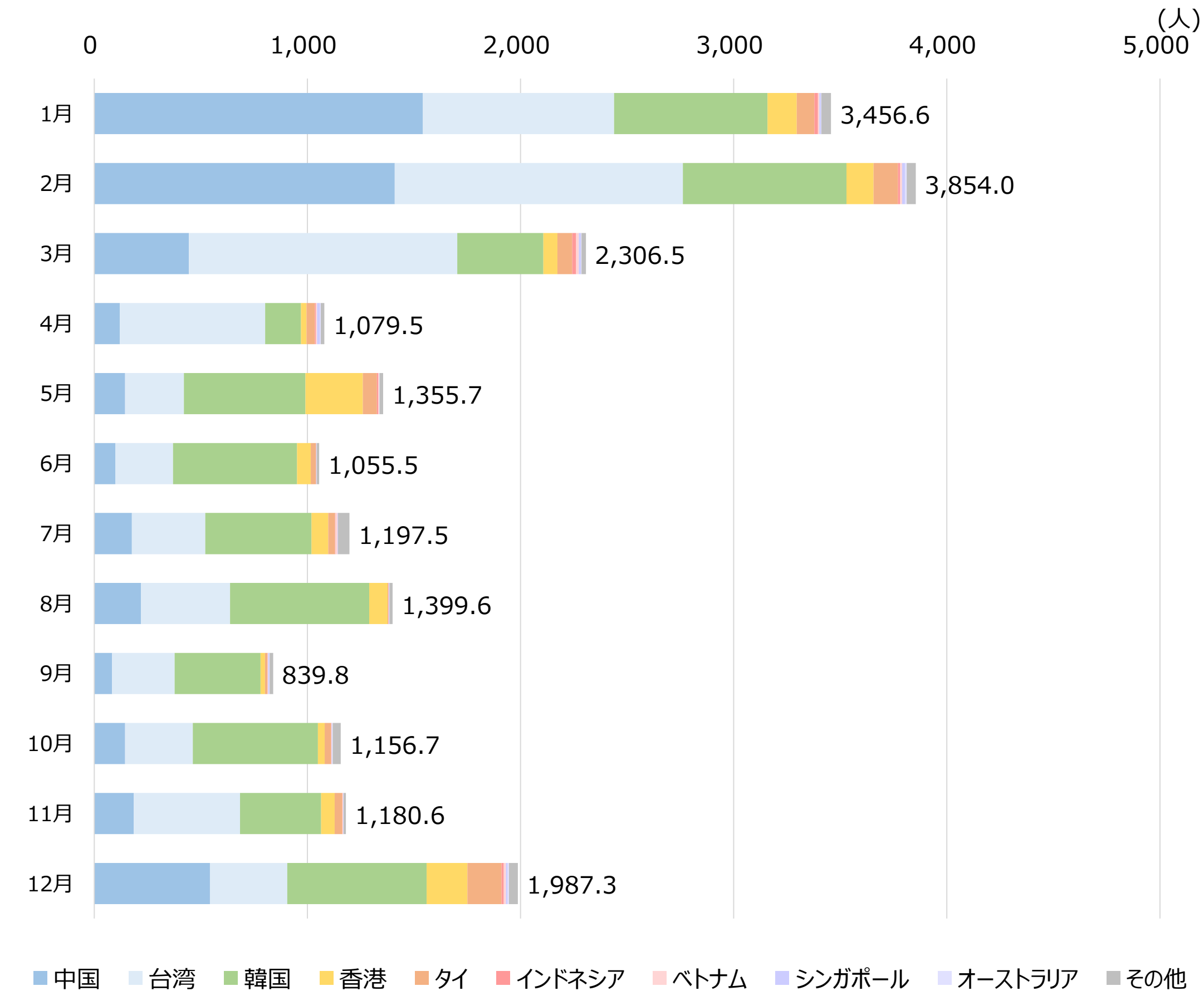
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリア来訪者の居住国（インバウンド）

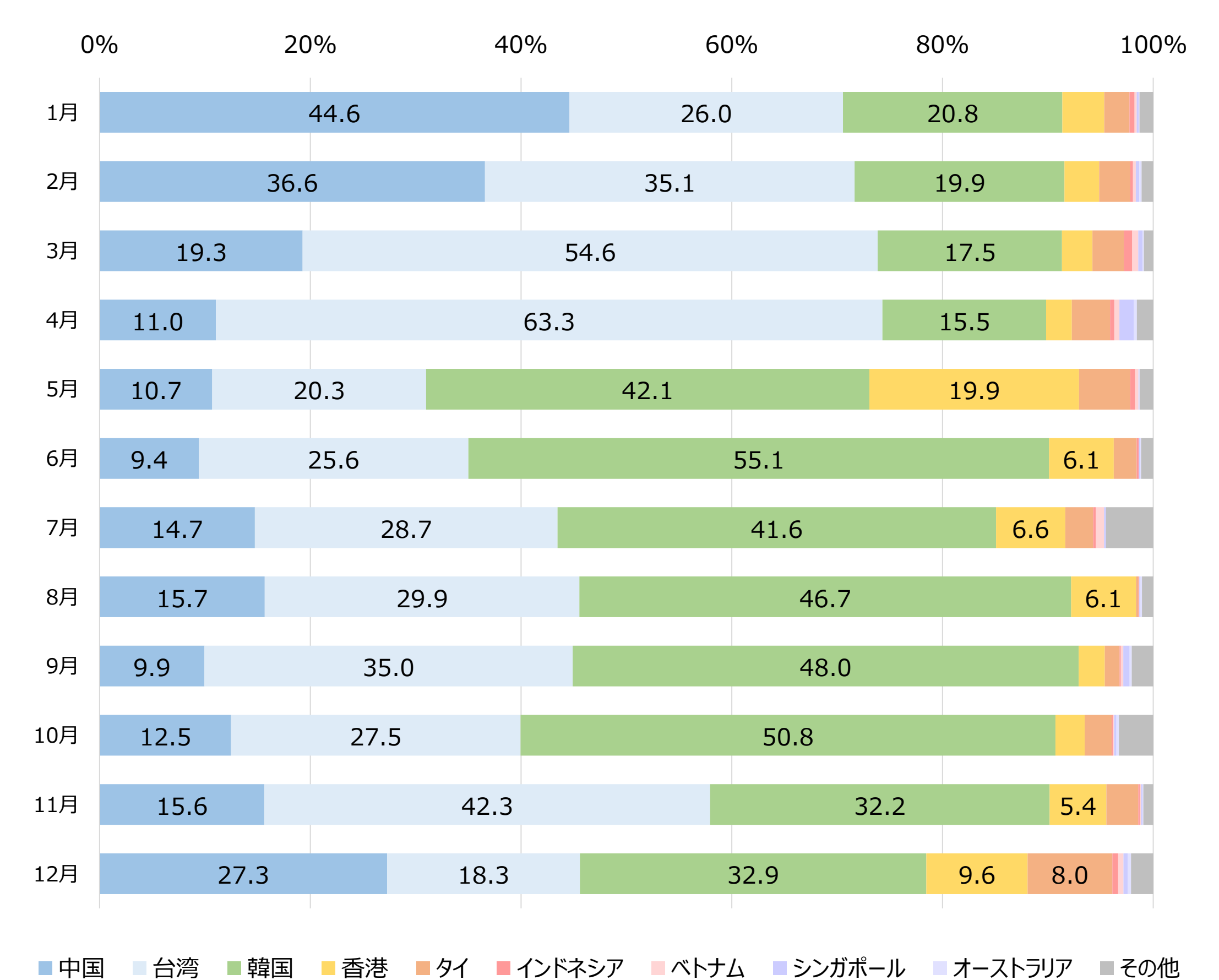
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



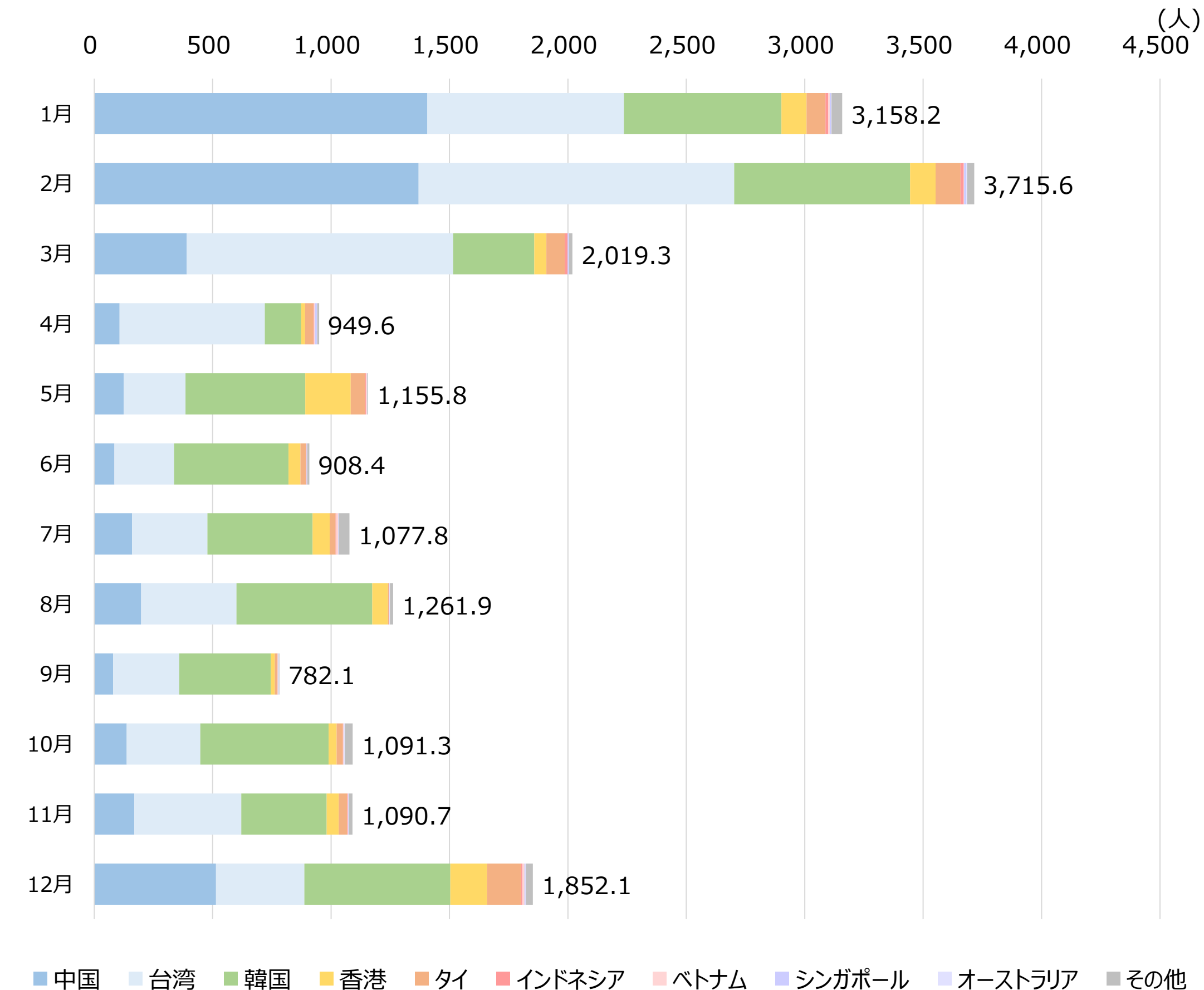
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリア来訪者の居住国（インバウンド）

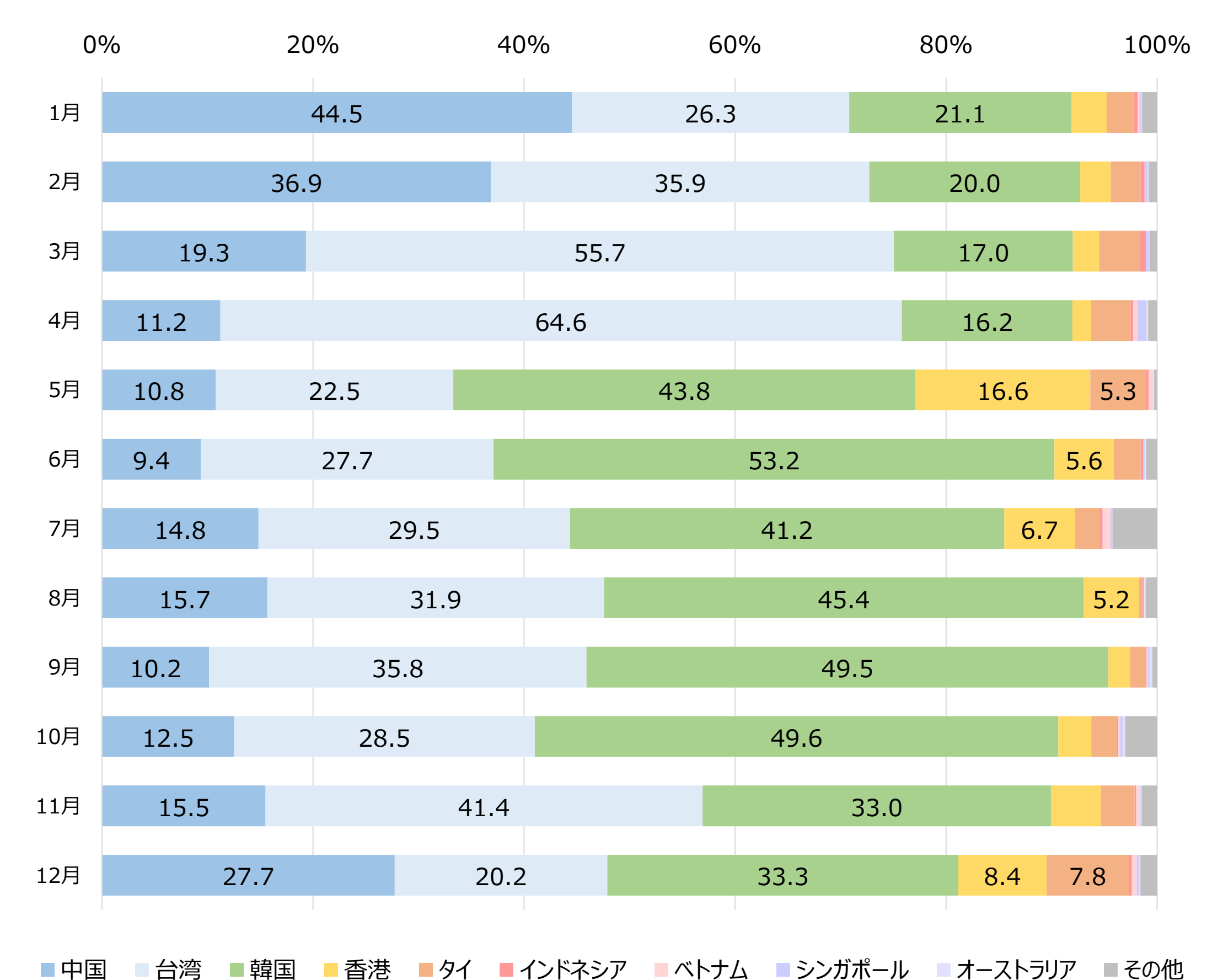
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



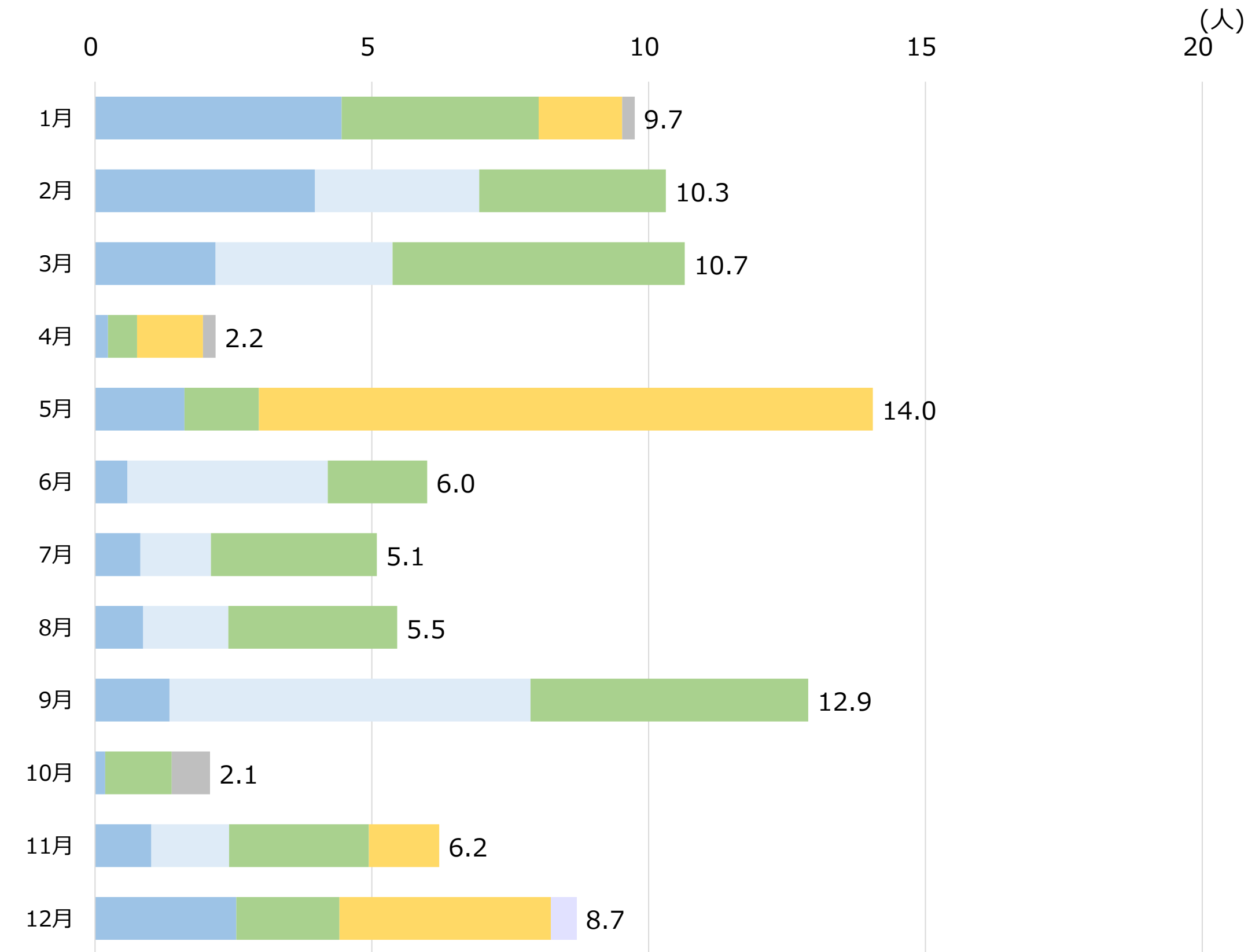
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

花園銀座商店街エリア来訪者の居住国（インバウンド）

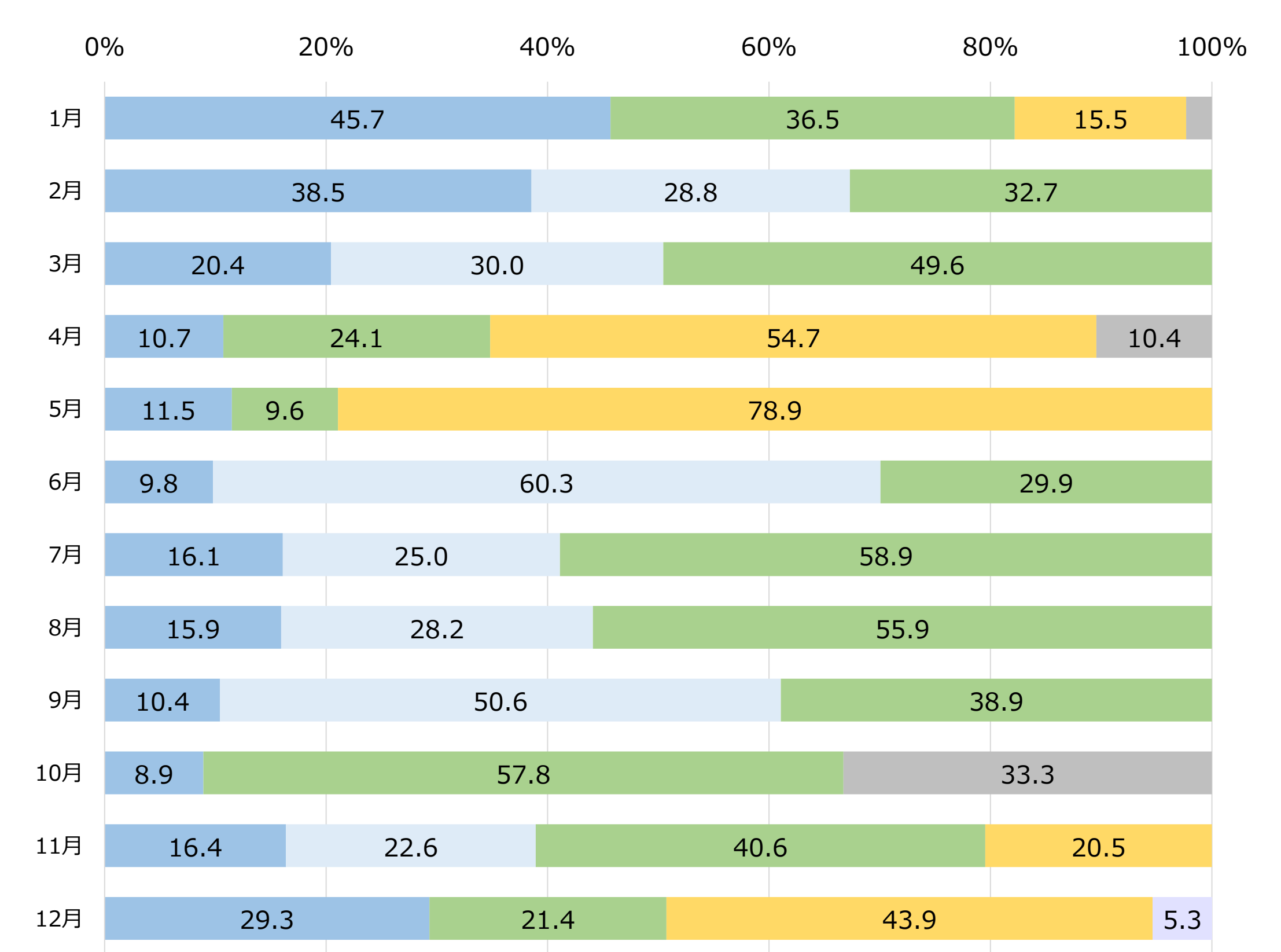
- 実数では、5月・9月の来訪が多く、10月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、香港からの来訪が最も多く5月がピークとなる。次いで台湾が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

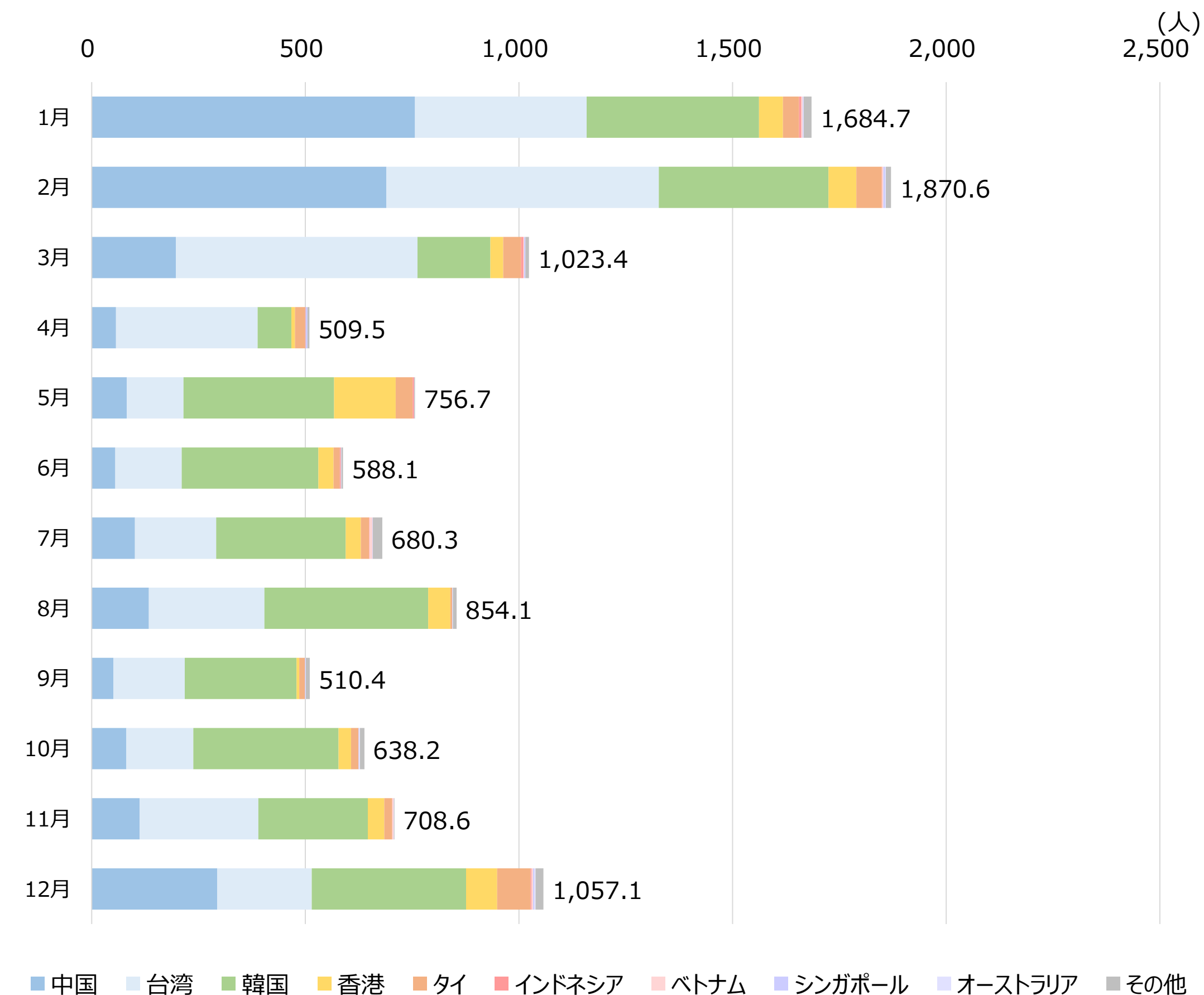
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリア来訪者の居住国（インバウンド）

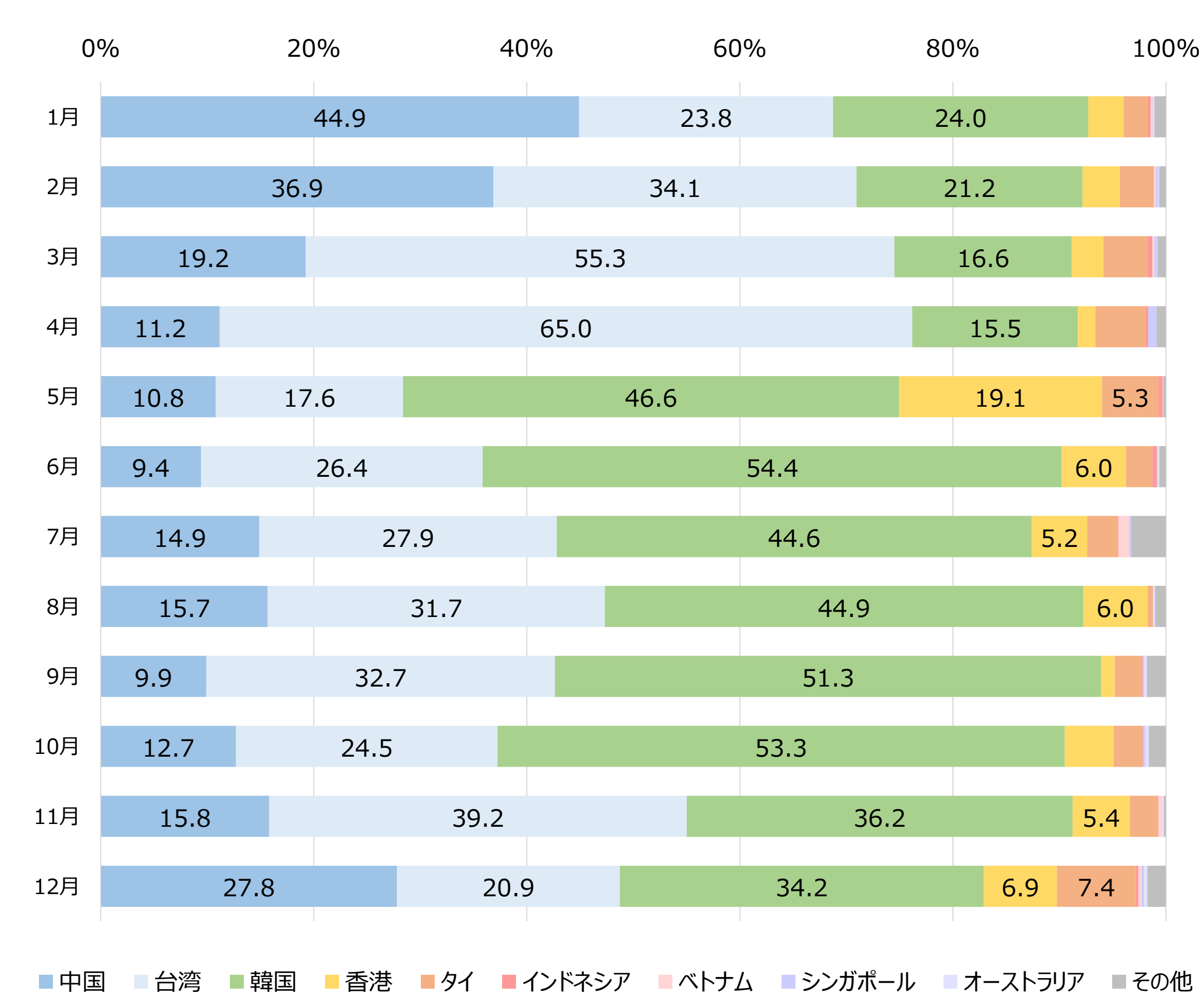
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、4月・9月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



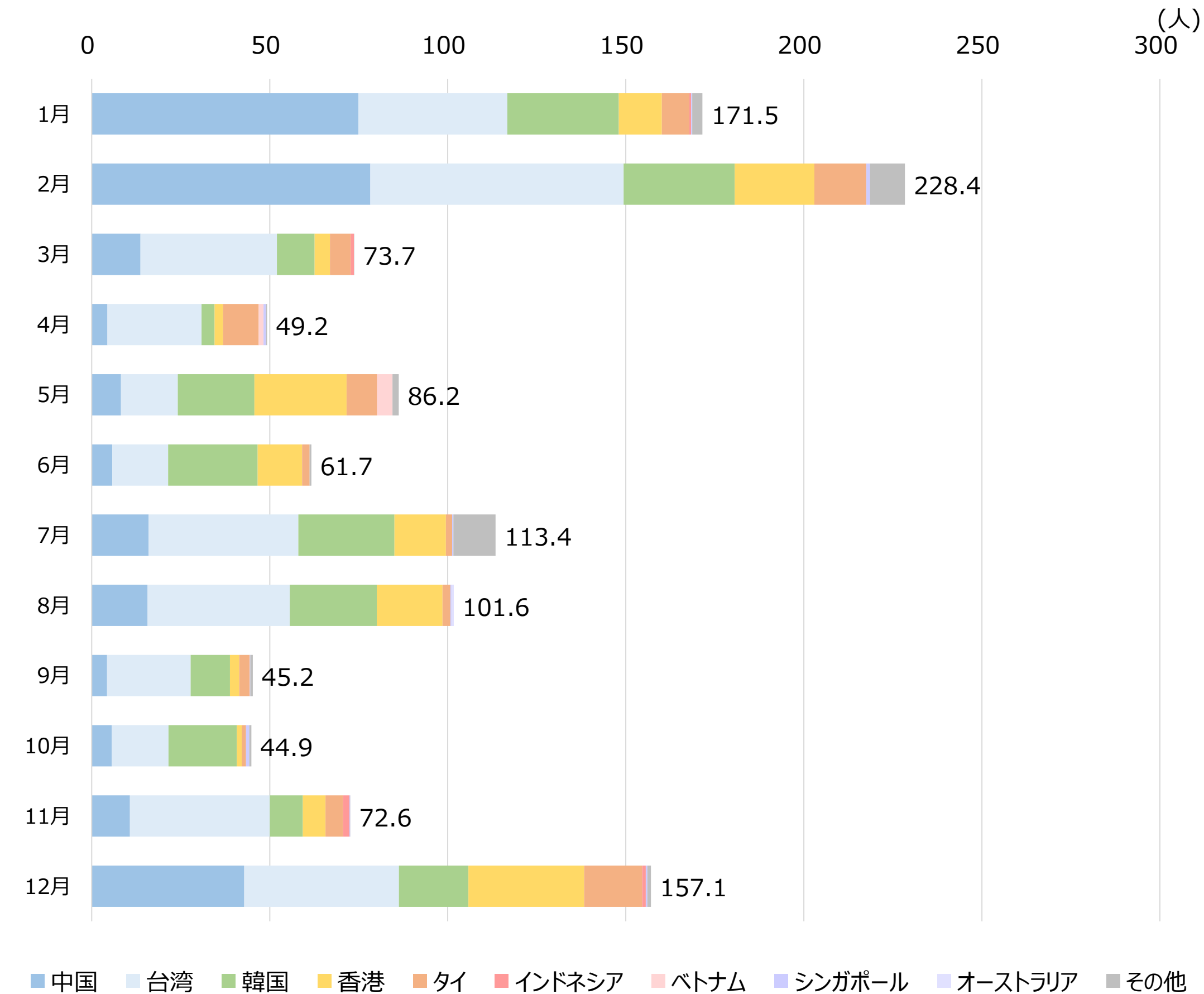
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

祝津・高島・手宮エリア来訪者の居住国（インバウンド）

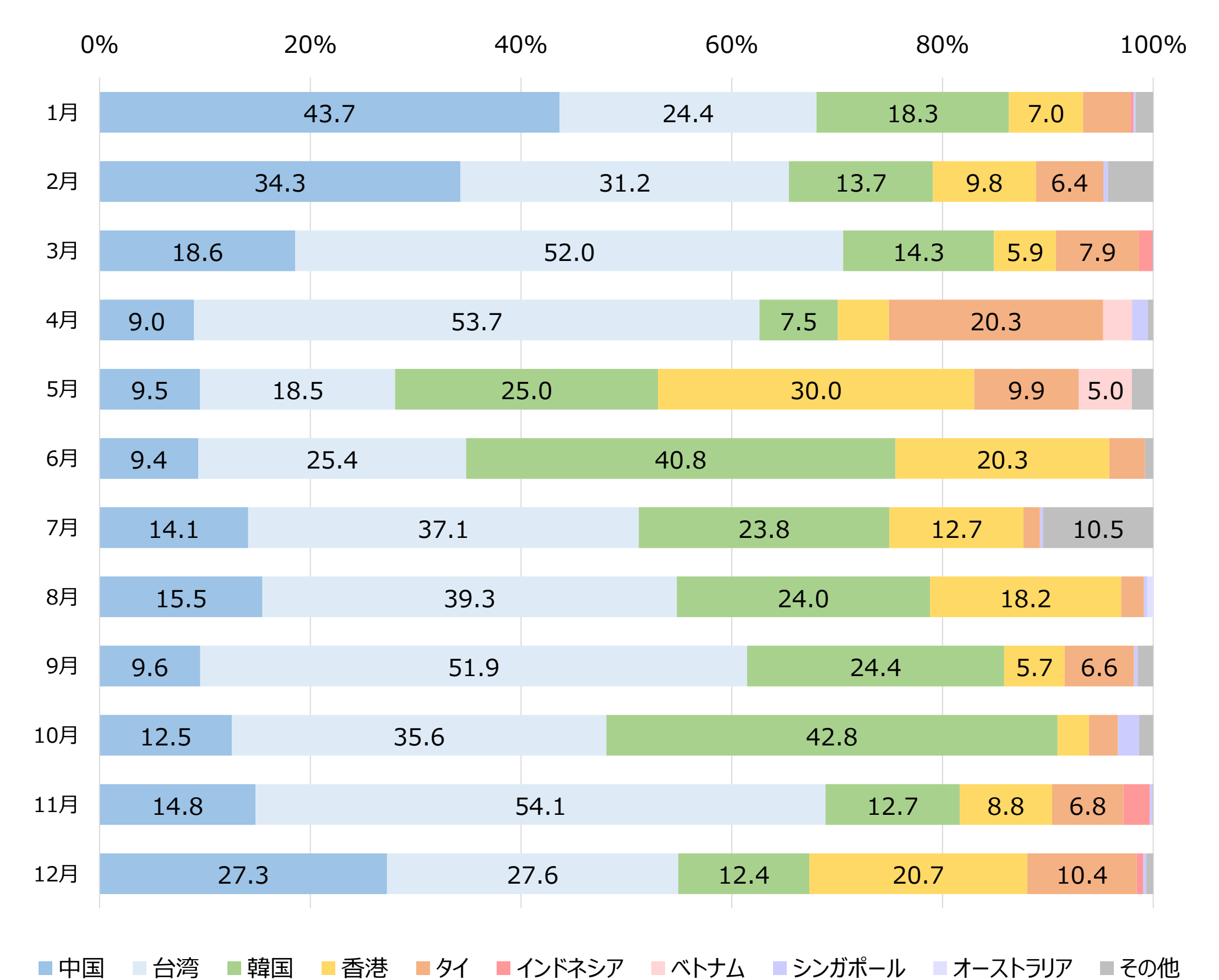
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、10月・9月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く11月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



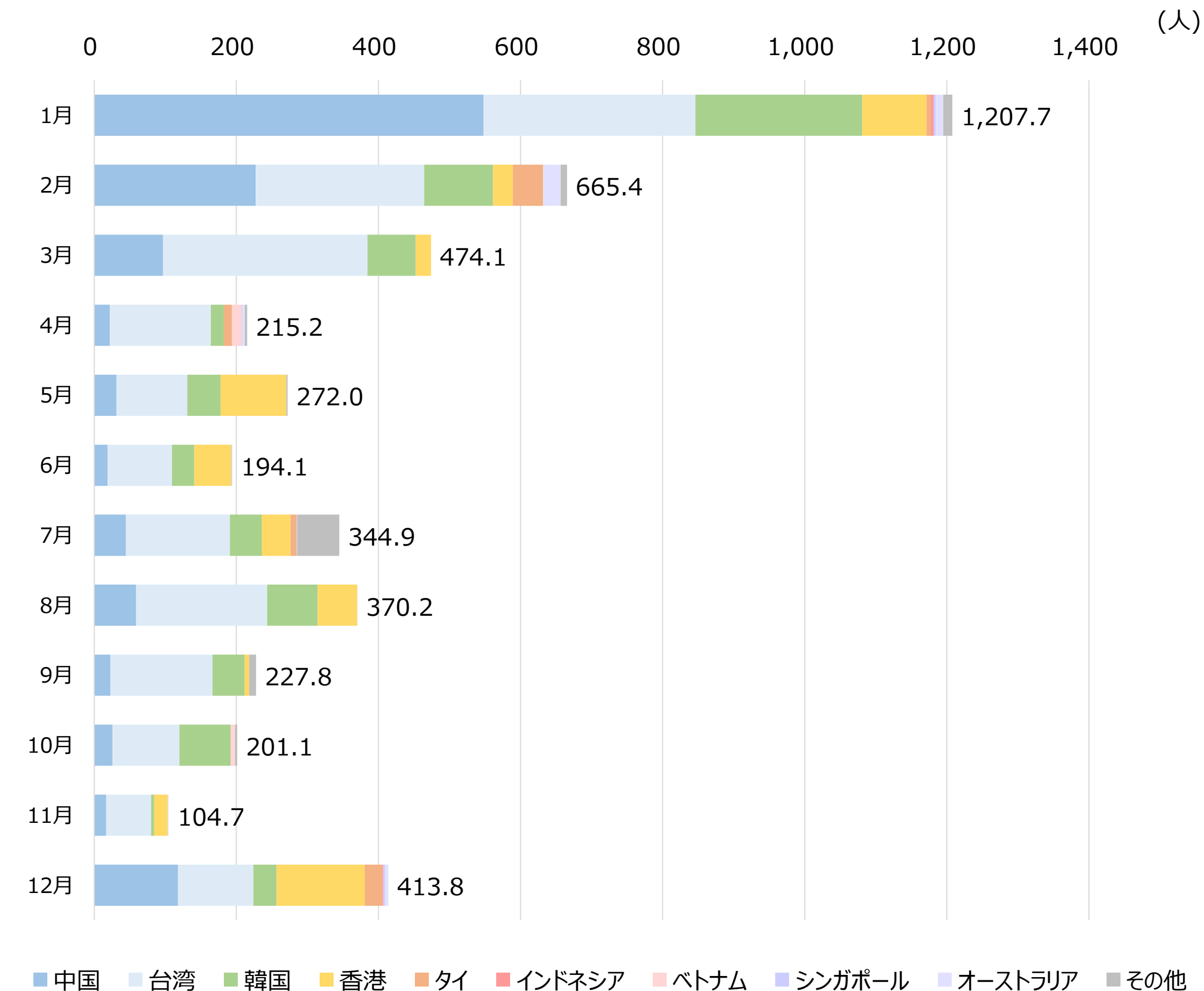
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

天狗山エリア来訪者の居住国（インバウンド）

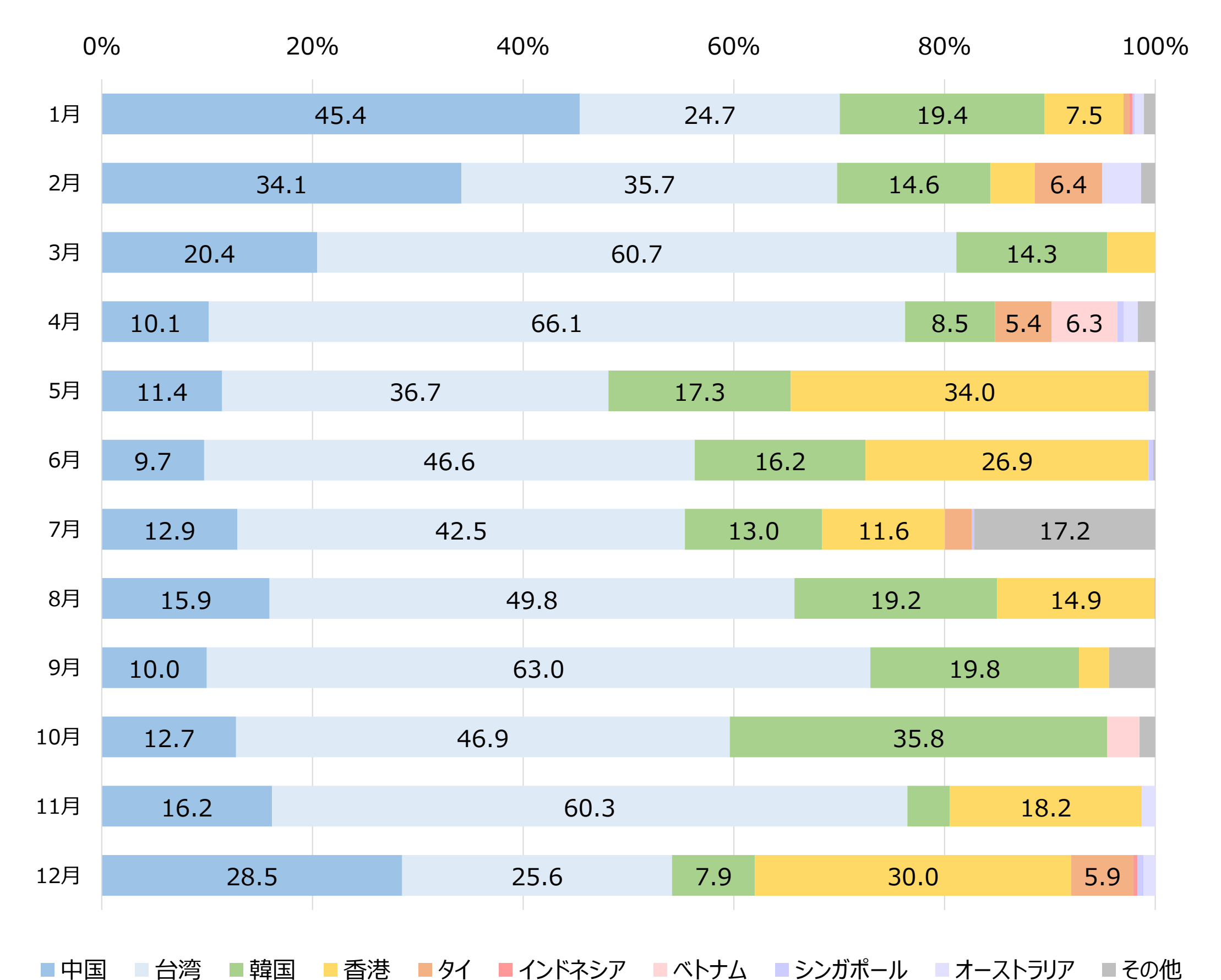
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、11月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



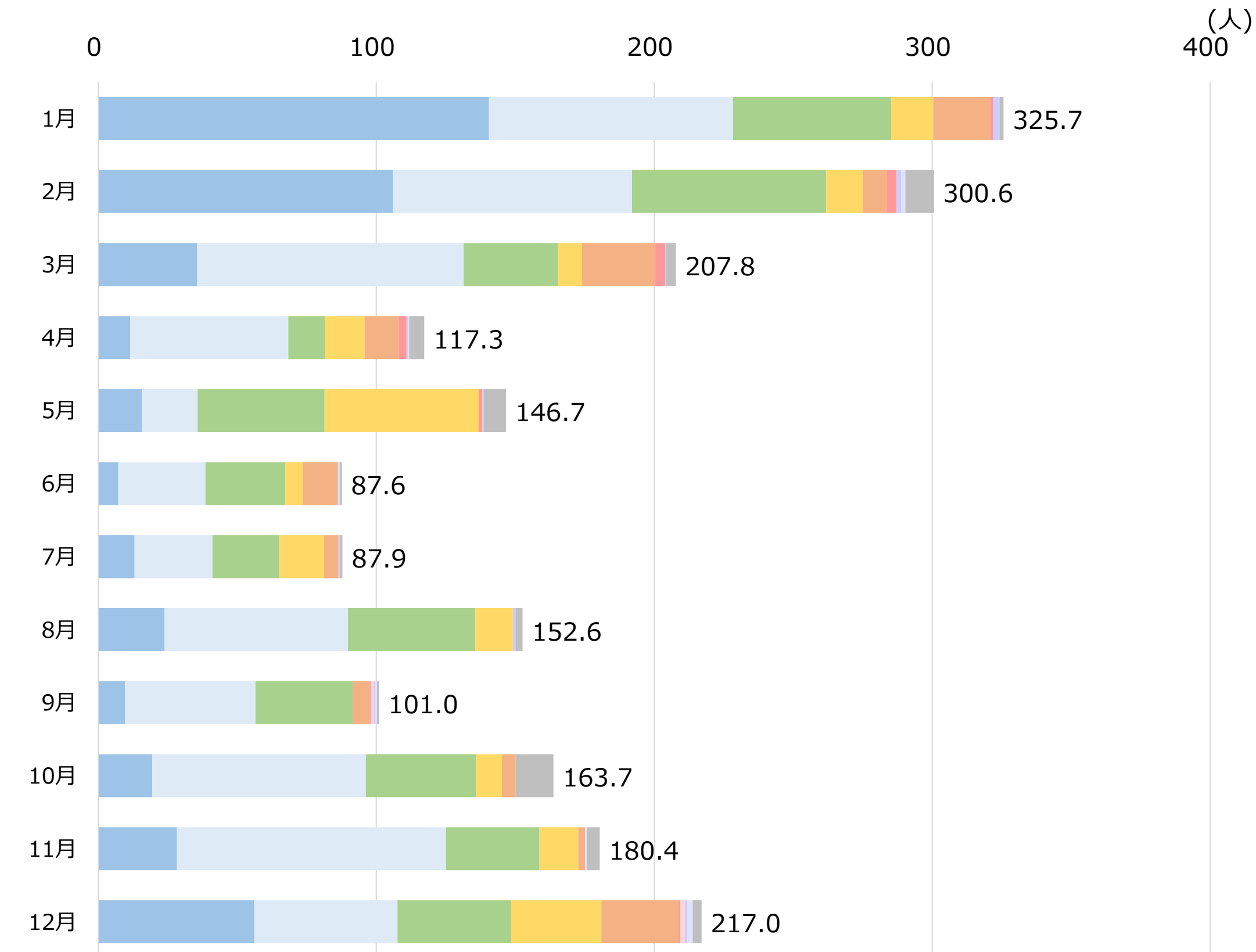
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

築港エリア来訪者の居住国（インバウンド）

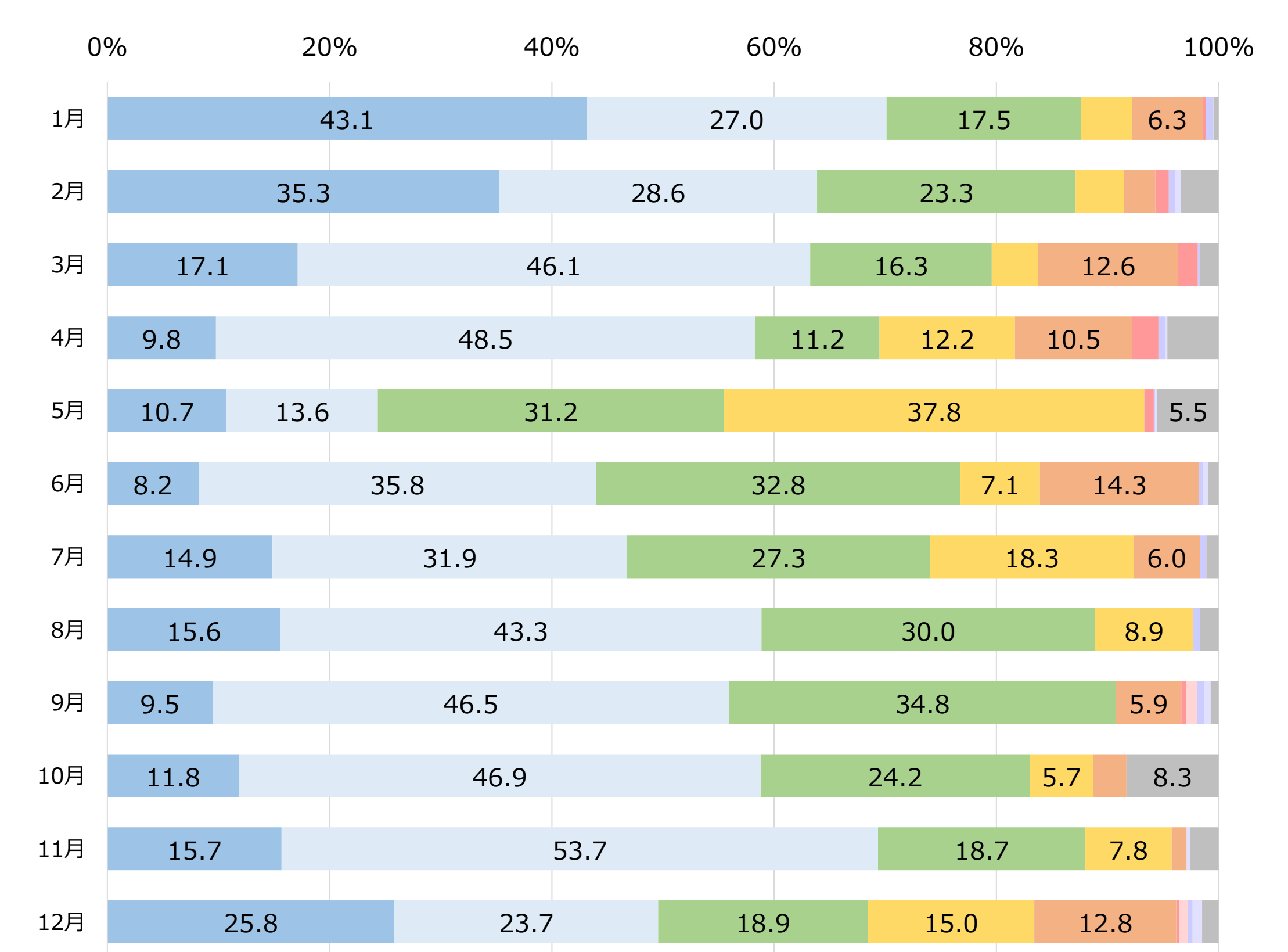
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、6月・7月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く11月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

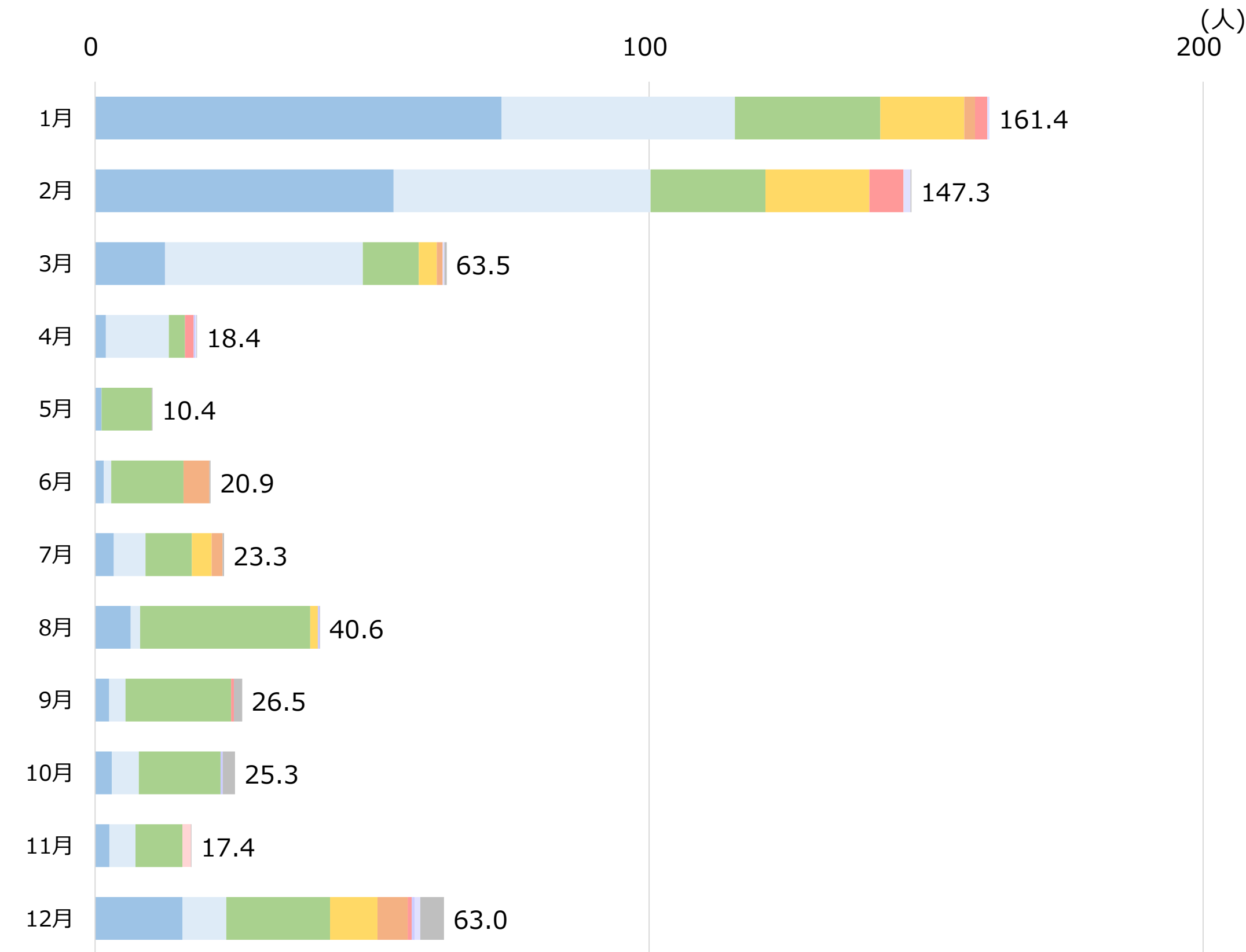
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

朝里川温泉エリア来訪者の居住国（インバウンド）

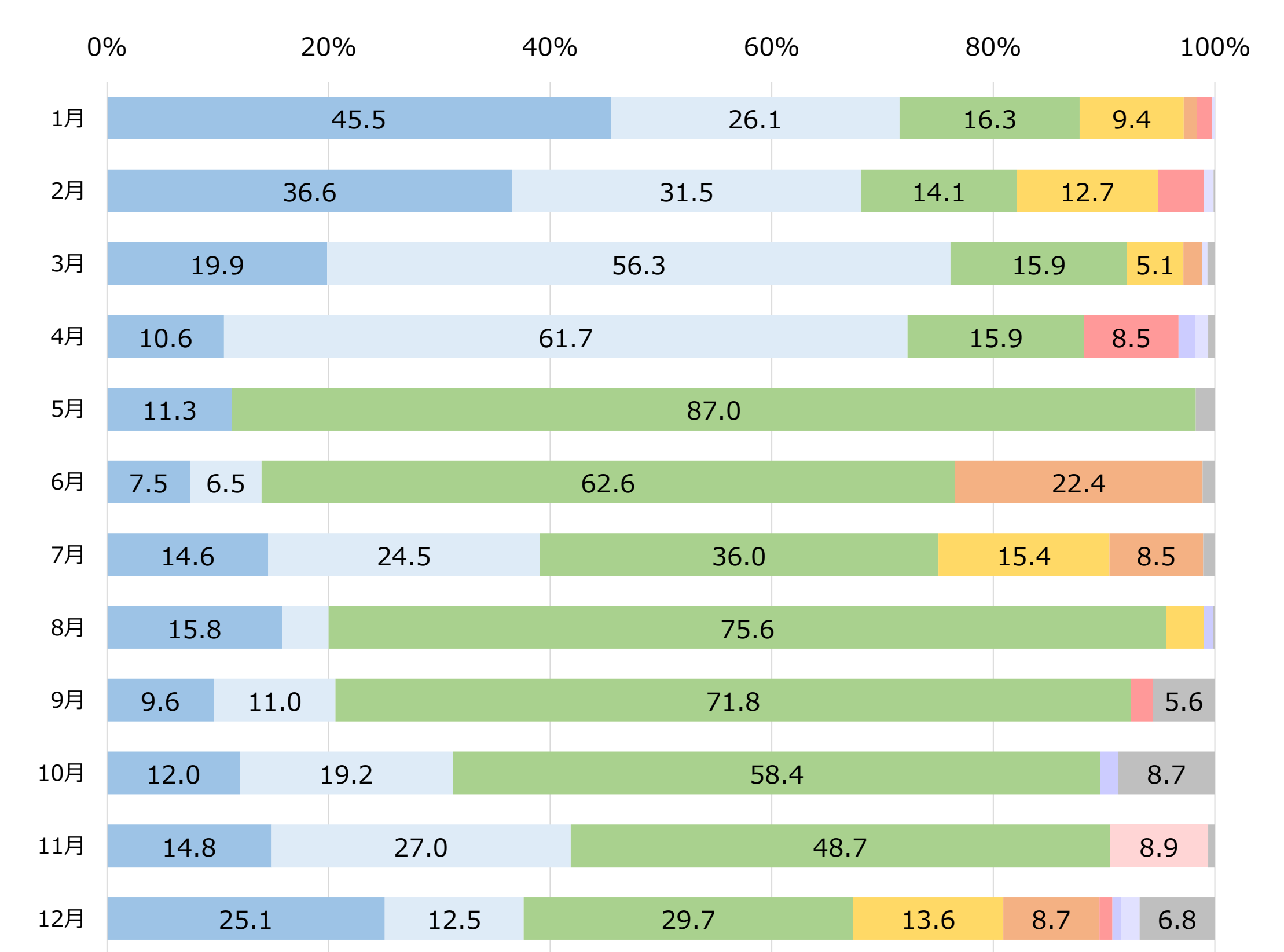
▶ 実数では、1月・2月の来訪が多く、5月・11月は来訪が落ち込む。
 ▶ 割合では、韓国からの来訪が最も多く5月がピークとなる。次いで台湾が多く4月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

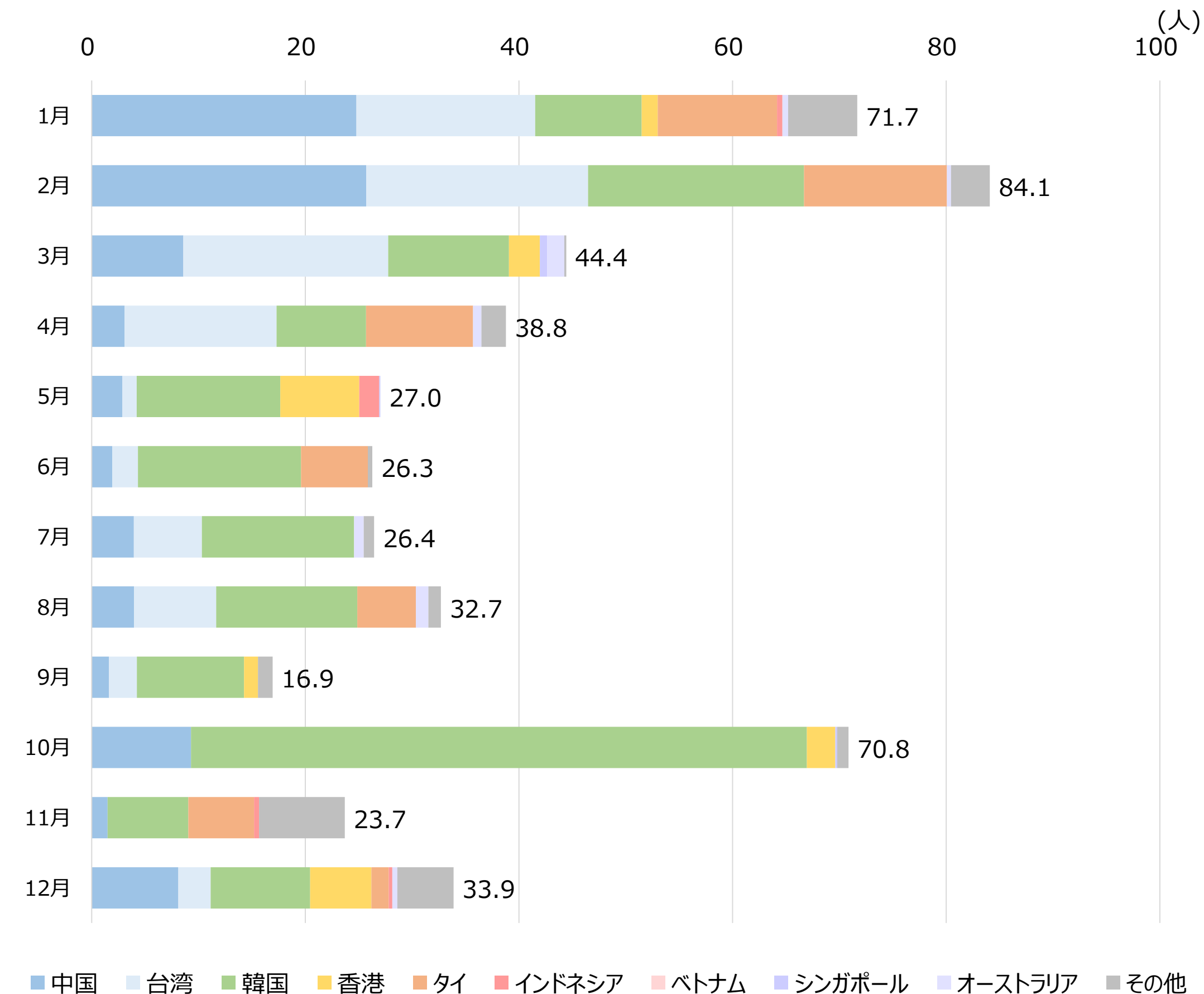
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

銭函・張碓エリア来訪者の居住国（インバウンド）

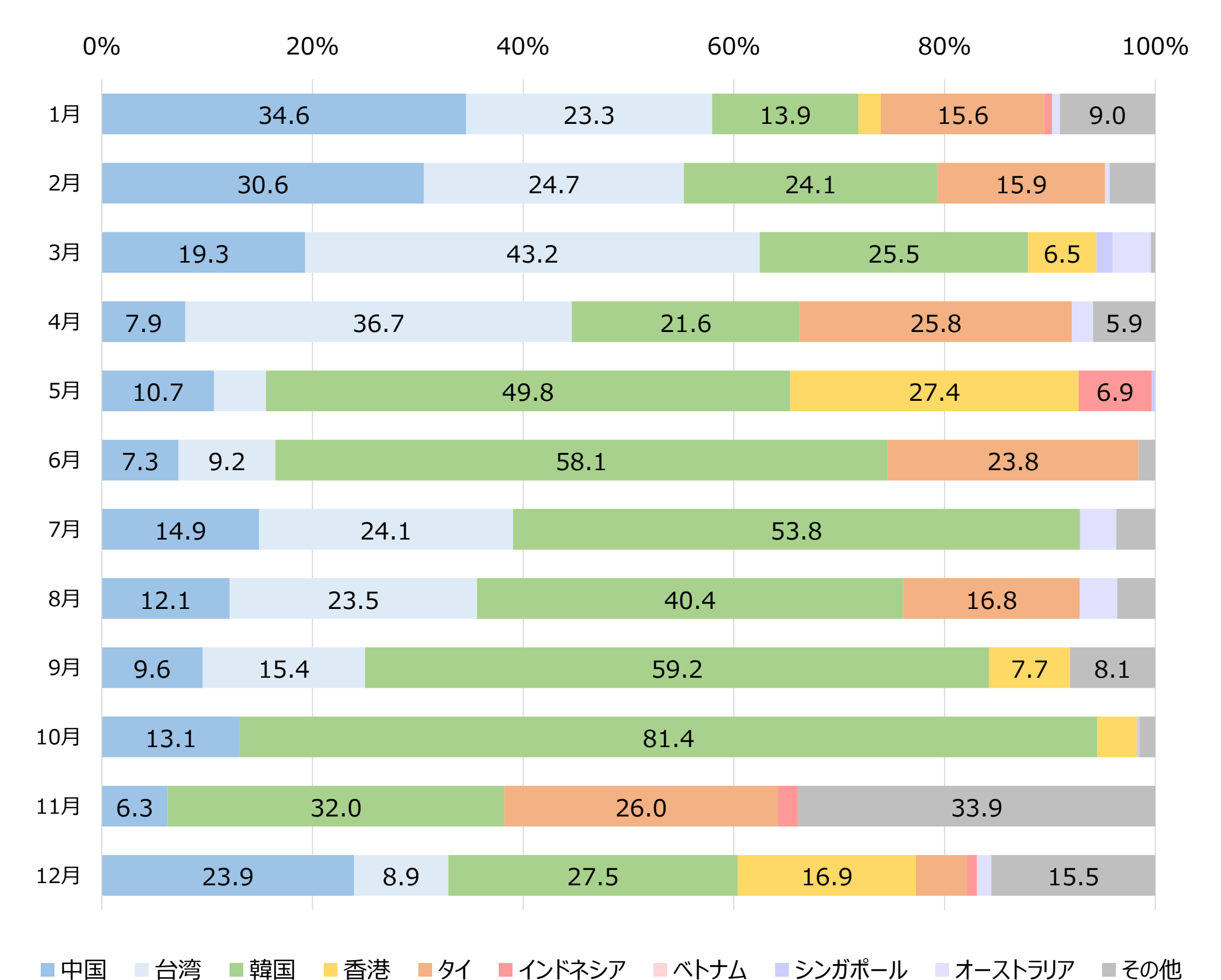
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・11月は来訪が落ち込む。
- 割合では、韓国からの来訪が最も多く10月がピークとなる。次いで台湾が多く3月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



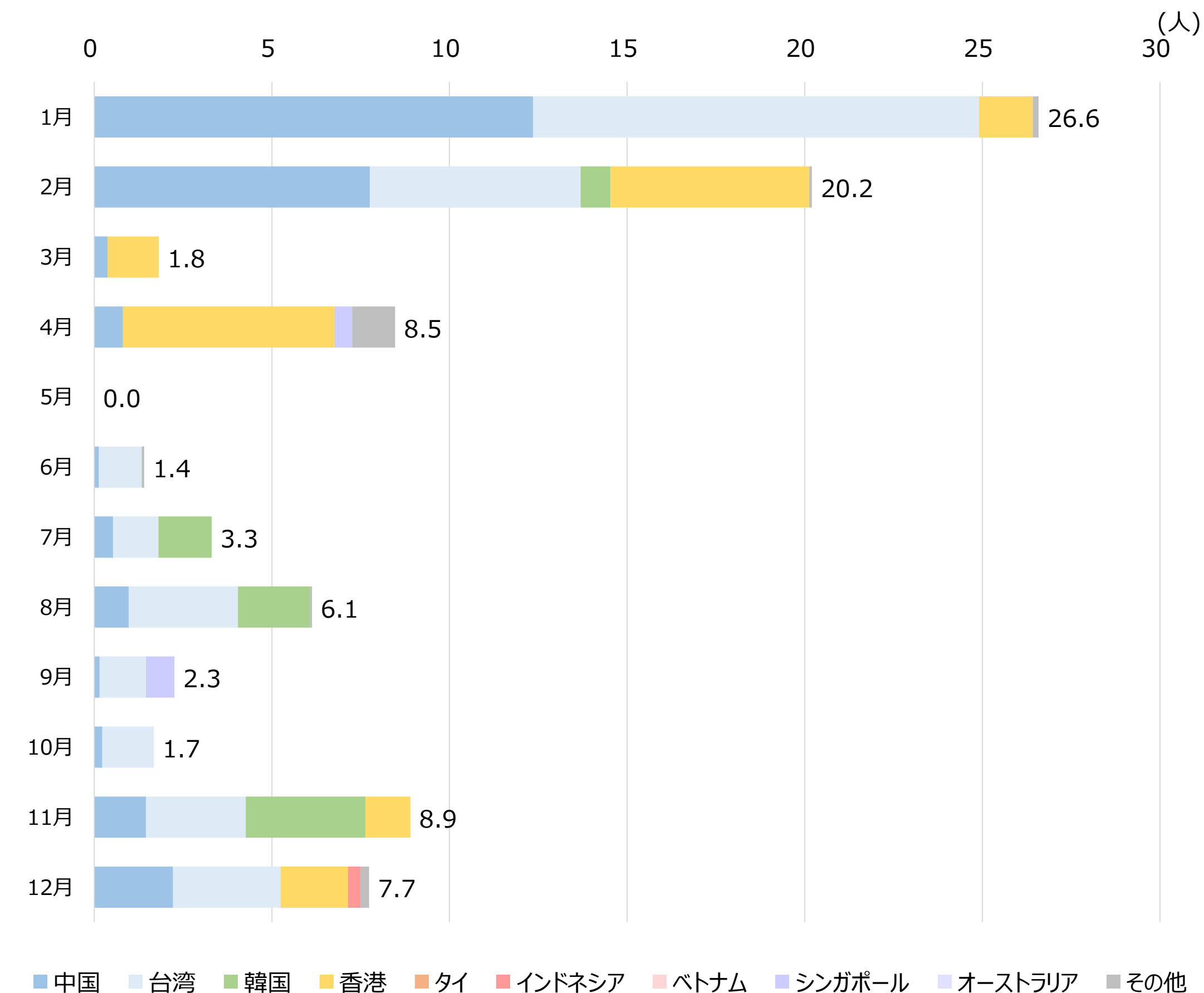
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

塩谷・蘭島エリア来訪者の居住国（インバウンド）

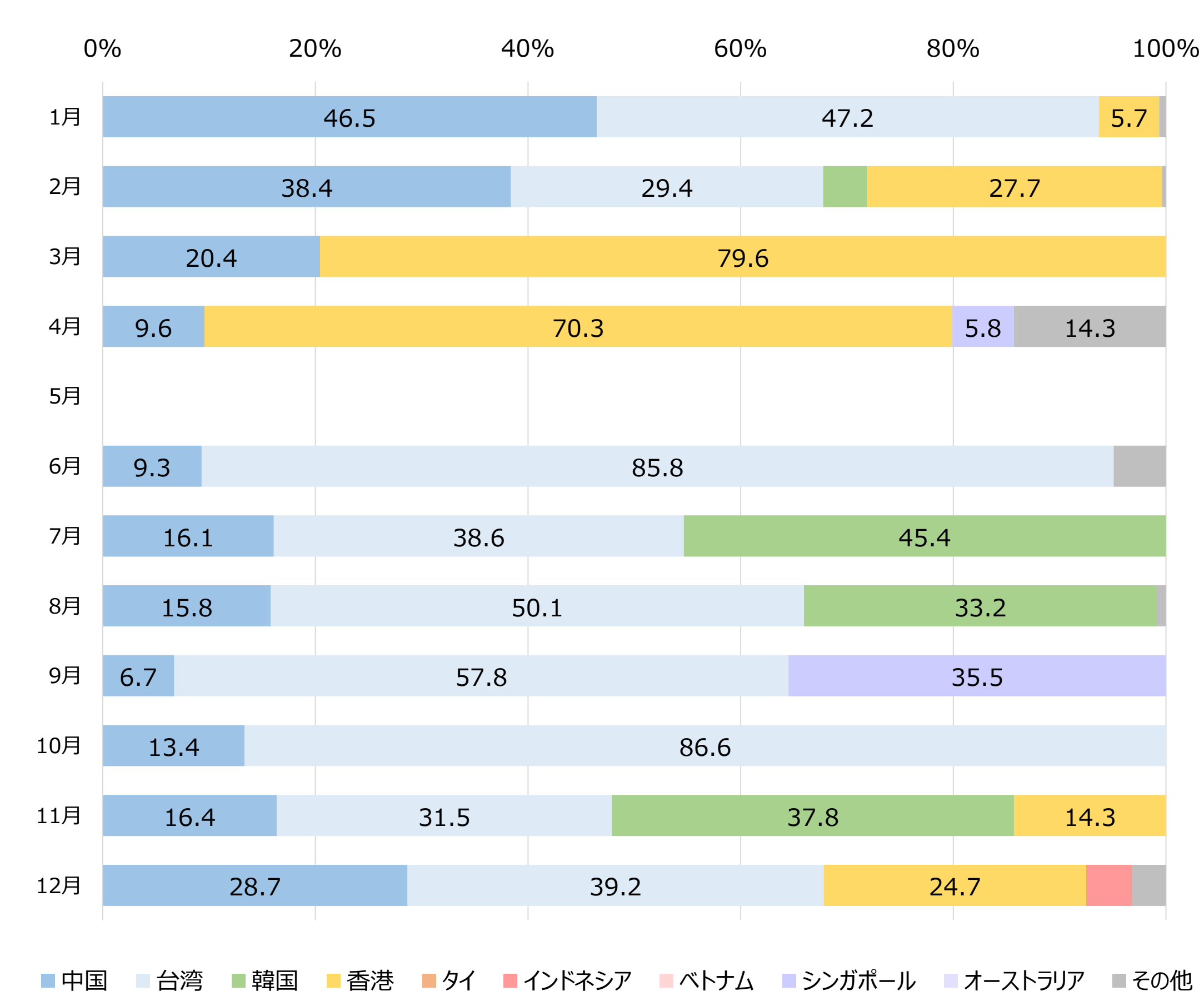
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、5月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く10月がピークとなる。次いで香港が多く3月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

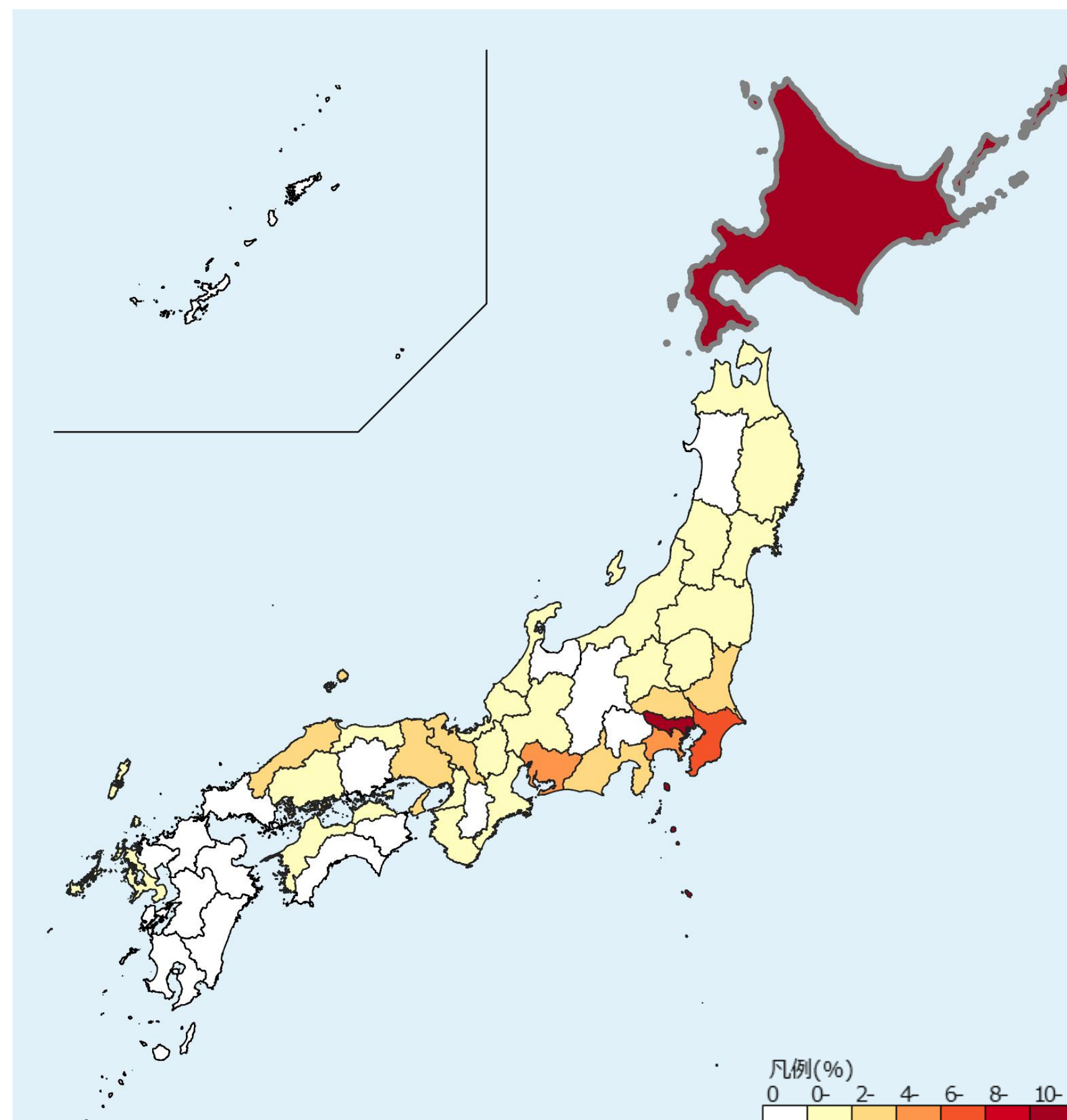


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

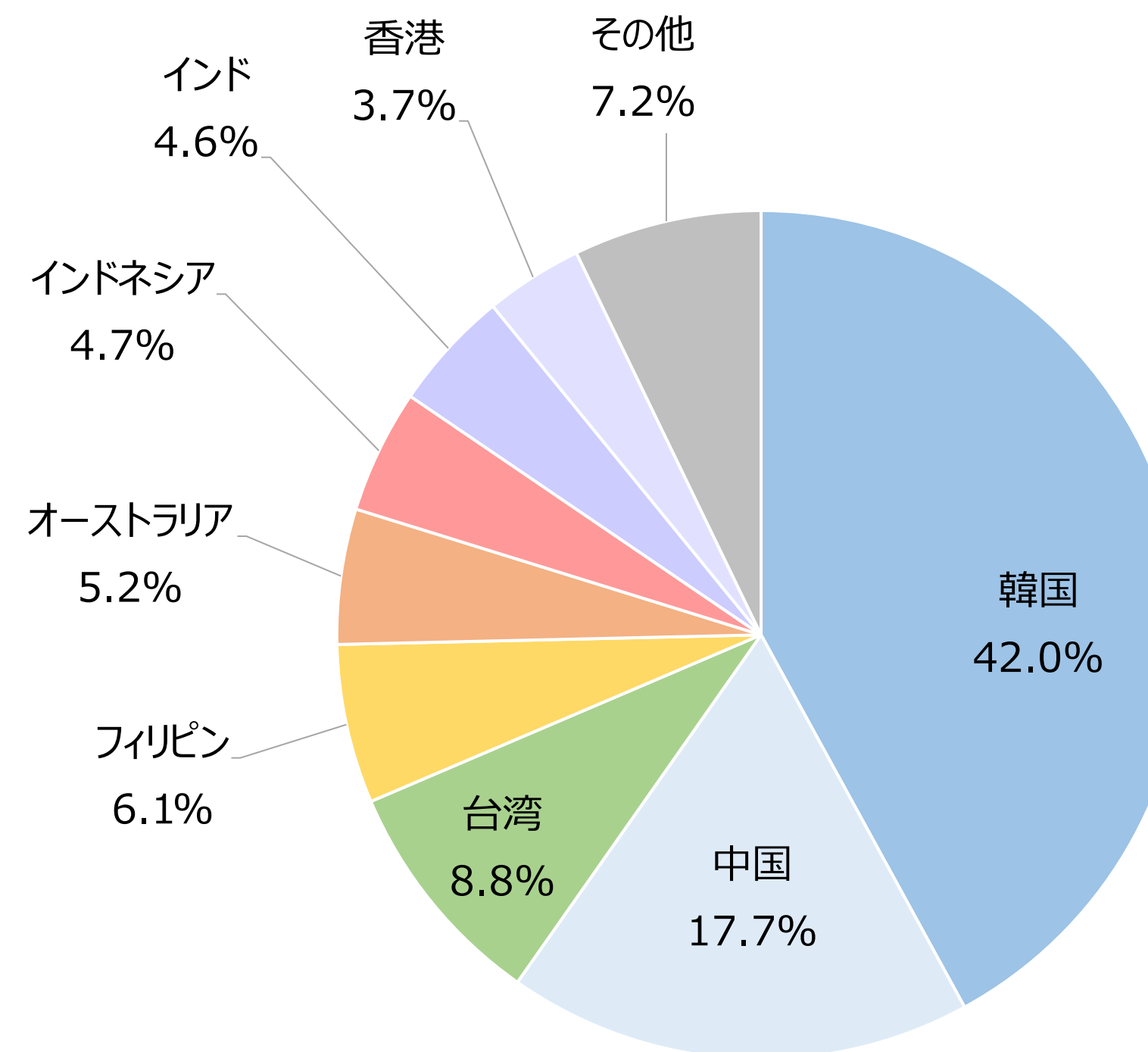
第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の居住地（2025年）

- ▶ 日本人観光客は、北海道・東京からの来訪が特に多く、次いで千葉が多い。
- ▶ インバウンドは、韓国からの来訪が最も多く4割程度を占め、次いで中国・台湾が多い。

● 居住地（日本人観光客、2025年2～10月）



● 居住地（インバウンド、2025年2～10月）

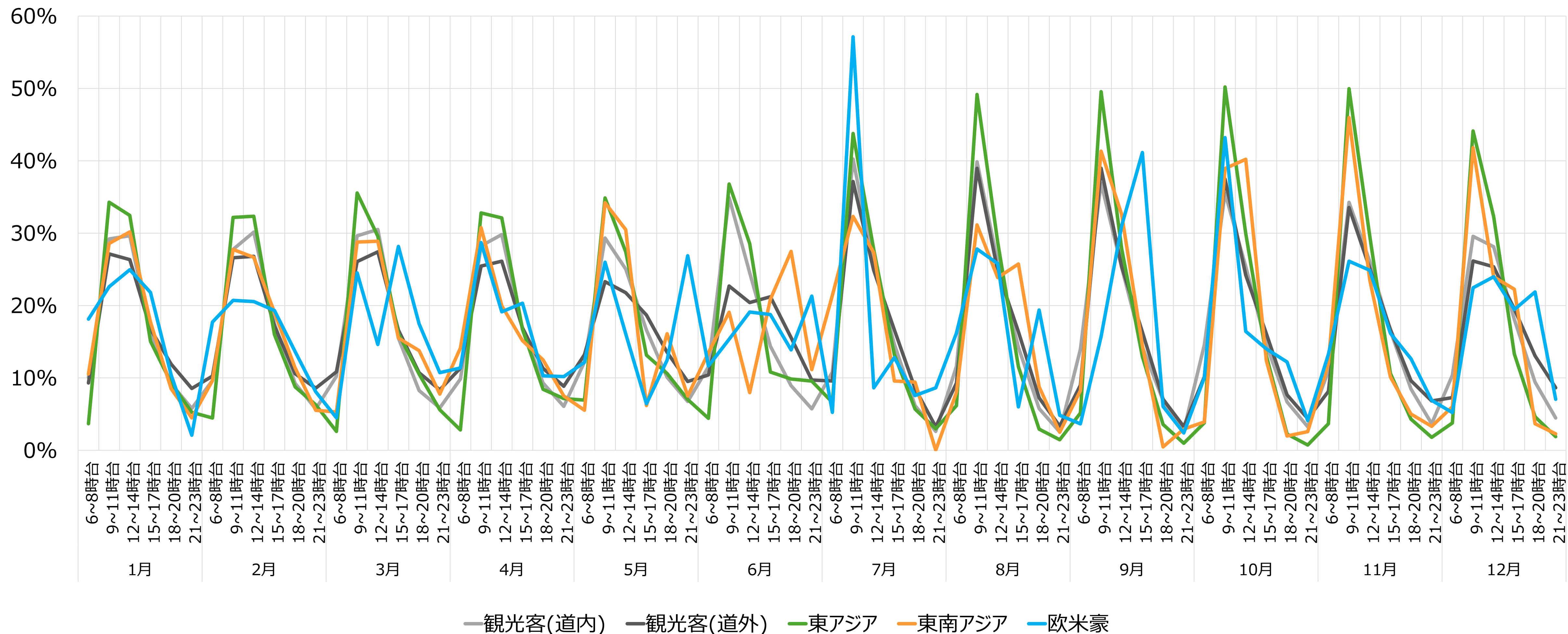


※インバウンドの合計値を100%としている。
なお、中国人・ロシア人については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

來訪時間帶

小樽市全域の来訪時間帯分布

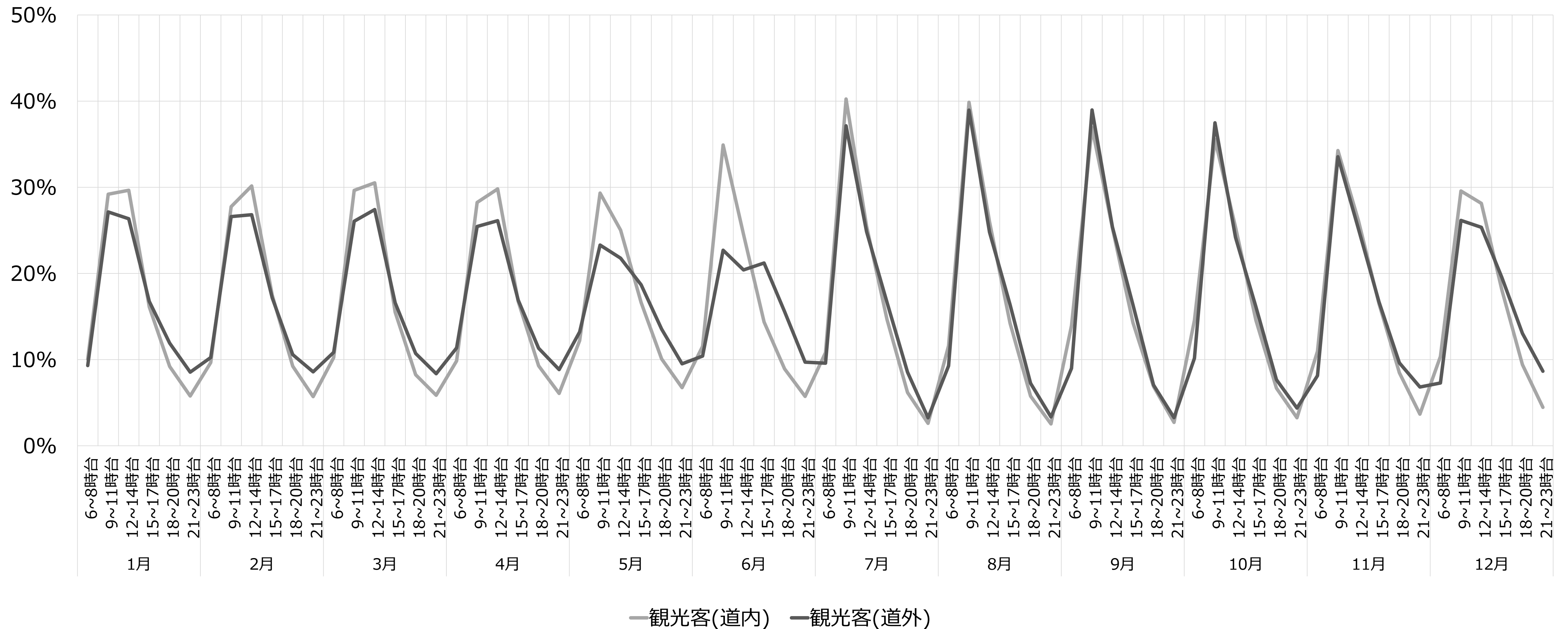
▶ 日本人に比べて、インバウンドでは9～14時台に来訪が集中する傾向にある。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域の来訪時間帯分布

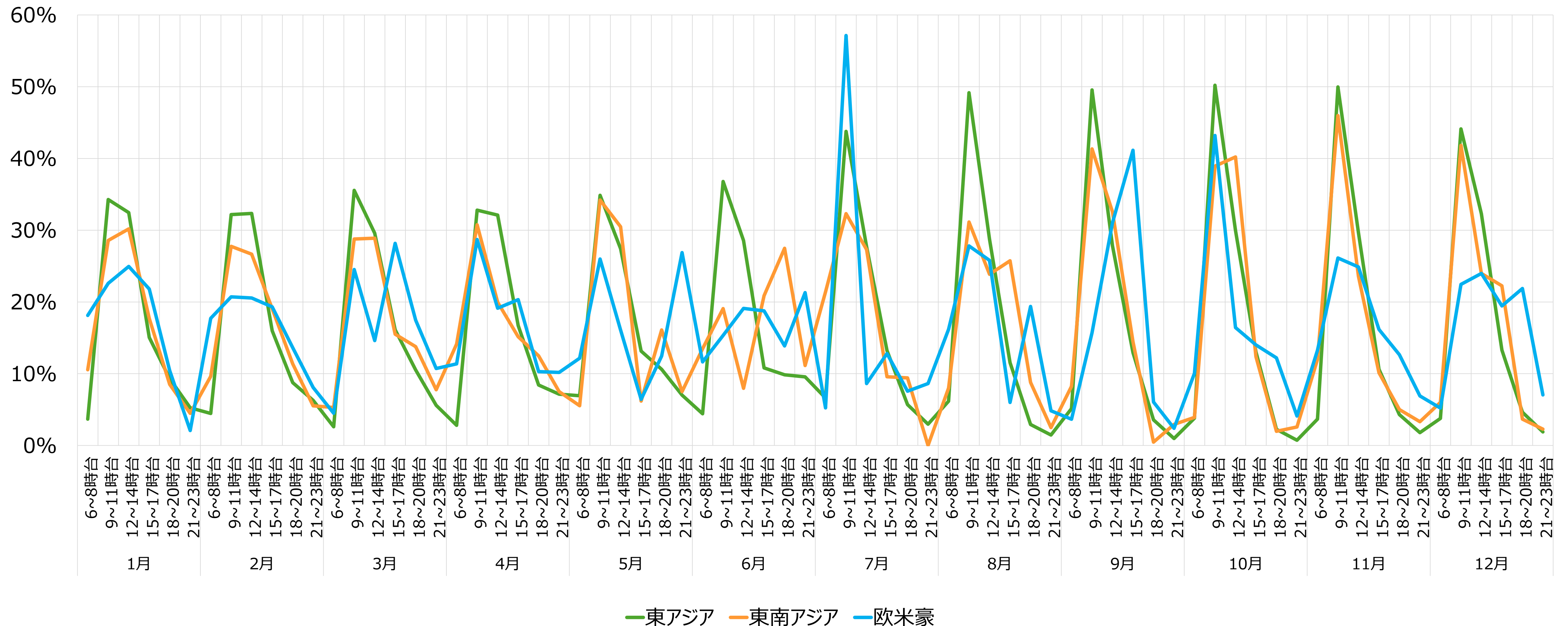
- ▶ 道内客は1~4月が12~14時台、5月以降は9~11時台が来訪ピークである。
- ▶ 道外客は2~4月が12~14時台、それ以外の月は9~11時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域の来訪時間帯分布

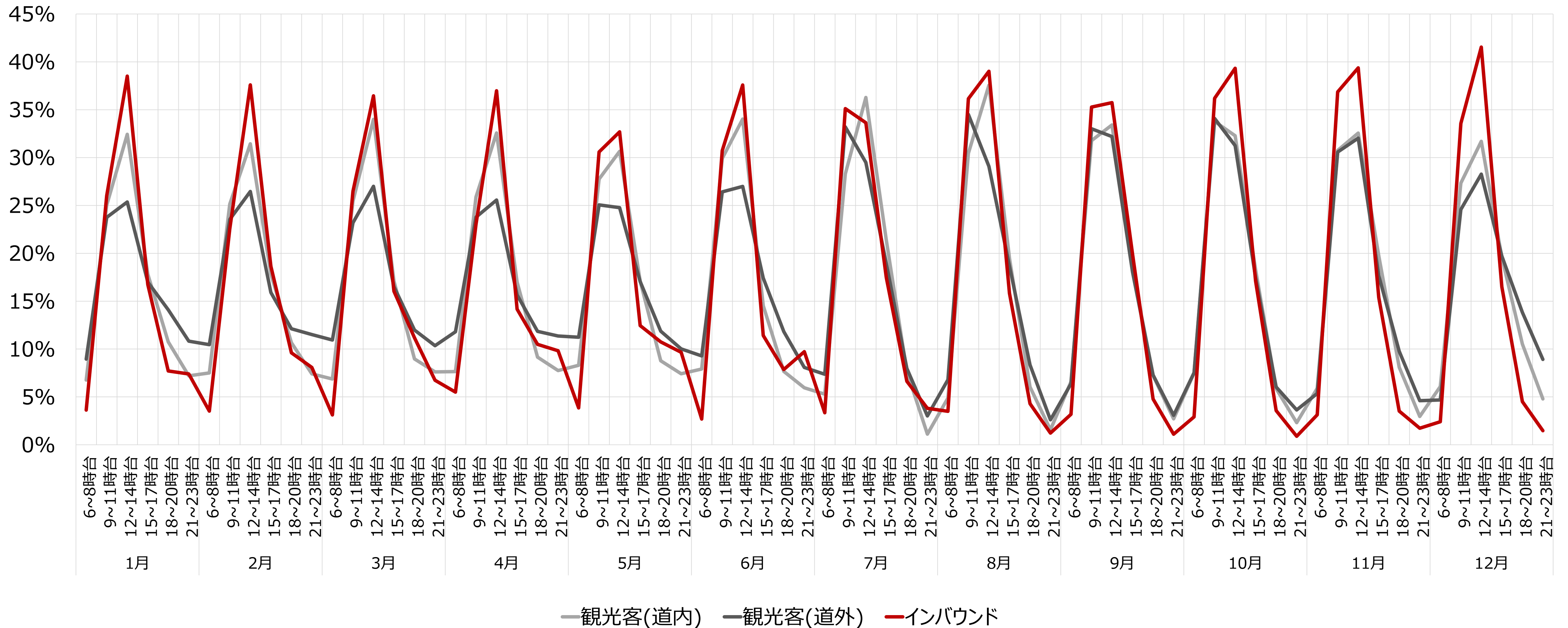
- 東アジア居住者は、2月が12～14時台、それ以外の月は9～11時台が来訪ピークである。
- 東南アジア居住者は1・3・6・10月以外で9～11時台が来訪ピークである。欧米豪居住者の来訪ピークは月により異なる。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリアの来訪時間帯分布

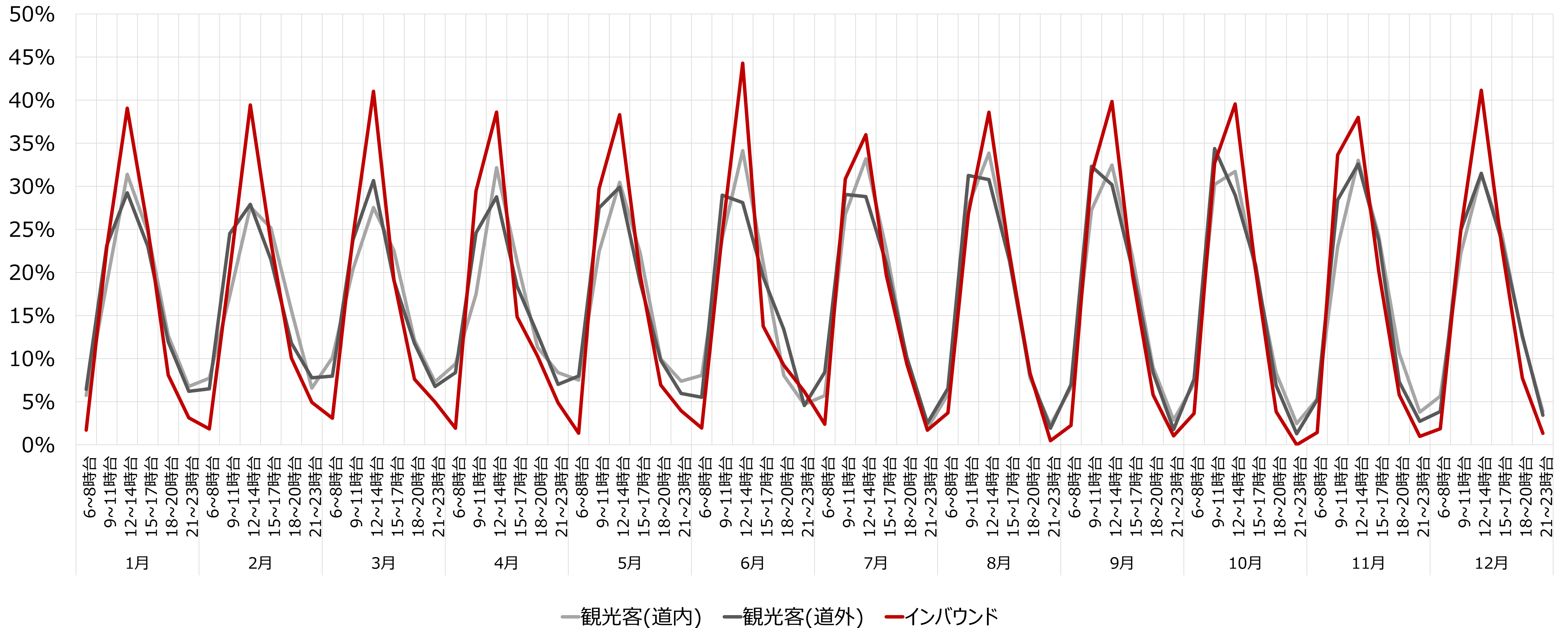
- ▶ 道内客は10月を除き12～14時台が来訪ピーク、道外客は月により9～11時台または12～14時台が来訪ピークである。
- ▶ インバウンドは7月以外で12～14時台が来訪ピークであり、特に冬季におけるピーク時間帯への集中が道外客に比べ顕著である。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリアの来訪時間帯分布

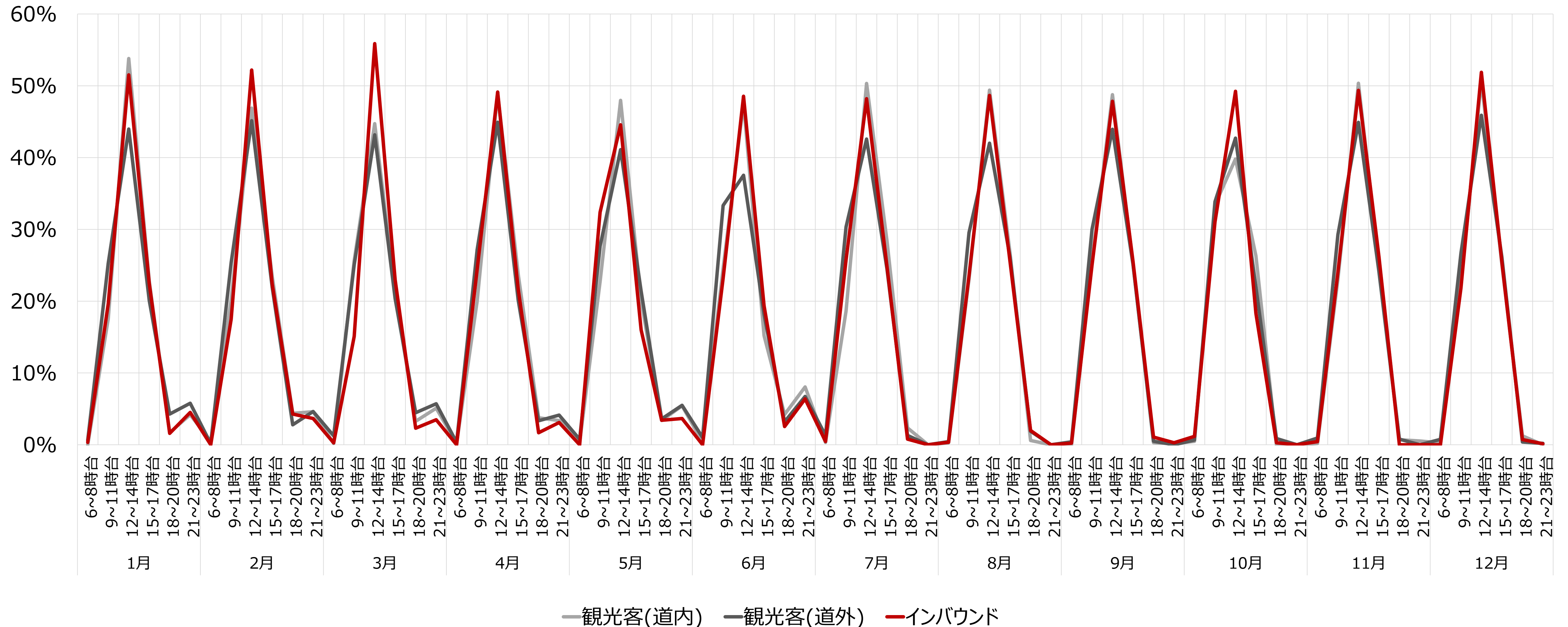
- ▶ 道内客は一年を通じて12～14時台が来訪ピークであり、道外客は月により9～11時台または12～14時台が来訪ピークである。
- ▶ インバウンドは一年を通じて12～14時台が来訪ピークであり、ピーク時間帯への集中が日本人に比べ顕著である。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリアの来訪時間帯分布

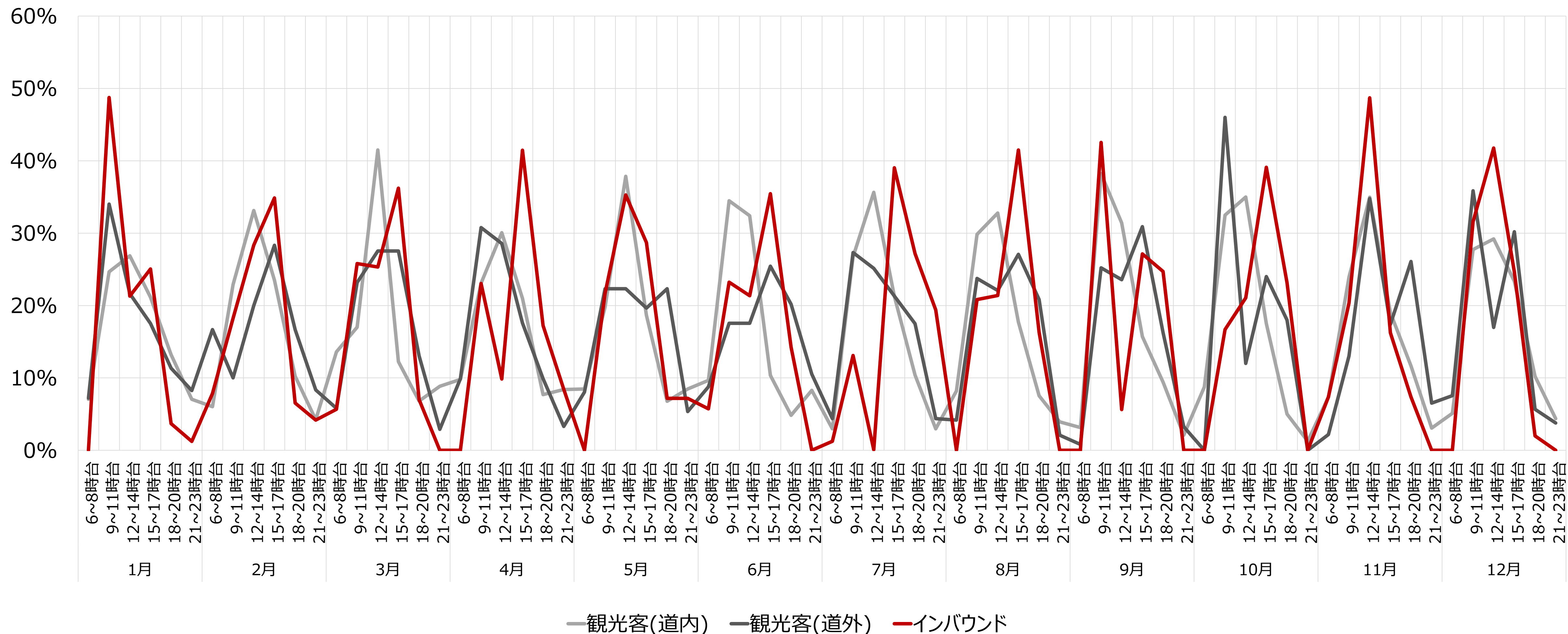
➤ 道内客・道外客・インバウンドともに、一年を通じて12～14時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

天狗山エリアの来訪時間帯分布

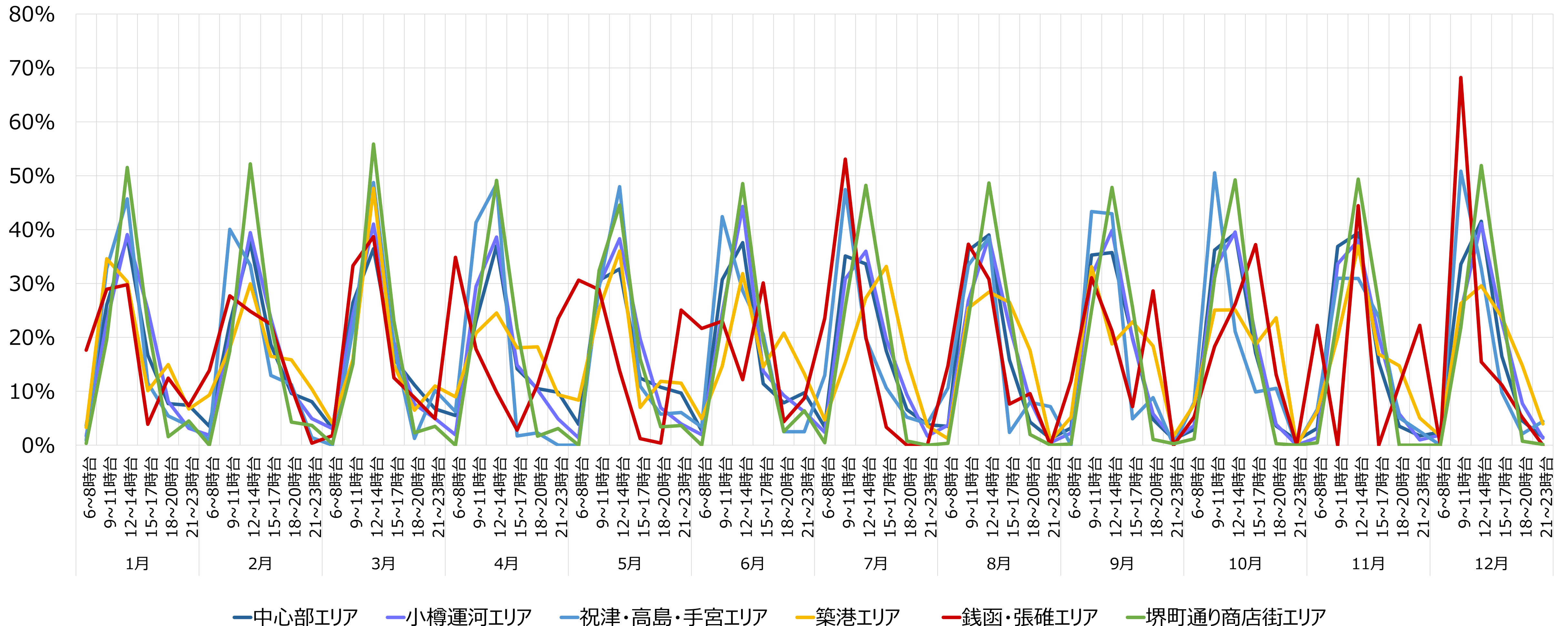
➤ 多くの月で、日本人とインバウンドで来訪ピークが異なる。インバウンドは、2~4月・6~8月・10月において15~17時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

各エリアの来訪時間帯分布（インバウンド）

- 総じて、祝津・高島・手宮エリアや堺町通り商店街エリアにおける特定時間帯への集中が目立つ。
- 他方、築港エリアへの来訪時間帯は比較的分散している。



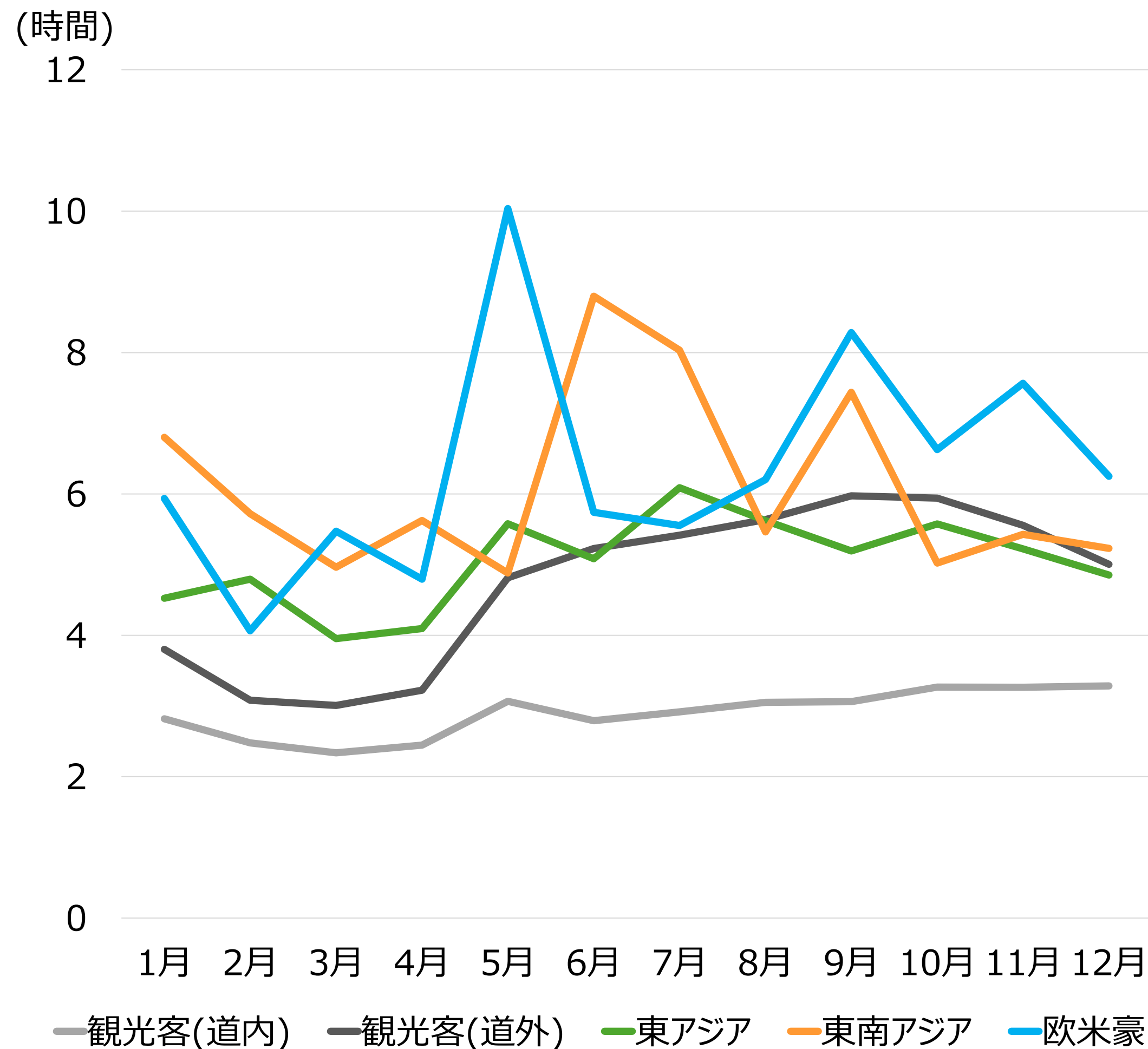
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

滞在時間・市内宿泊数

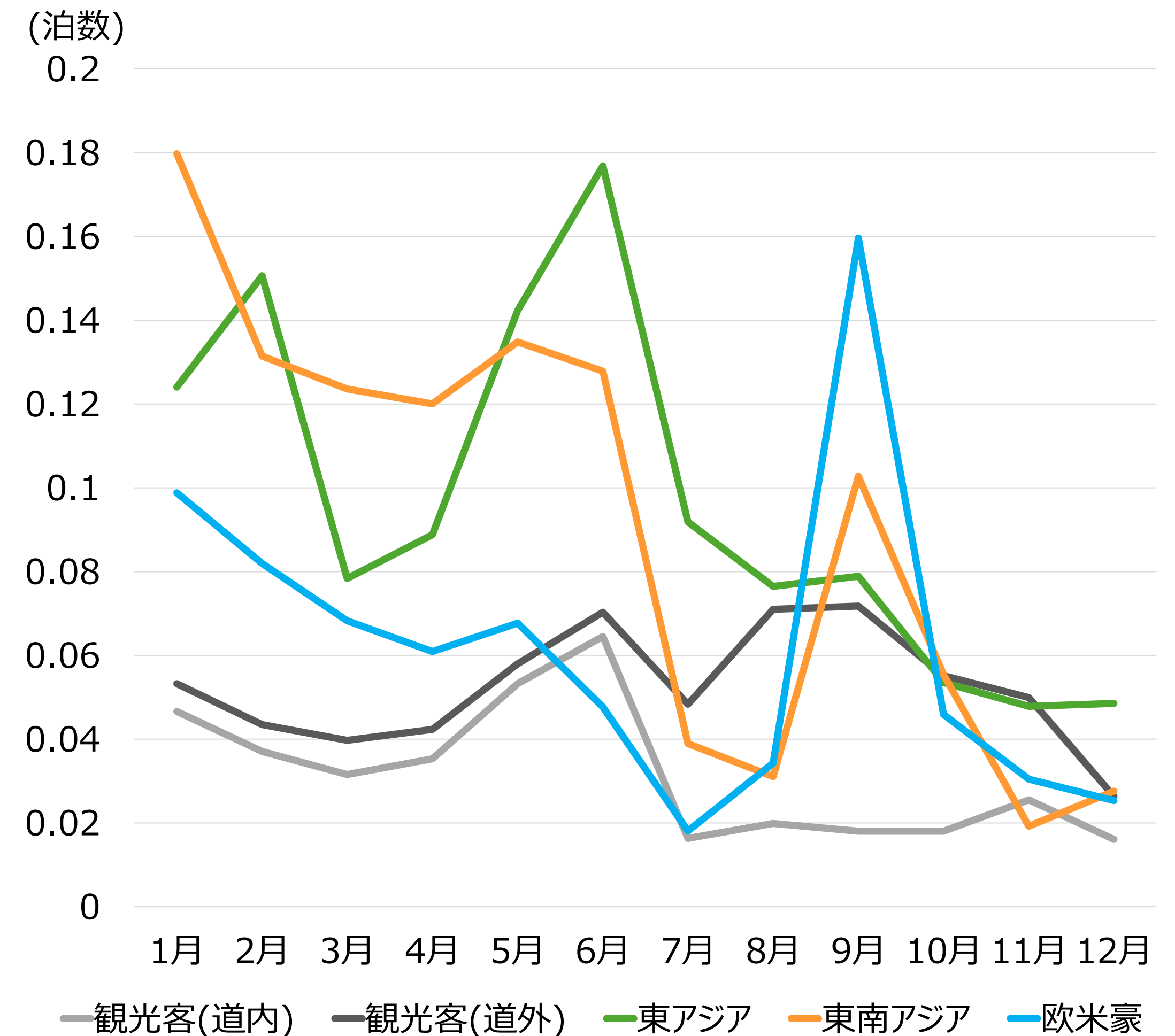
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- 平均滞在時間は、総じて日本人よりもインバウンドが長いですが、8~12月においては道外客を下回る市場もみられる。
- 平均市内宿泊数も、総じて日本人よりもインバウンドが長いですが、6~8月・10~12月においては道外客を下回る市場もみられる。

● 平均滞在時間



● 平均市内宿泊数

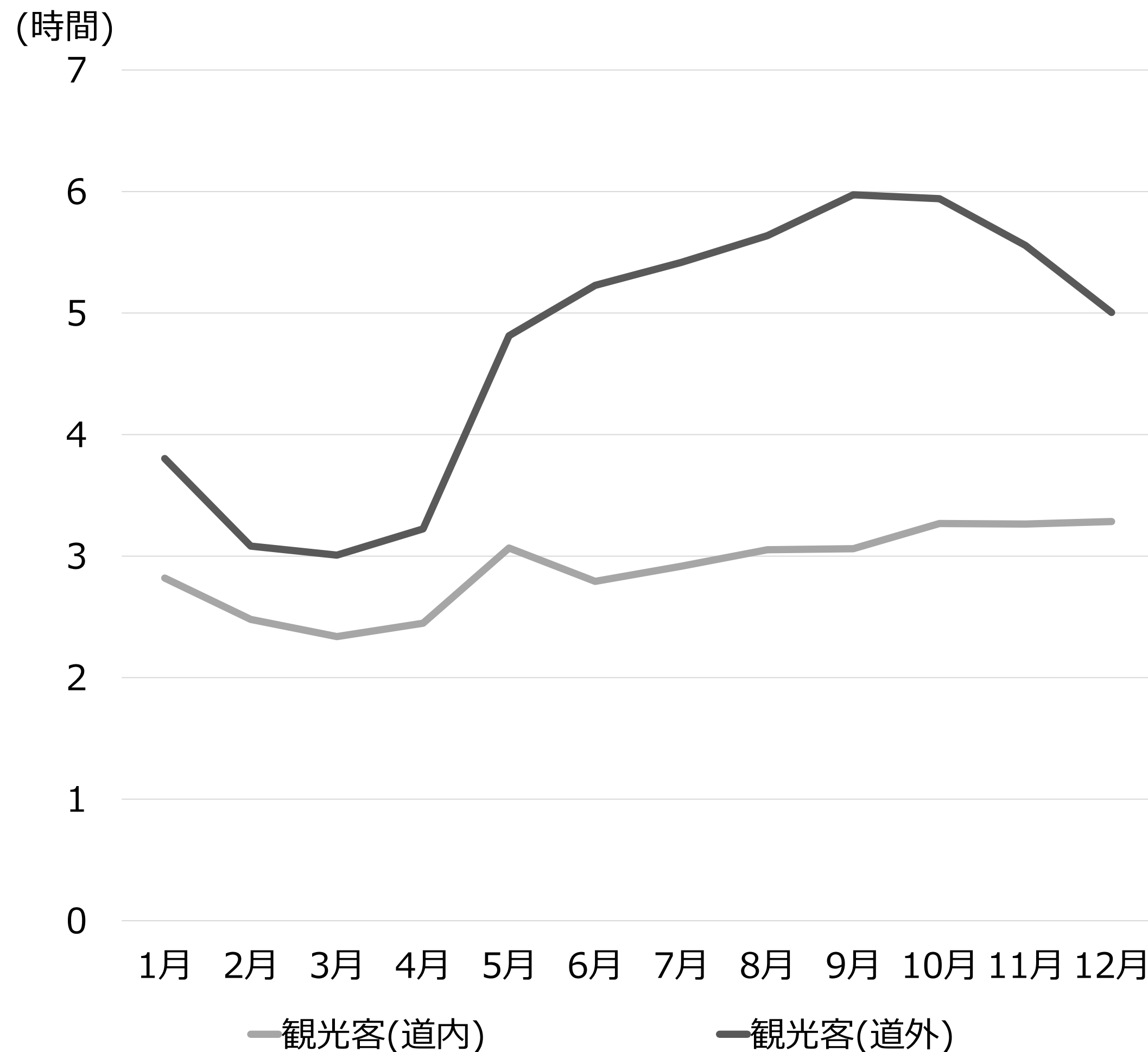


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

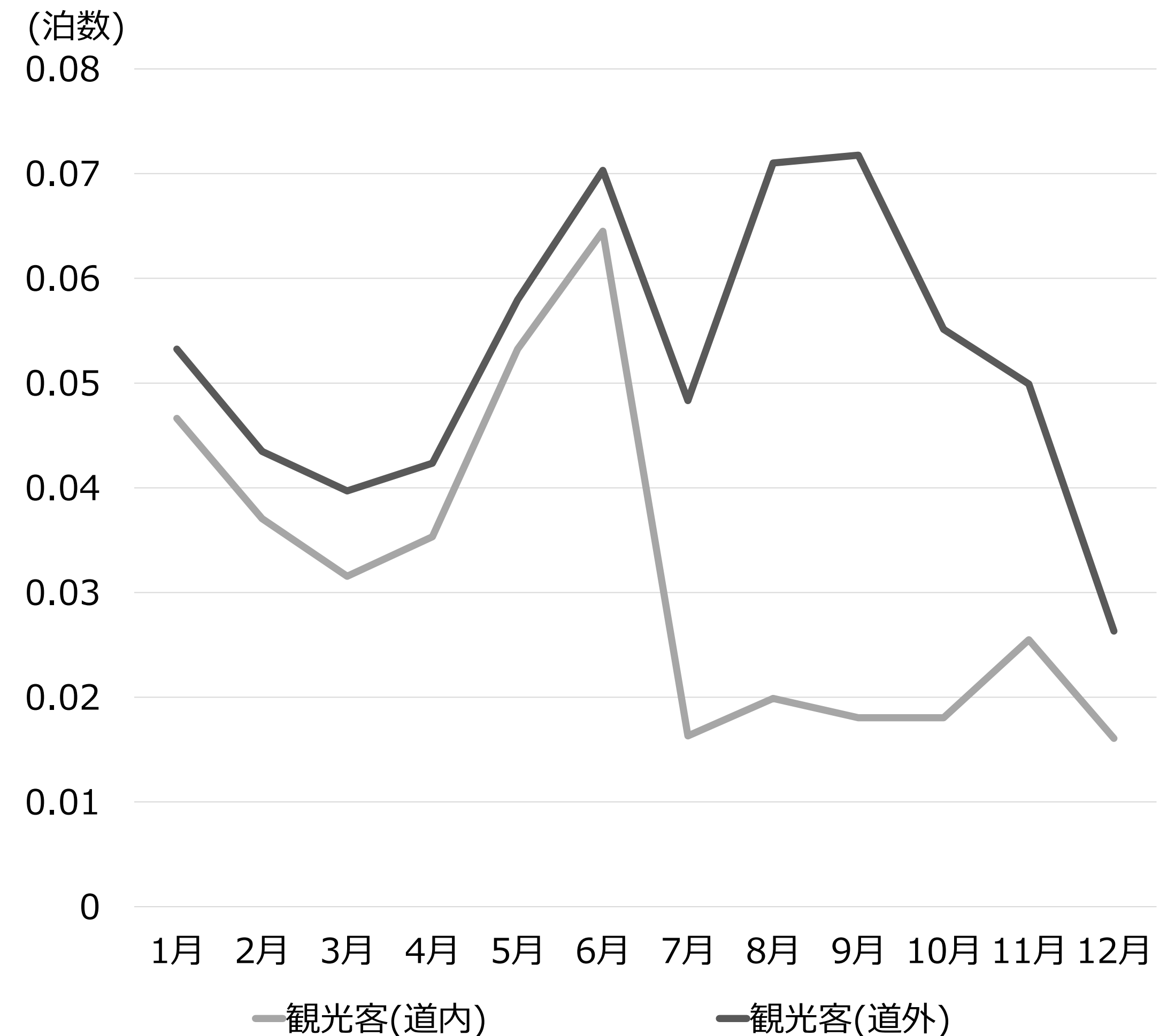
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- ▶ 日本人の平均滞在時間は、一年を通じて道内客よりも道外客が長く、特に5~12月にその傾向が顕著である。
- ▶ 日本人の平均市内宿泊数は、一年を通じて道内客よりも道外客が長く、特に7~11月にその傾向が顕著である。

● 平均滞在時間



● 平均市内宿泊数

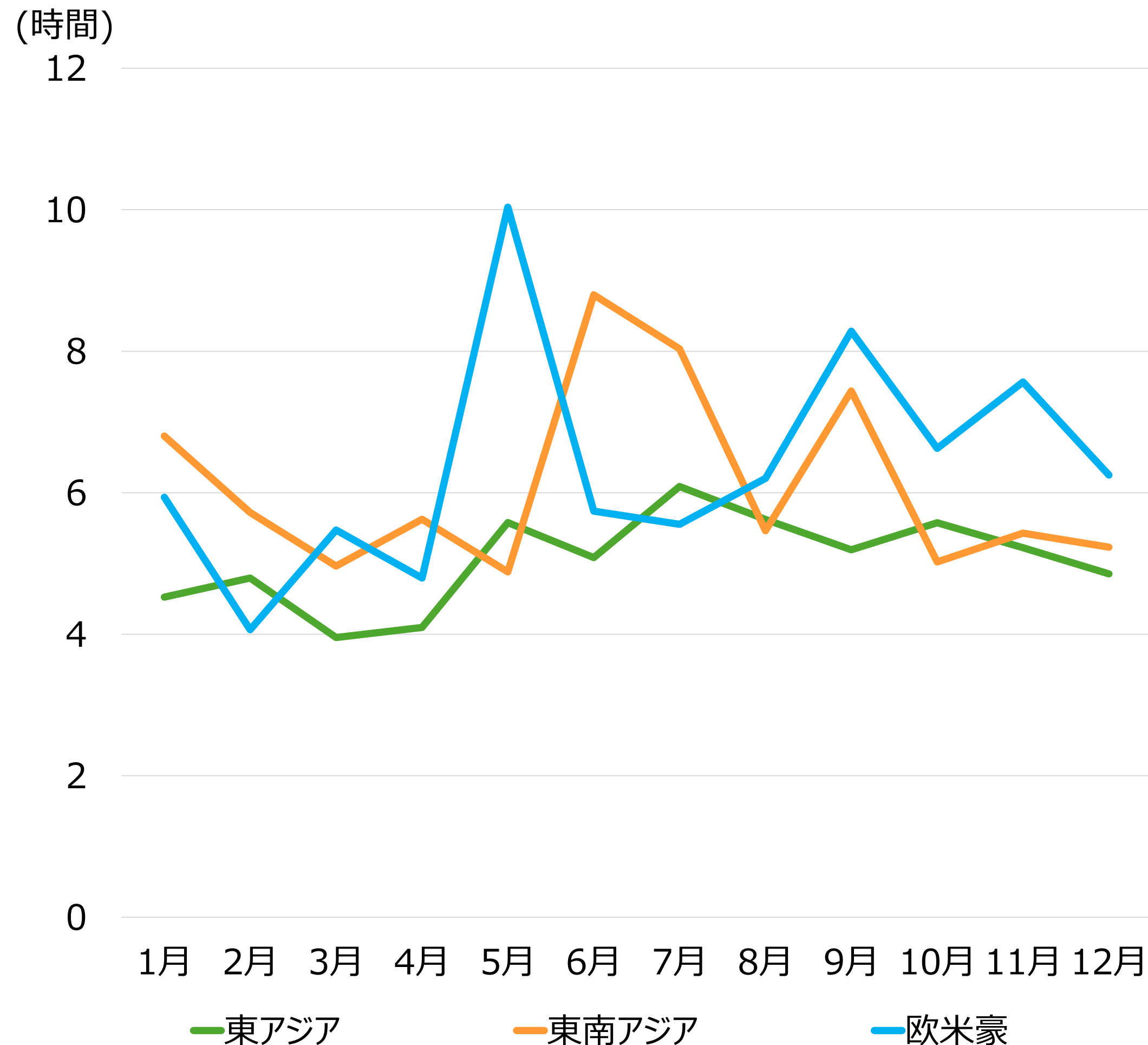


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

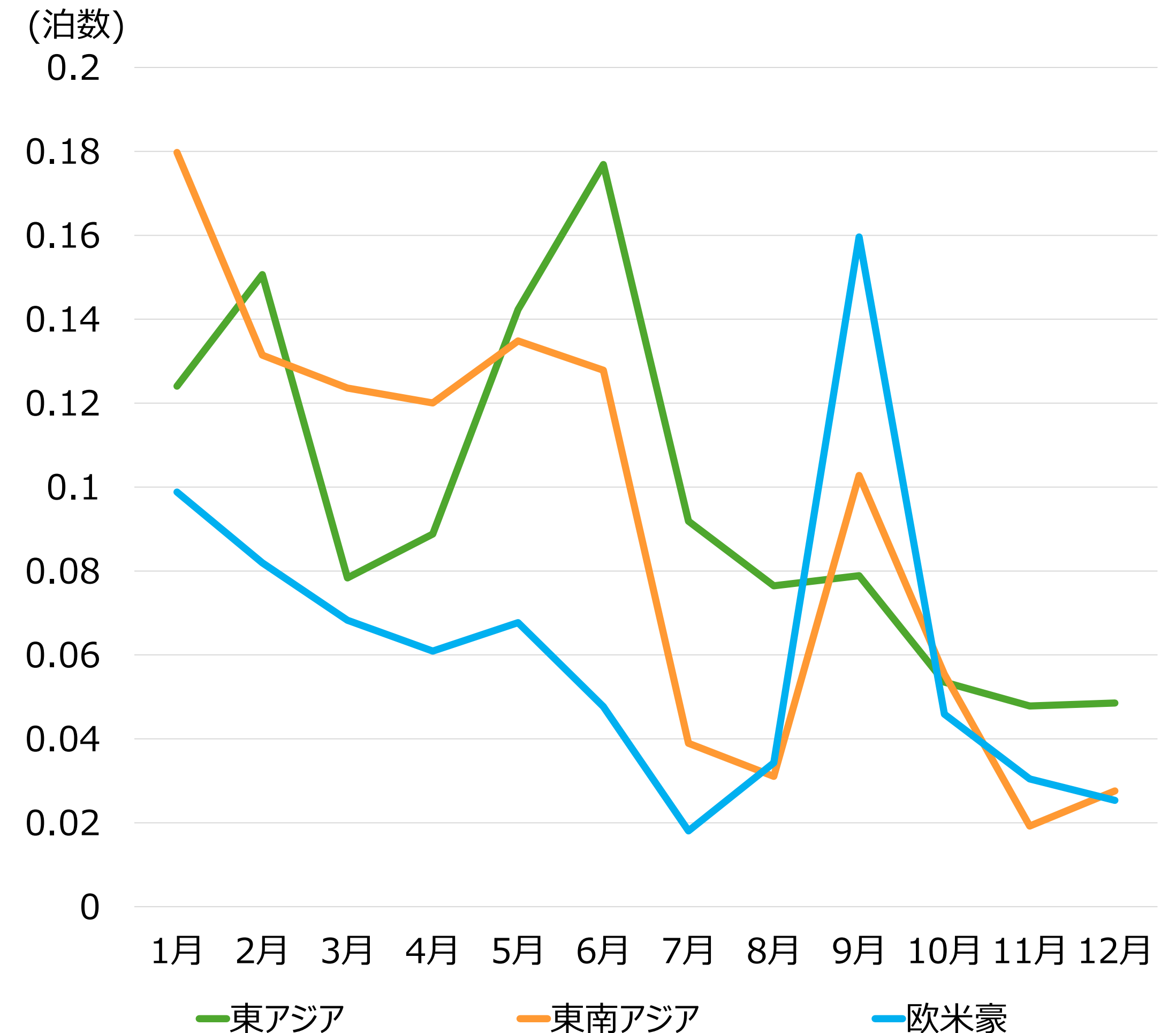
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- ▶ インバウンドの平均滞在時間について、東アジアは7月、東南アジアは6月、欧米豪は5月が最も長い。
- ▶ インバウンドの平均市内宿泊数について、東アジアは6月、東南アジアは1月、欧米豪は9月が最も長い。

● 平均滞在時間



● 平均市内宿泊数

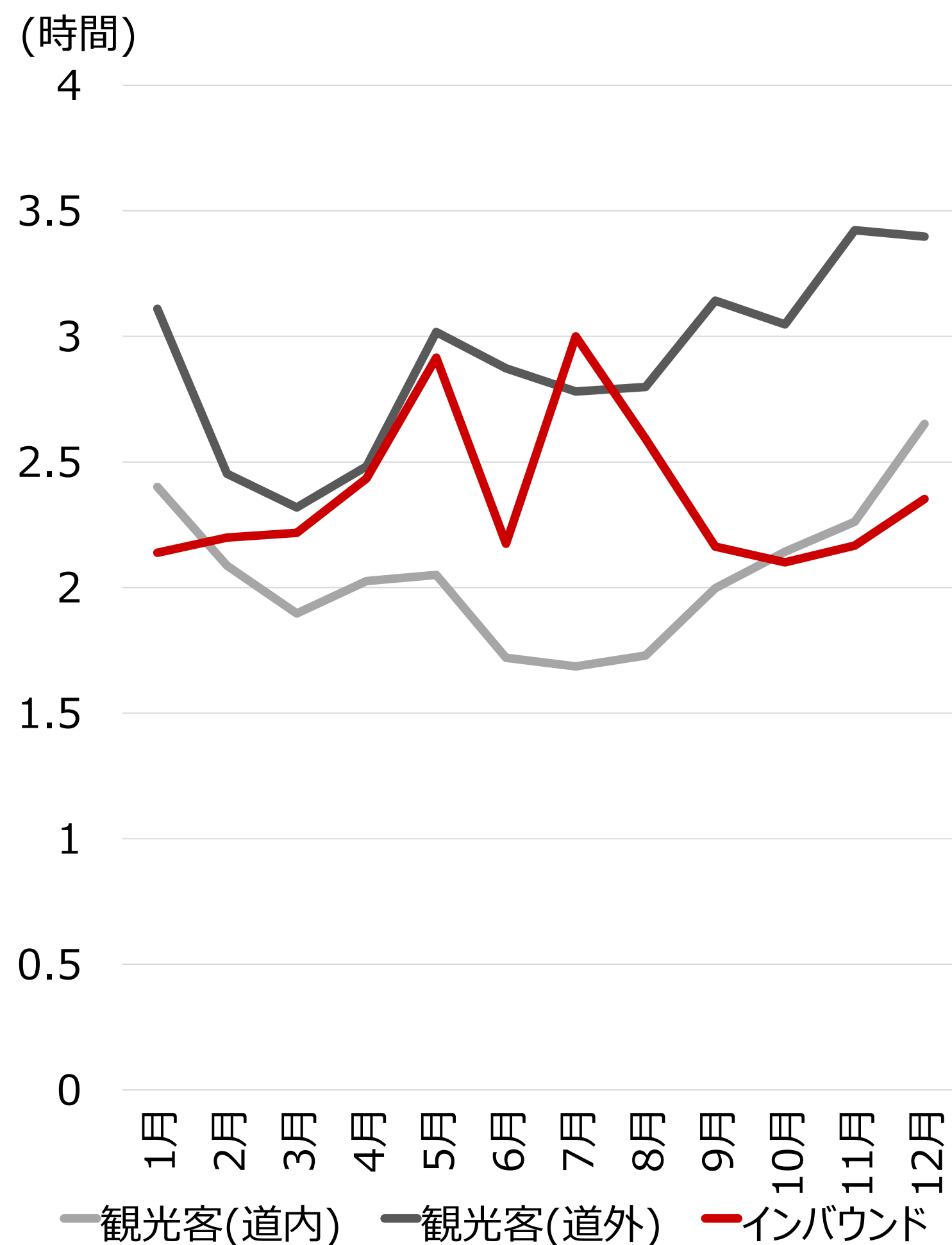


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

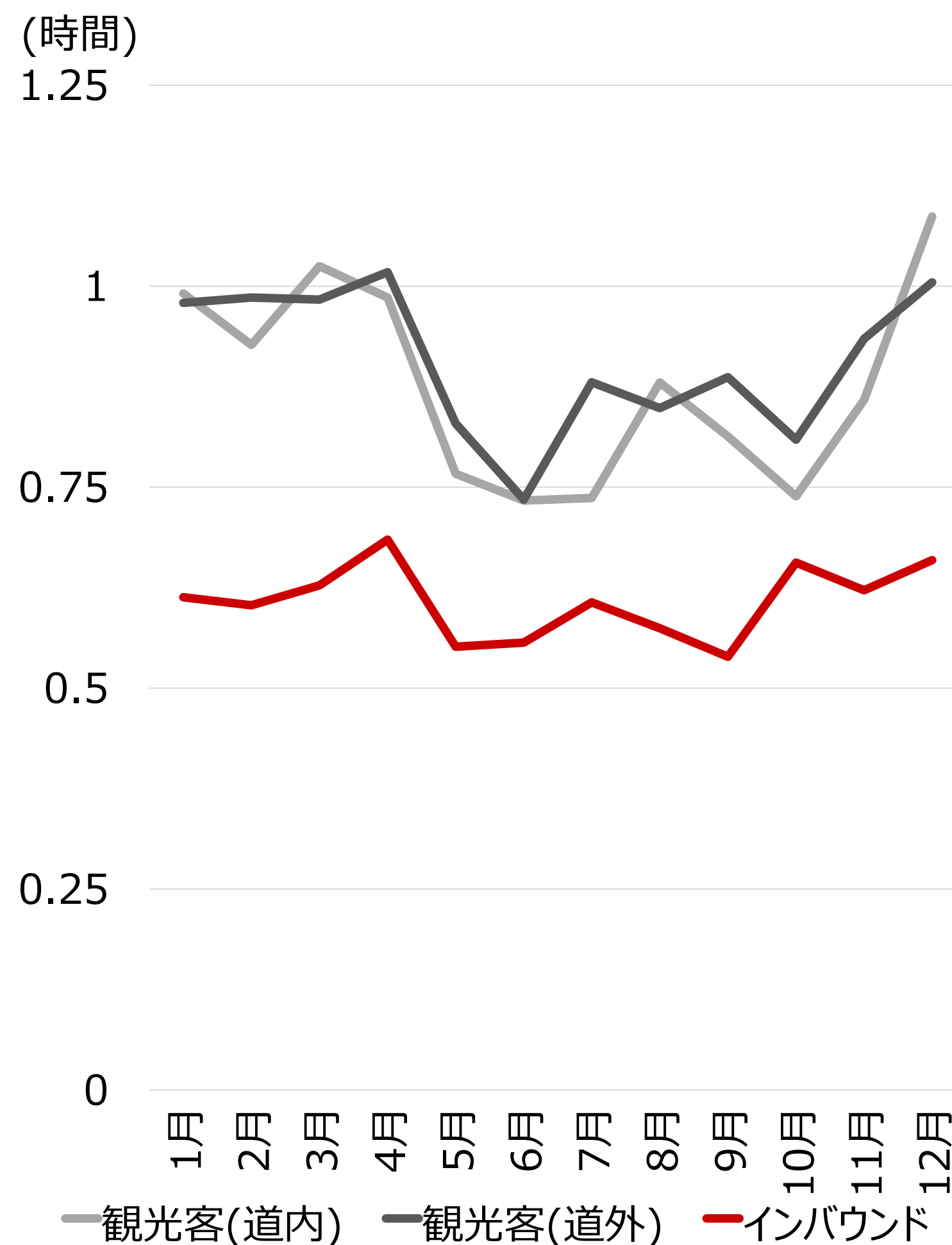
中心部・小樽運河・堺町通り商店街来訪者の平均滞在時間

- 平均滞在時間について、中心部エリアは道外客の11月、小樽運河エリアは道内客の12月、堺町通りエリアは道内客の2月が最も長い。
- 道外客とインバウンドの違いをみると、特に小樽運河エリアでインバウンドの短期滞在傾向が顕著である。

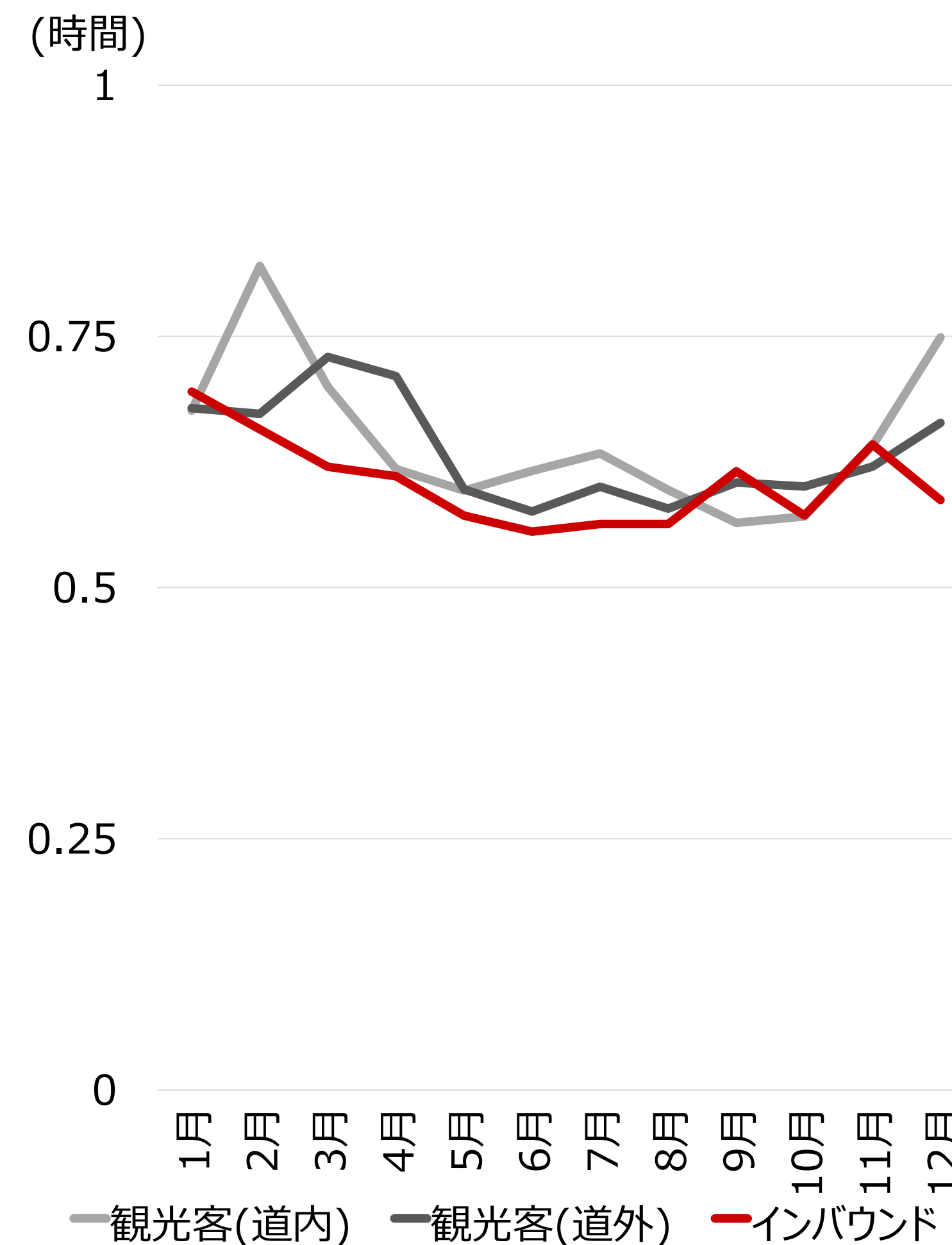
● 中心部エリアの平均滞在時間



● 小樽運河エリアの平均滞在時間



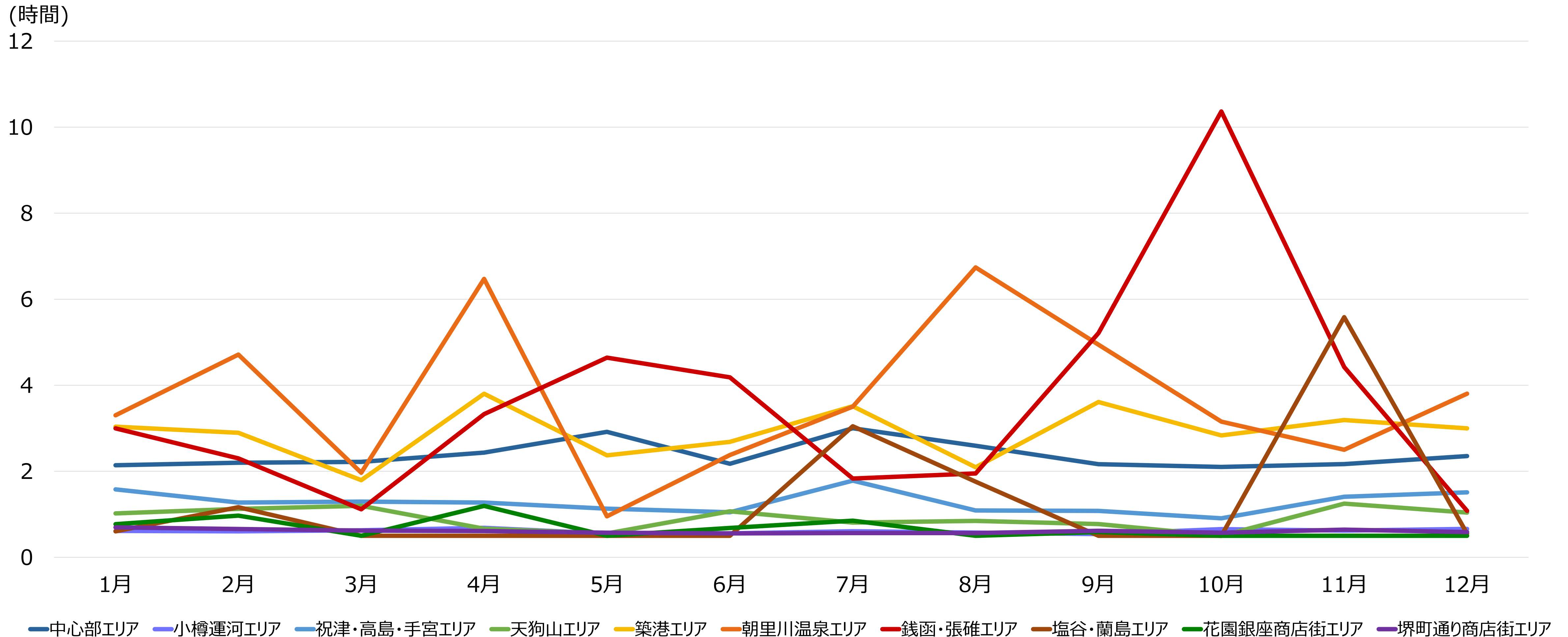
● 堺町通り商店街エリアの平均滞在時間



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

各エリアの平均滞在時間（インバウンド）

- 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも滞在時間が比較的長い月がみられ、特殊需要がうかがえる。
- 塩谷・蘭島エリアでは、7~8月・11月の滞在時間が顕著に増加している。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

利用交通手段

小樽市全域来訪者の利用交通手段分布

- 道内客・道外客・インバウンドの順に自動車利用率が低くなり、JR利用率が高くなる傾向にある。
- インバウンドのJR利用率は、東アジアで8月・東南アジアで4月・欧米豪で5月に最多となっている。

● 利用交通手段分布 〈JR・自動車〉 ※自動車にはマイカー・レンタカー・バスのいずれも含む

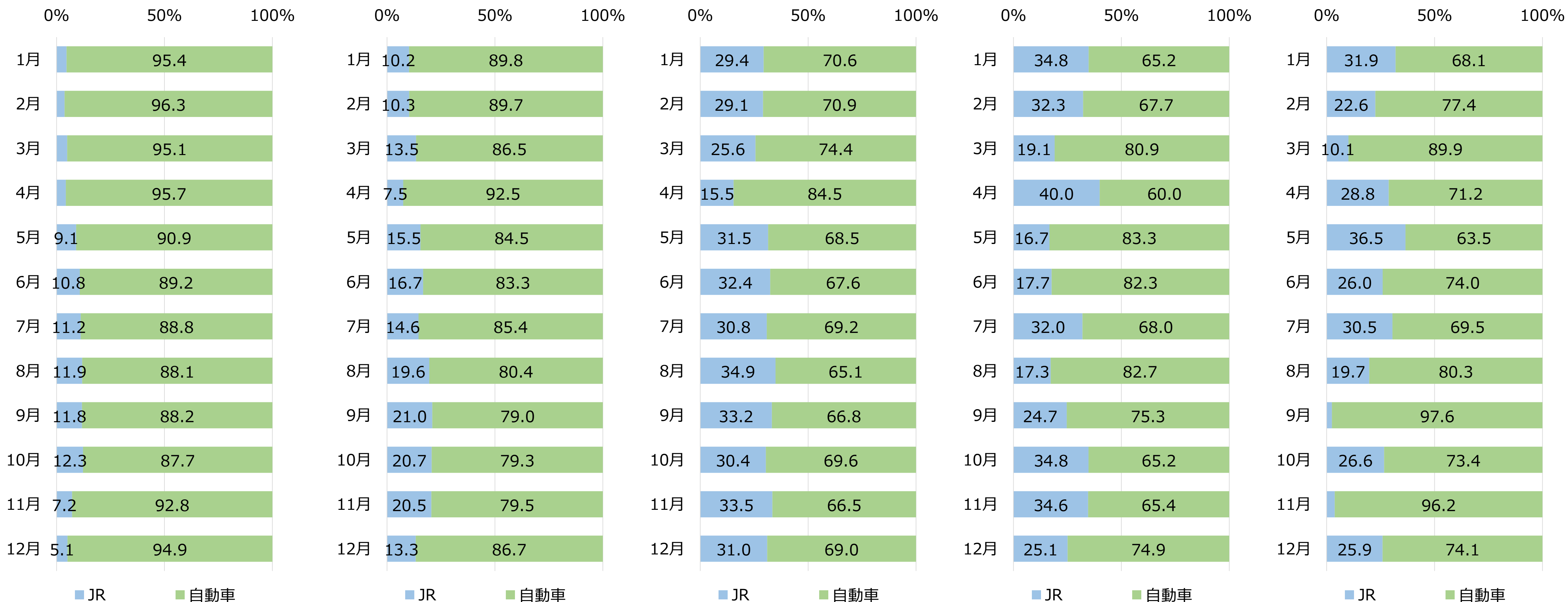
【日本人観光客(道内)】

【日本人観光客(道外)】

【東アジア】

【東南アジア】

【欧米豪】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

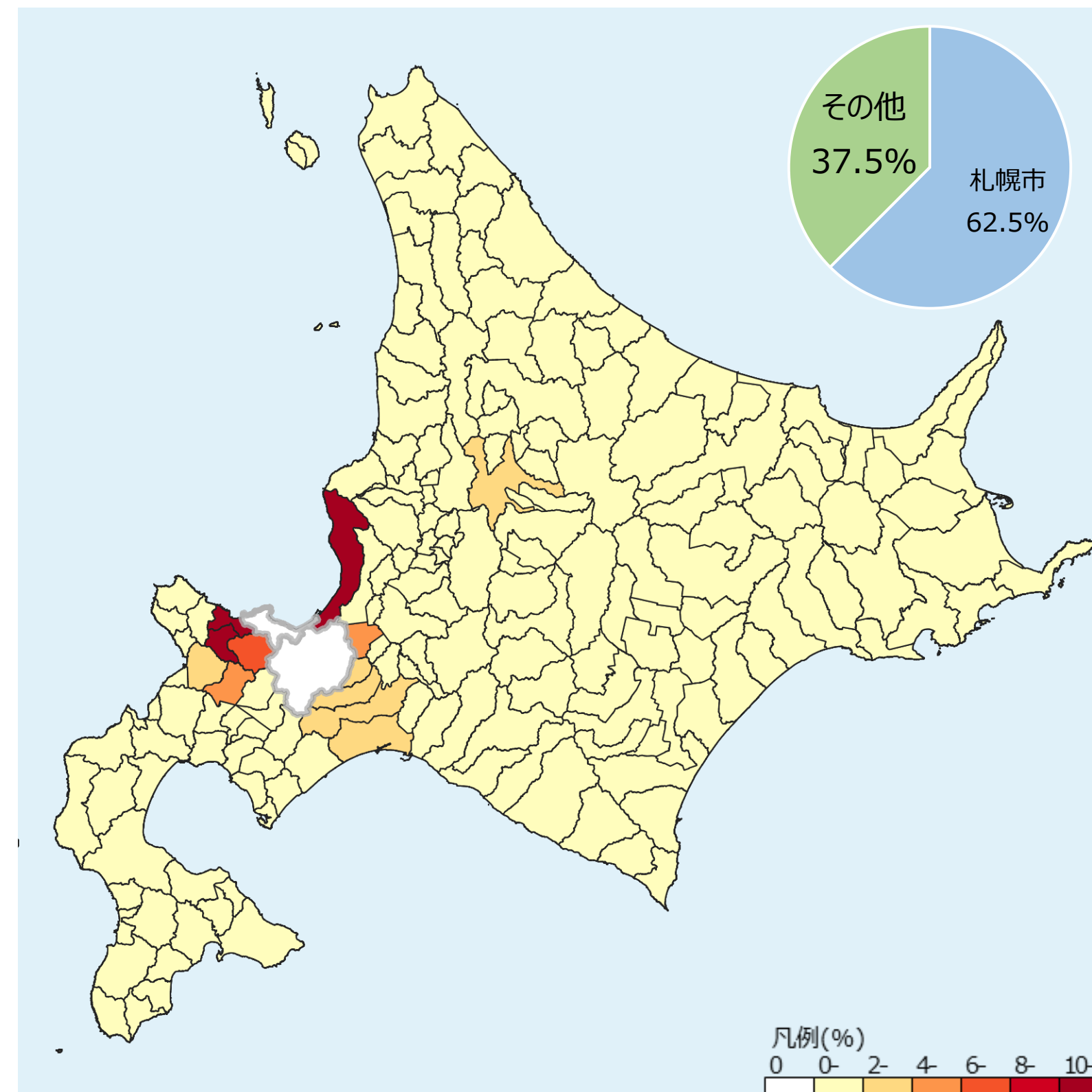
周遊先

小樽市全域来訪者の周遊先（2025年1-12月）

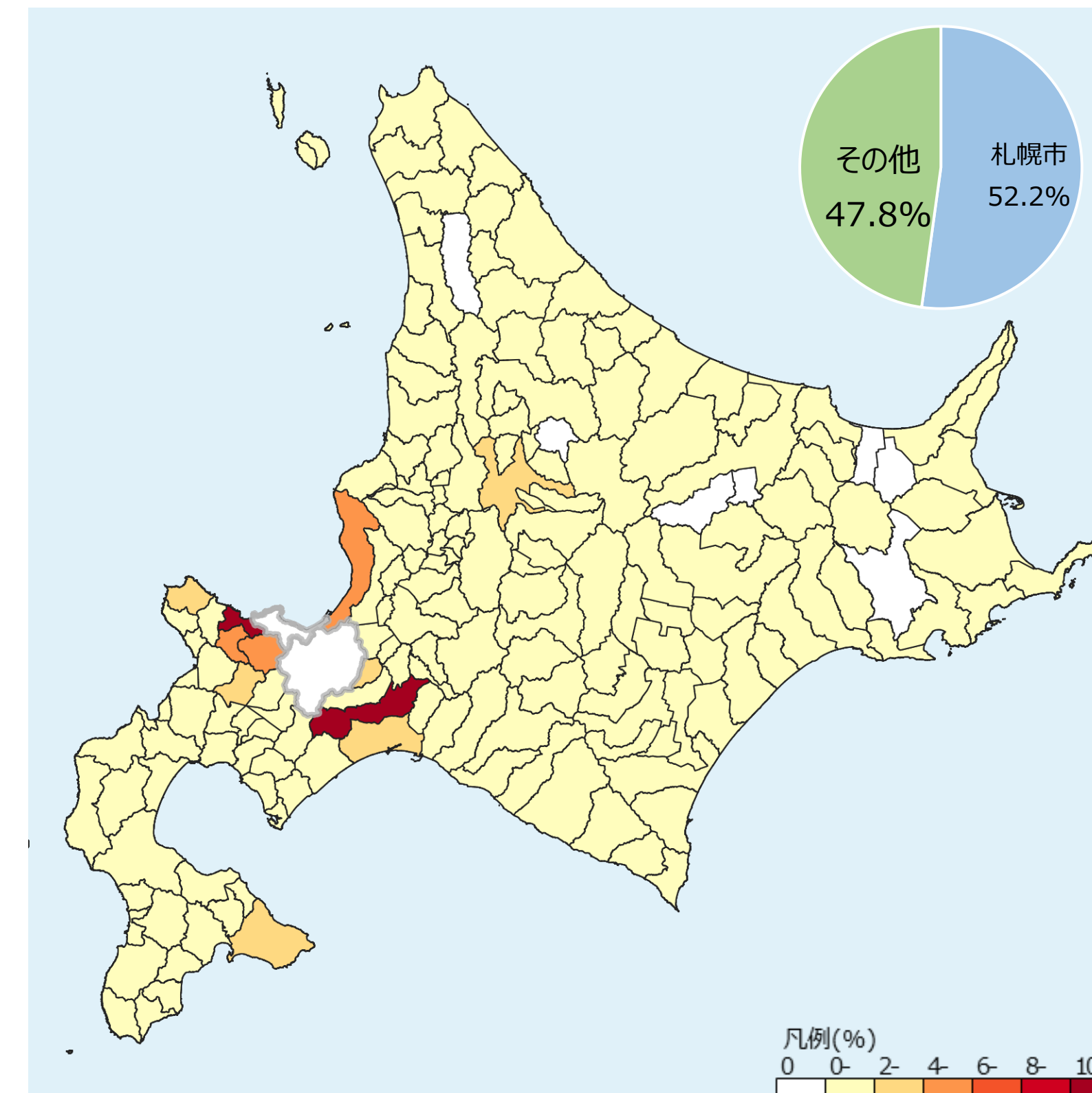
- 道内客では石狩・仁木・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川が多い。
- 道外客では千歳・余市との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

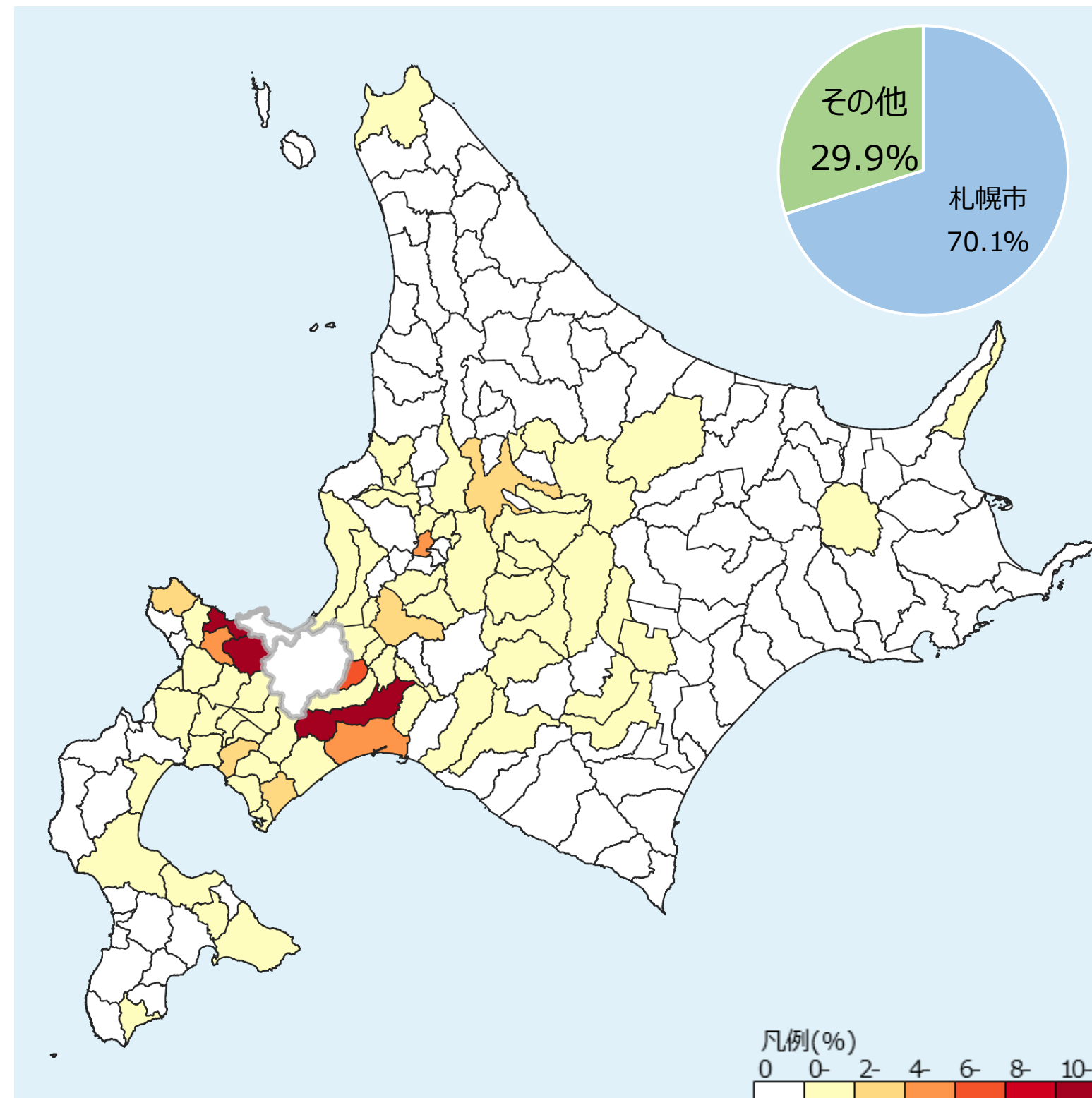
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の周遊先（2025年1-12月）

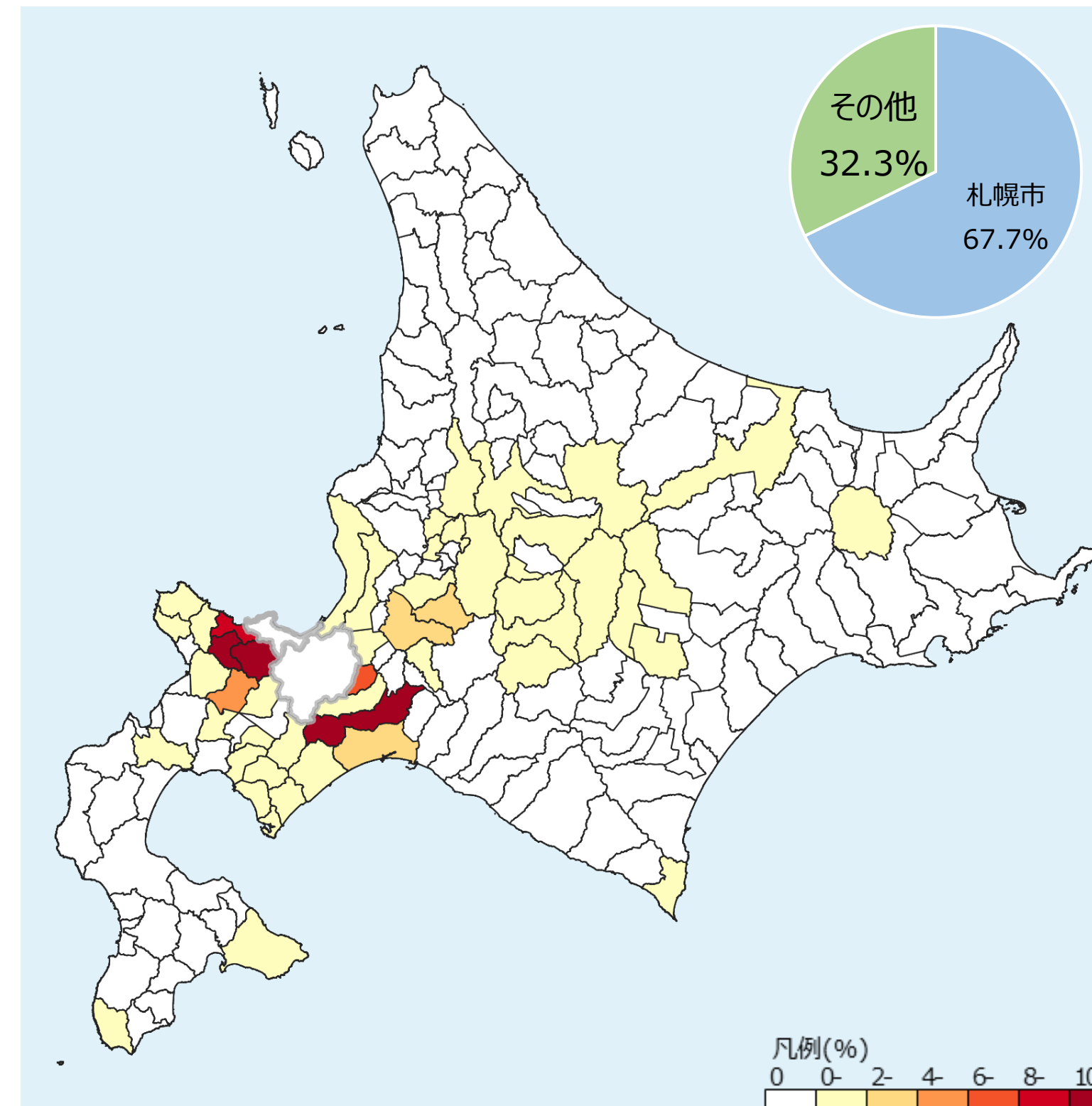
- 東アジア居住者では千歳・余市・赤井川との周遊が特に多く、次いで北広島が多い。
- 東南アジア居住者では千歳・仁木・赤井川との周遊が特に多く、次いで余市・北広島が多い。
- 欧米豪居住者では千歳・仁木・余市との周遊が特に多く、次いで江別・共和が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

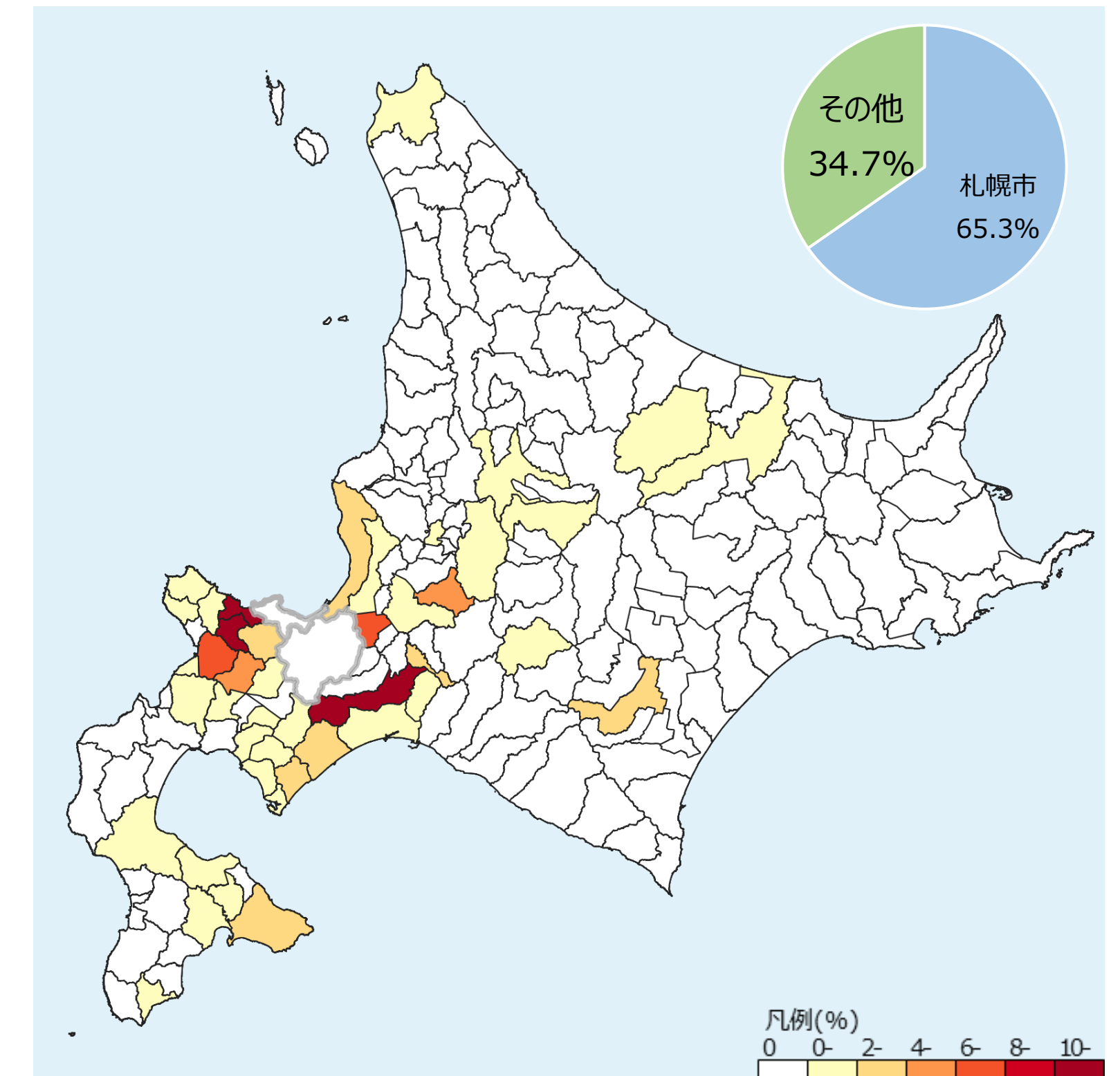
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

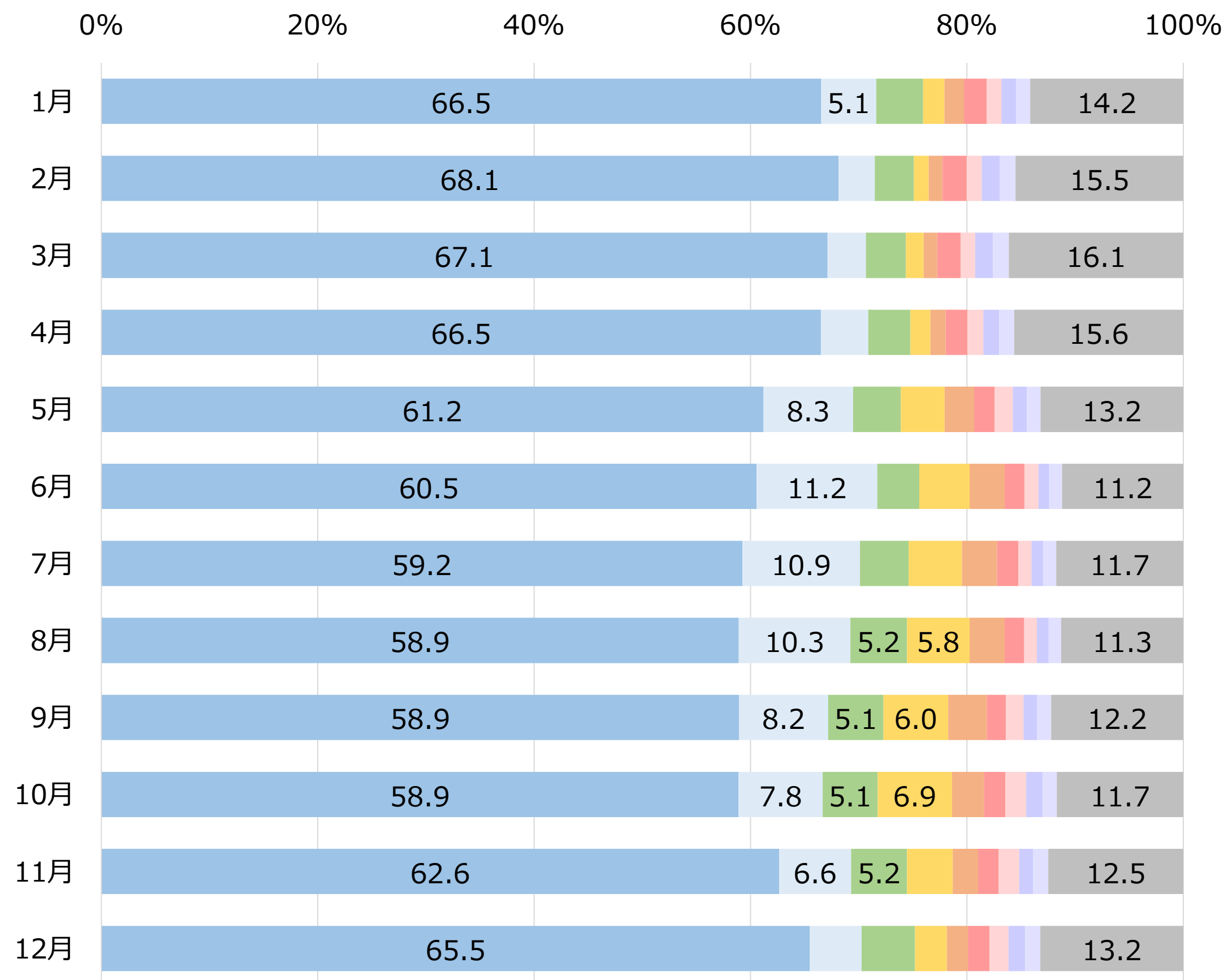
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の周遊先分布

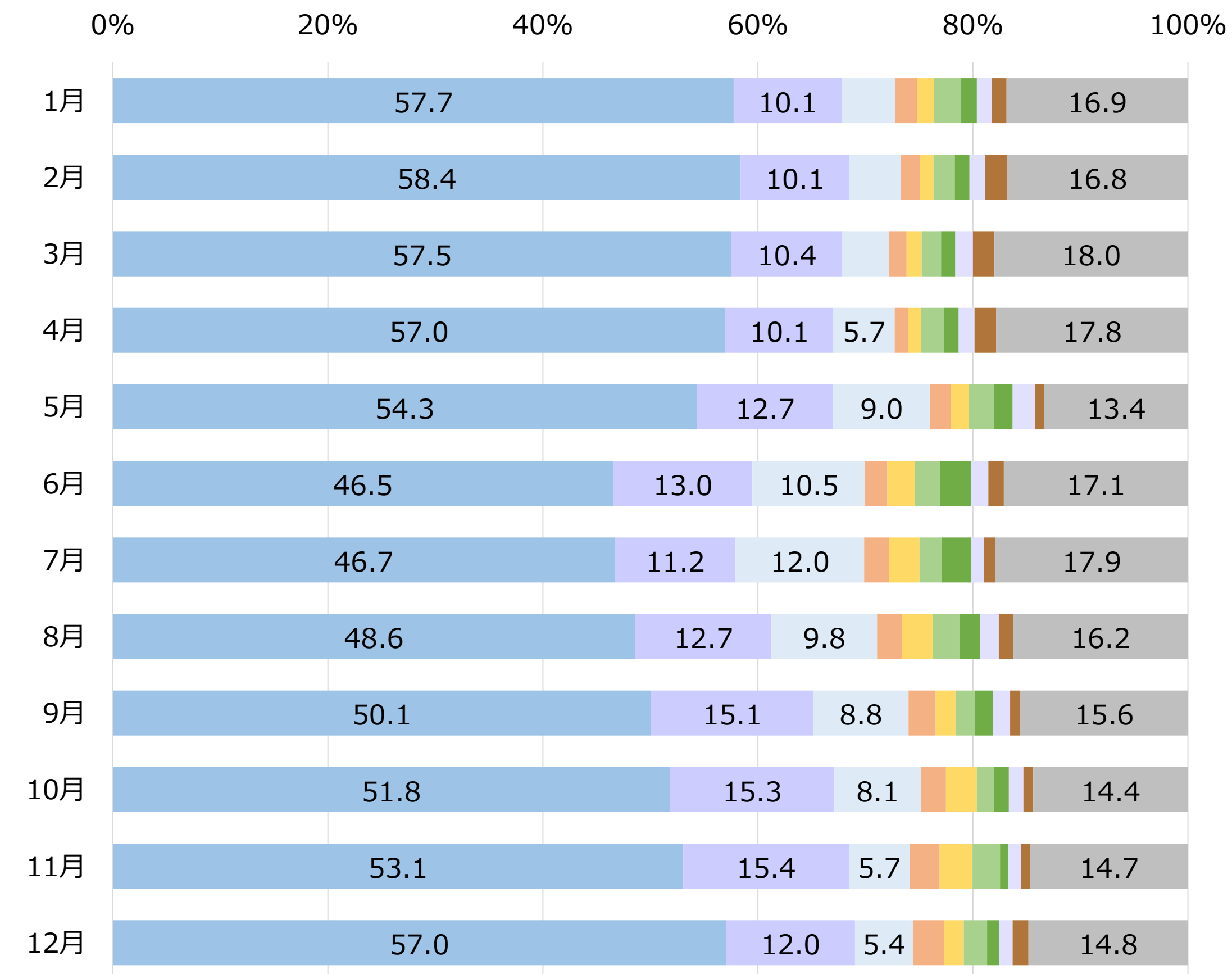
- 道内客は、札幌のほか余市・石狩との周遊が特に多く、次いで仁木・赤井川が多い。
- 道外客は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川・仁木が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



■ 札幌市 ■ 余市町 ■ 石狩市 ■ 仁木町 ■ 赤井川村 ■ 江別市 ■ 倶知安町 ■ 千歳市 ■ 北広島市 ■ その他

■ 札幌市 ■ 千歳市 ■ 余市町 ■ 赤井川村 ■ 仁木町 ■ 石狩市 ■ 積丹町 ■ 北広島市 ■ 函館市 ■ その他

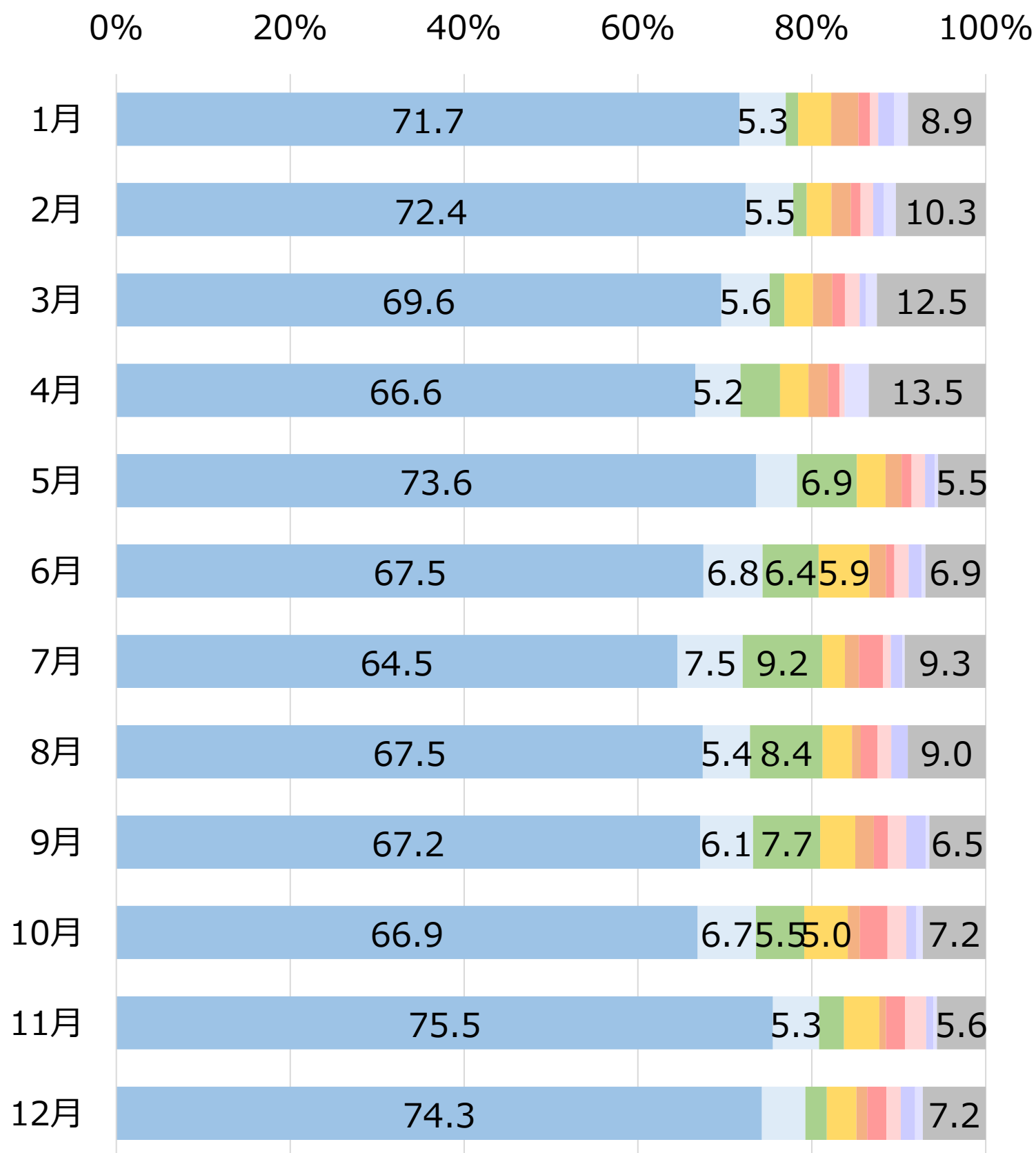
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の周遊先分布

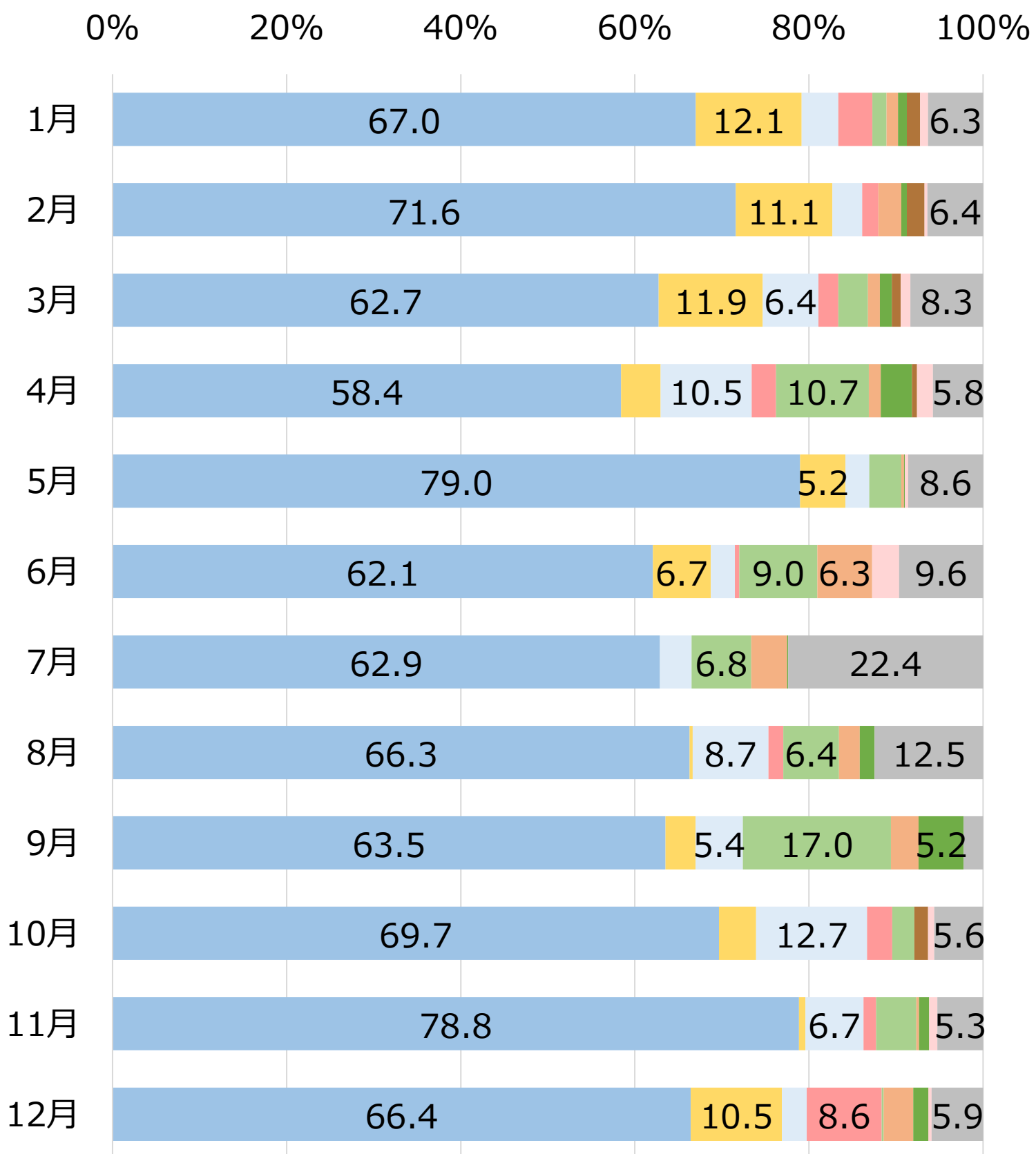
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川・北広島が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか赤井川・千歳との周遊が特に多く、次いで仁木・余市が多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか余市・仁木との周遊が特に多く、次いで千歳・共和が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

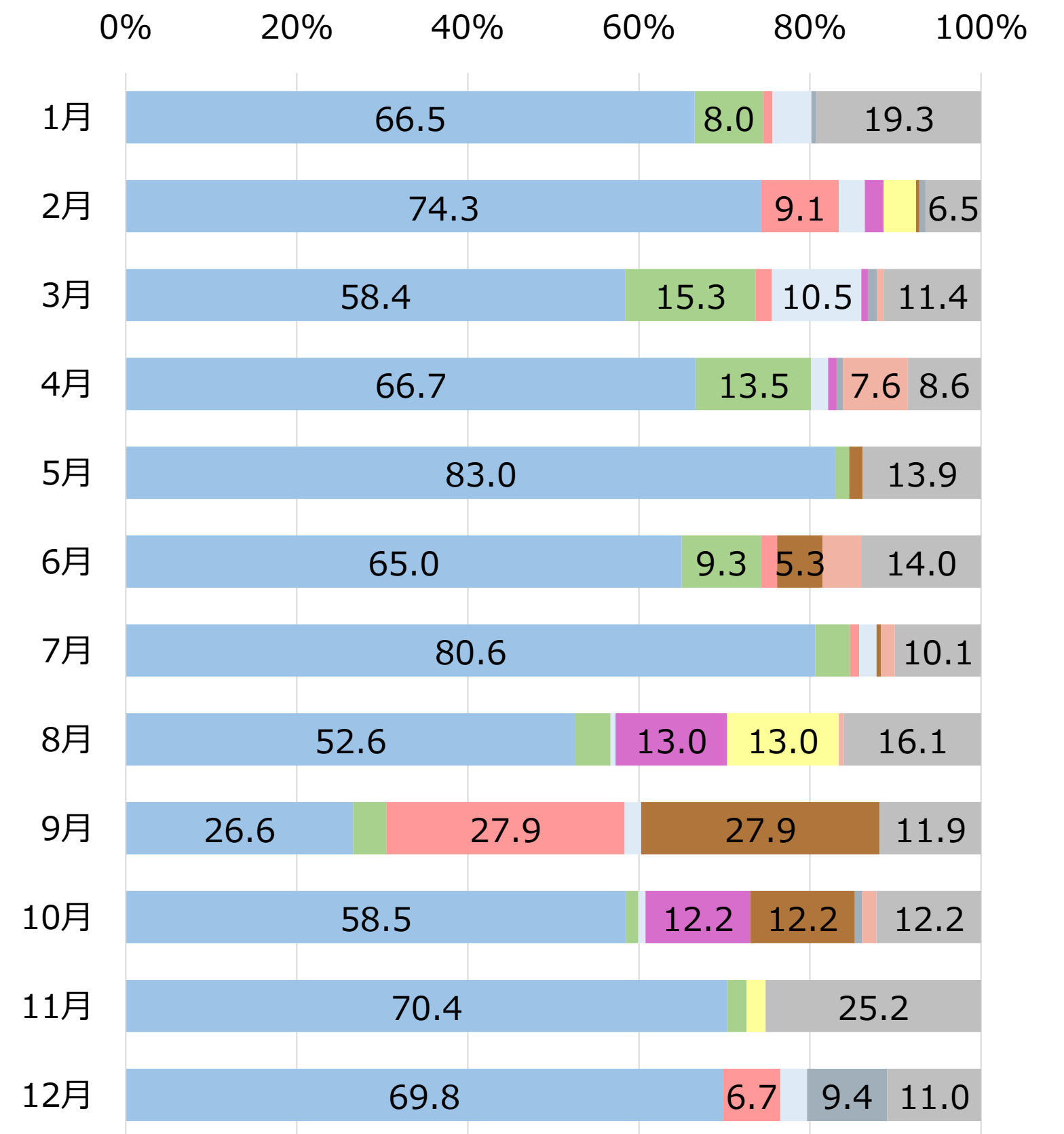
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



札幌市 千歳市 余市町 赤井川村 北広島市 仁木町 苫小牧市 砂川市 洞爺湖町 その他

札幌市 赤井川村 千歳市 仁木町 余市町 北広島市 俱知安町 三笠市 苫小牧市 その他

札幌市 余市町 仁木町 千歳市 共和町 江別市 三笠市 俱知安町 函館市 その他

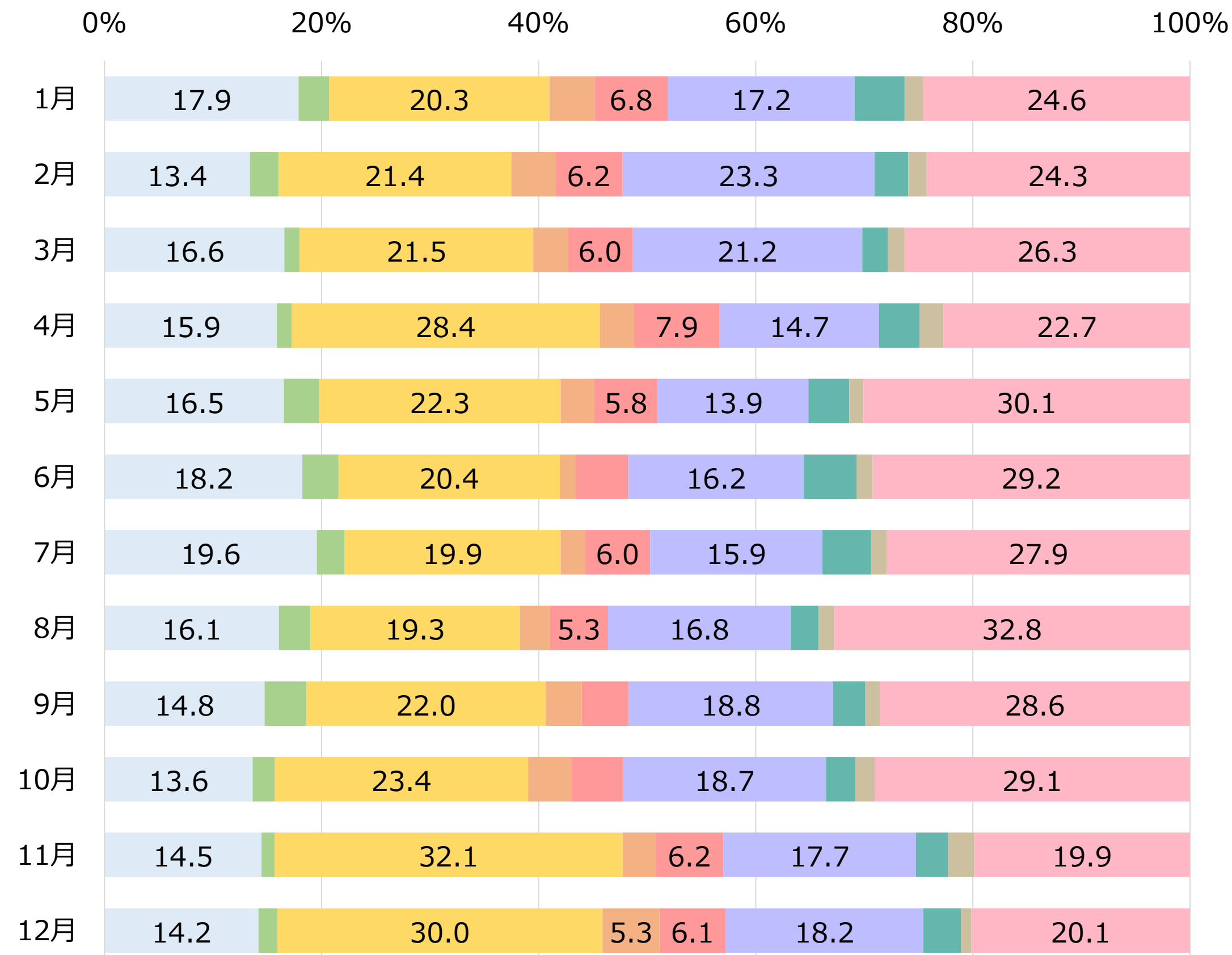
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリア来訪者の周遊先分布

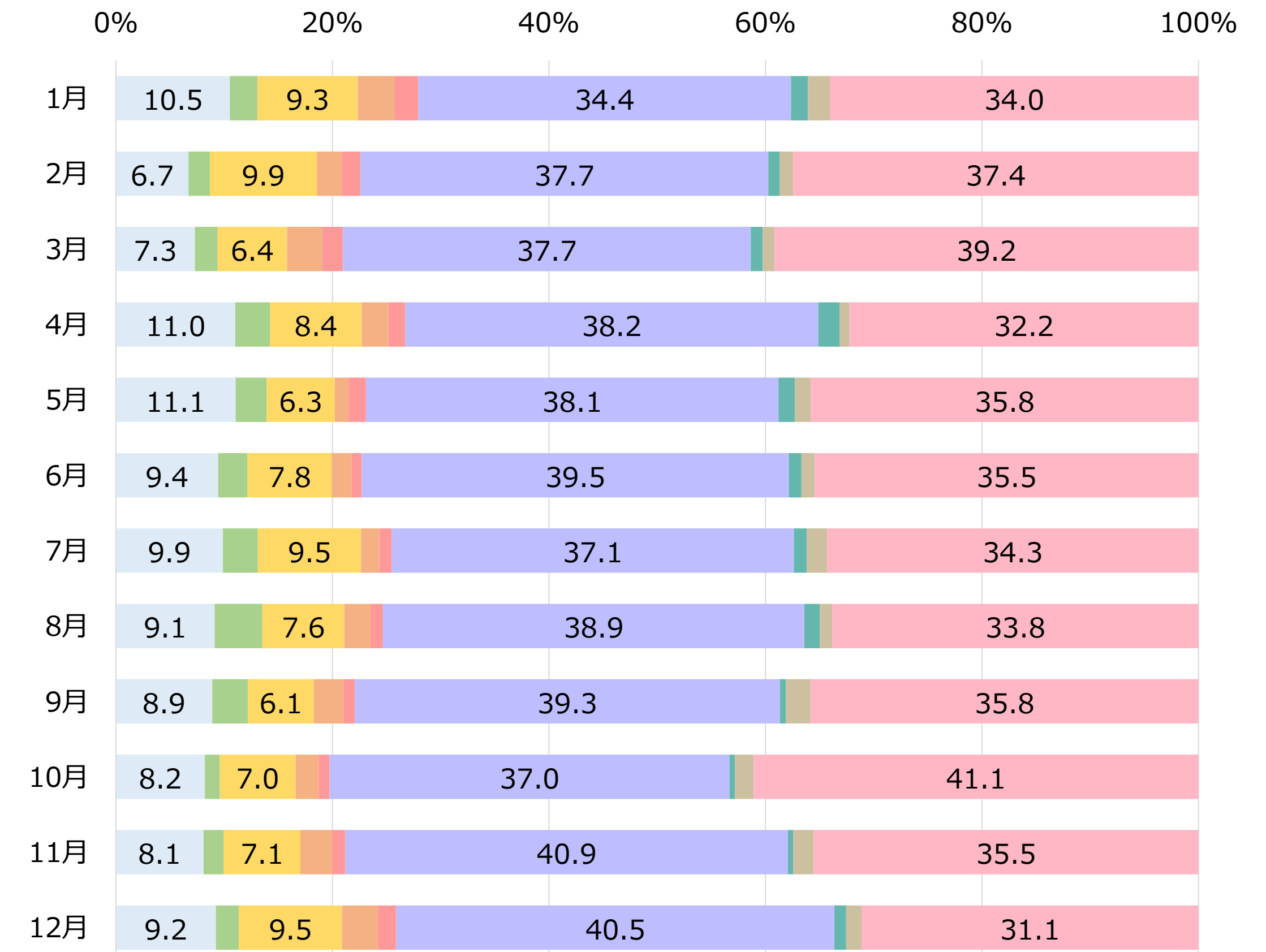
- 道内客は、堺町通りエリアとの周遊が最も多く、次いで築港エリア・小樽運河エリアの順に多い。
- 道外客は、小樽運河エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・祝津エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



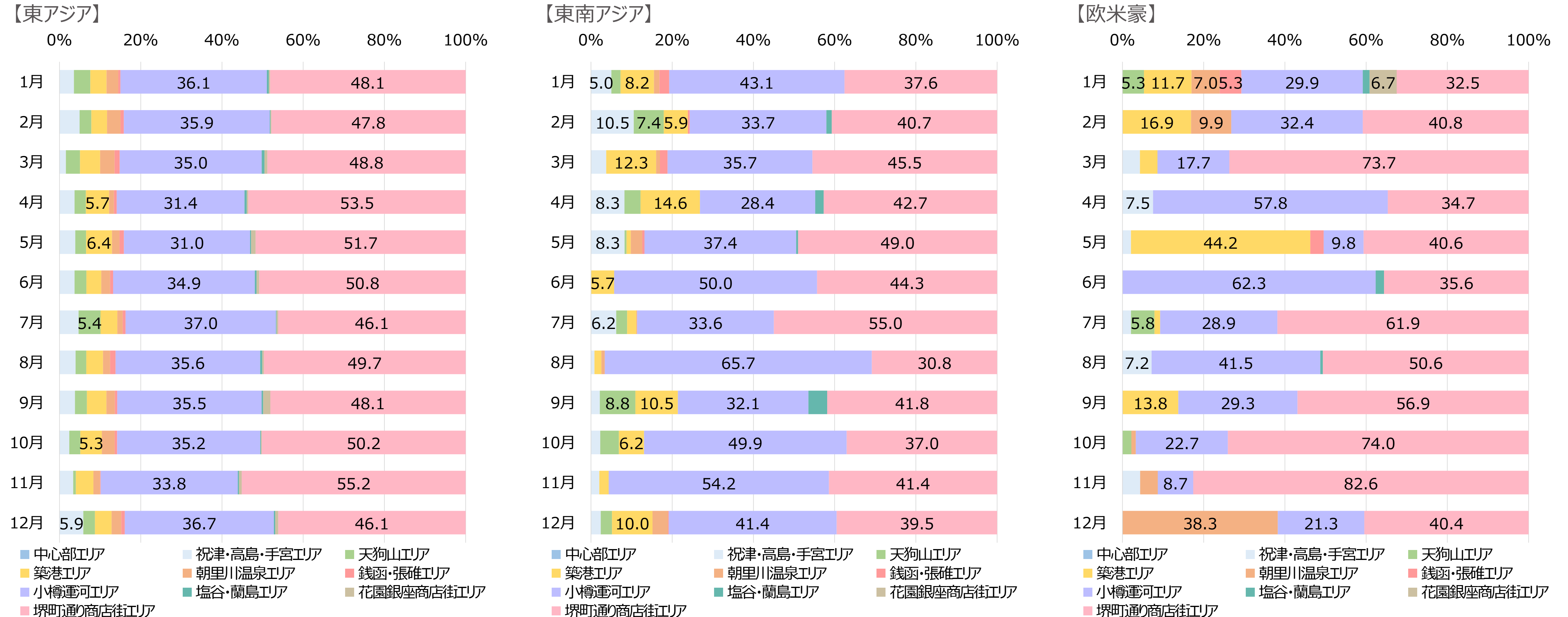
■ 中心部エリア ■ 祝津・高島・手宮エリア ■ 天狗山エリア ■ 築港エリア
■ 朝里川温泉エリア ■ 銭函・張碓エリア ■ 小樽運河エリア ■ 塩谷・蘭島エリア
■ 花園銀座商店街エリア ■ 堺町通り商店街エリア

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリア来訪者の周遊先分布

➤ 各市場とも、堺町通りエリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉



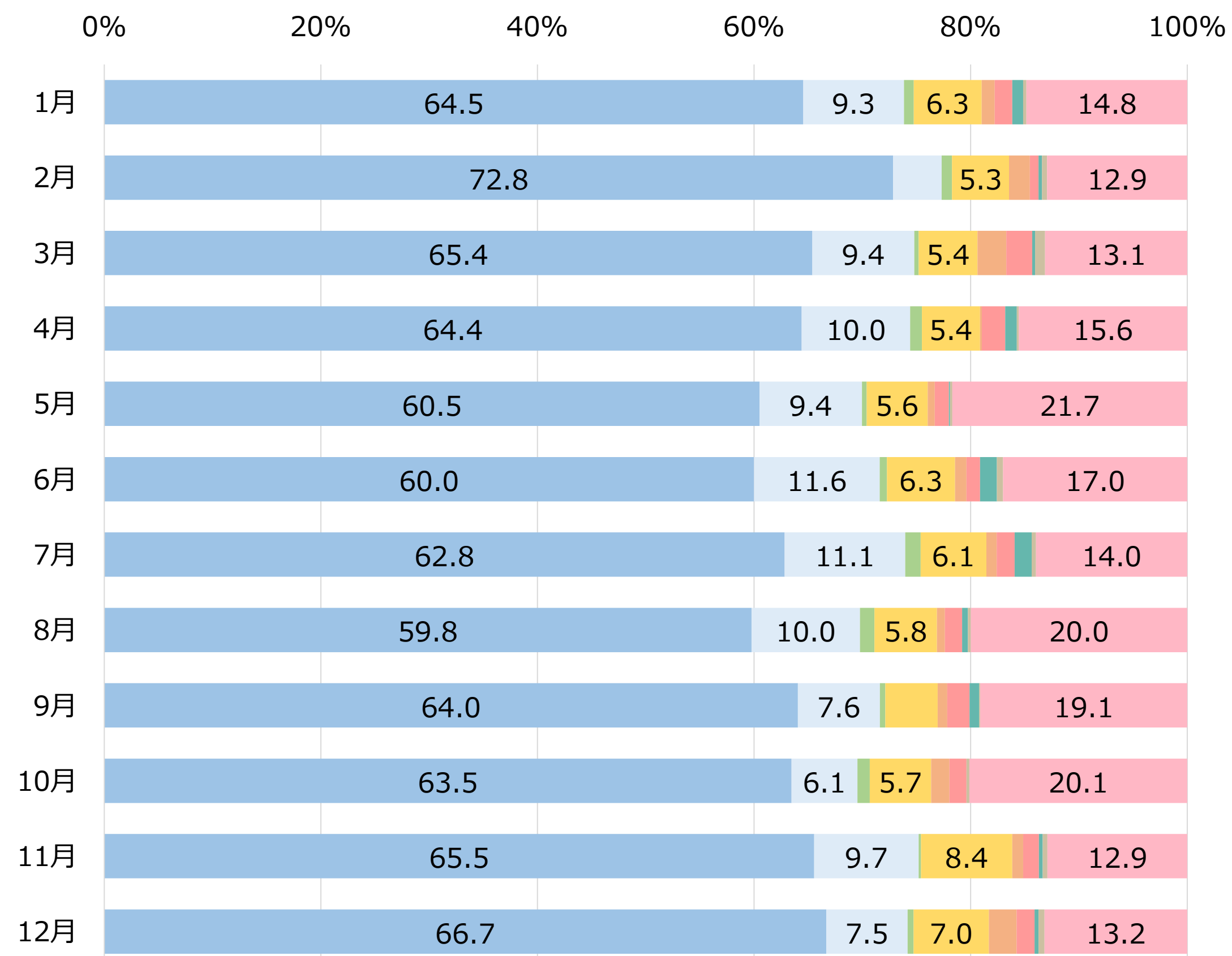
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリア来訪者の周遊先分布

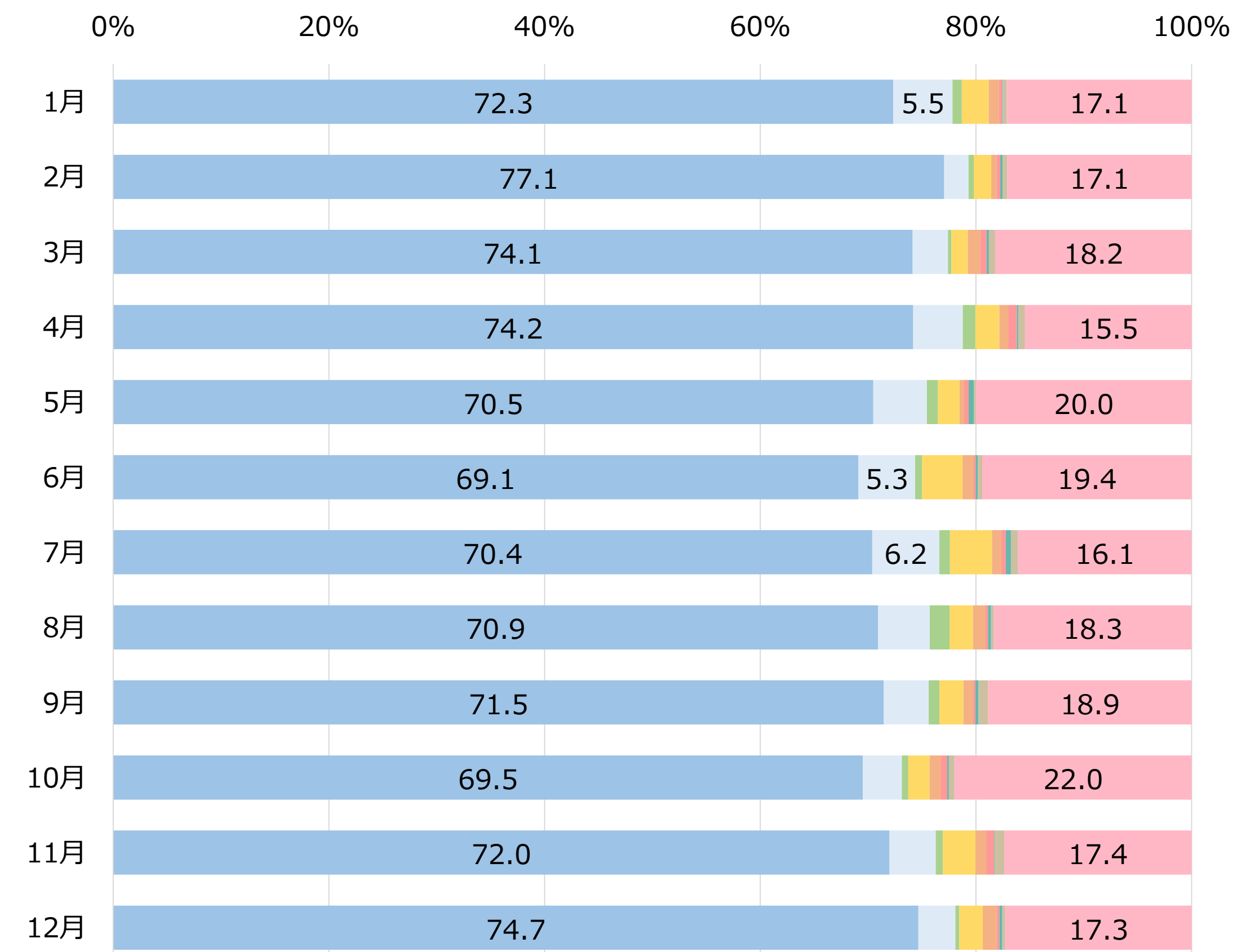
➤ 道内客・道外客とも、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・祝津エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



■ 中心部エリア ■ 祝津・高島・手宮エリア ■ 天狗山エリア ■ 築港エリア
 ■ 朝里川温泉エリア ■ 銭函・張碓エリア ■ 小樽運河エリア ■ 塩谷・蘭島エリア
 ■ 花園銀座商店街エリア ■ 堺町通り商店街エリア

■ 中心部エリア ■ 祝津・高島・手宮エリア ■ 天狗山エリア ■ 築港エリア
 ■ 朝里川温泉エリア ■ 銭函・張碓エリア ■ 小樽運河エリア ■ 塩谷・蘭島エリア
 ■ 花園銀座商店街エリア ■ 堺町通り商店街エリア

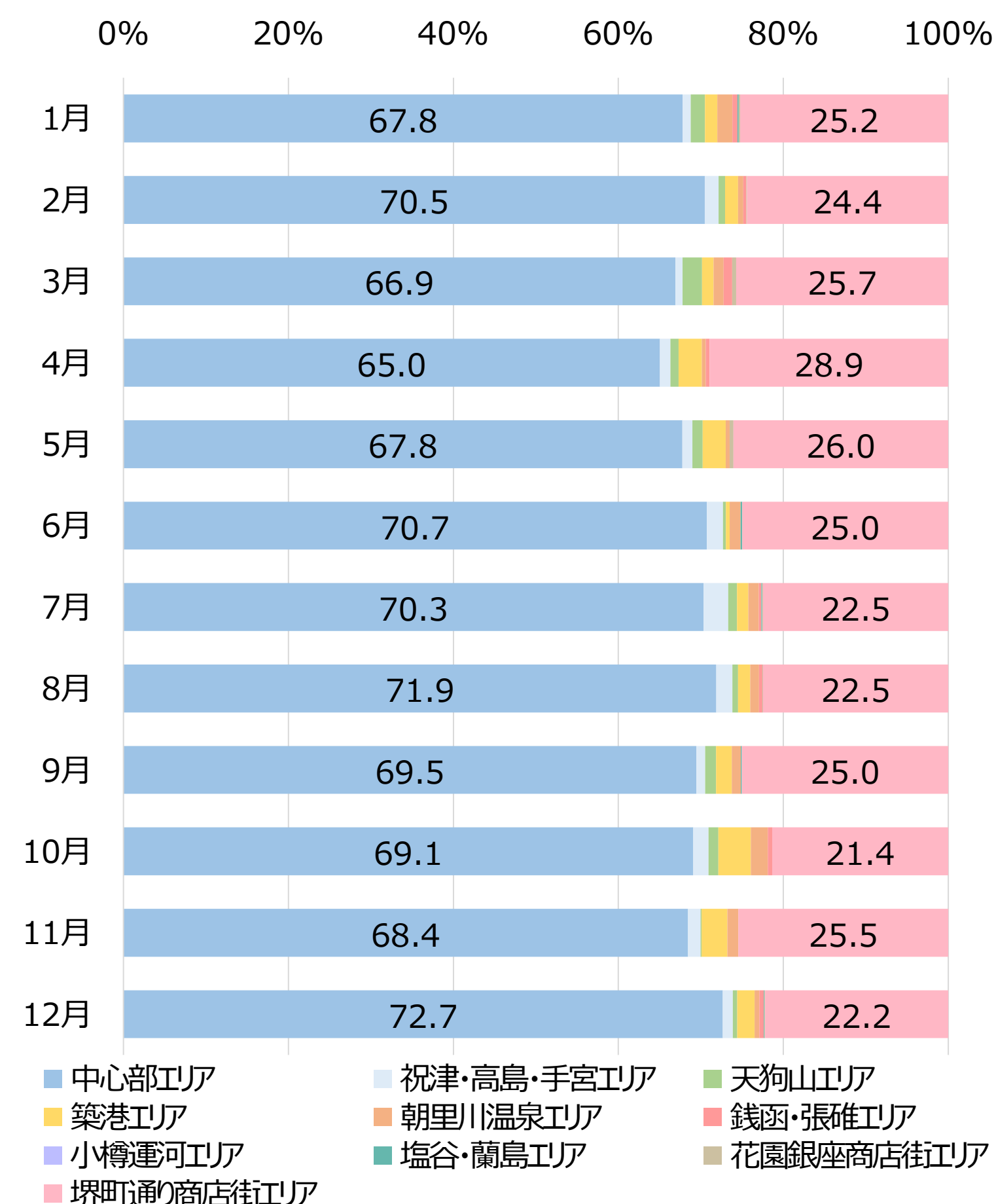
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリア来訪者の周遊先分布

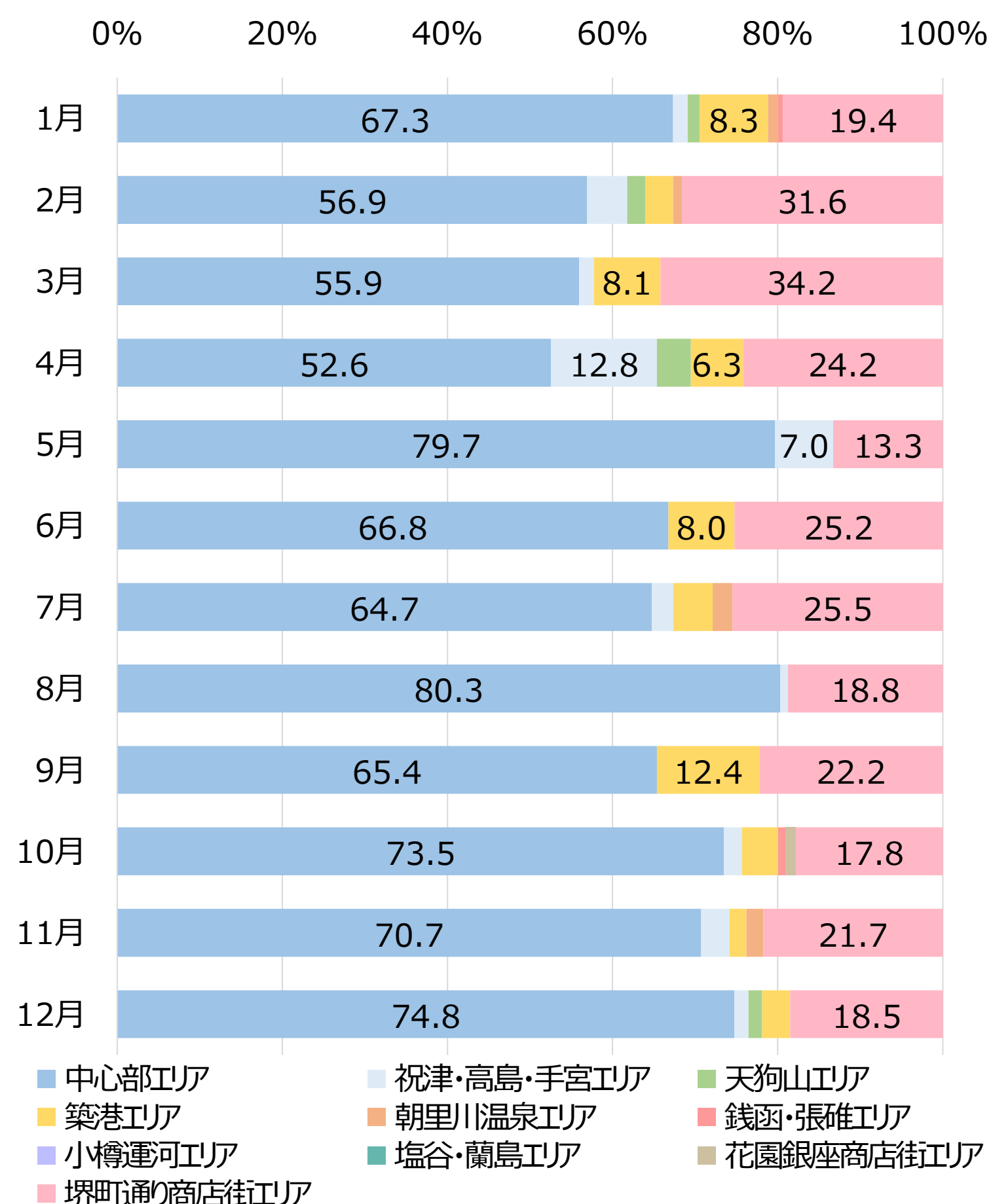
- 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・築港エリアの順に多い。
- 欧米豪居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・花園銀座エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

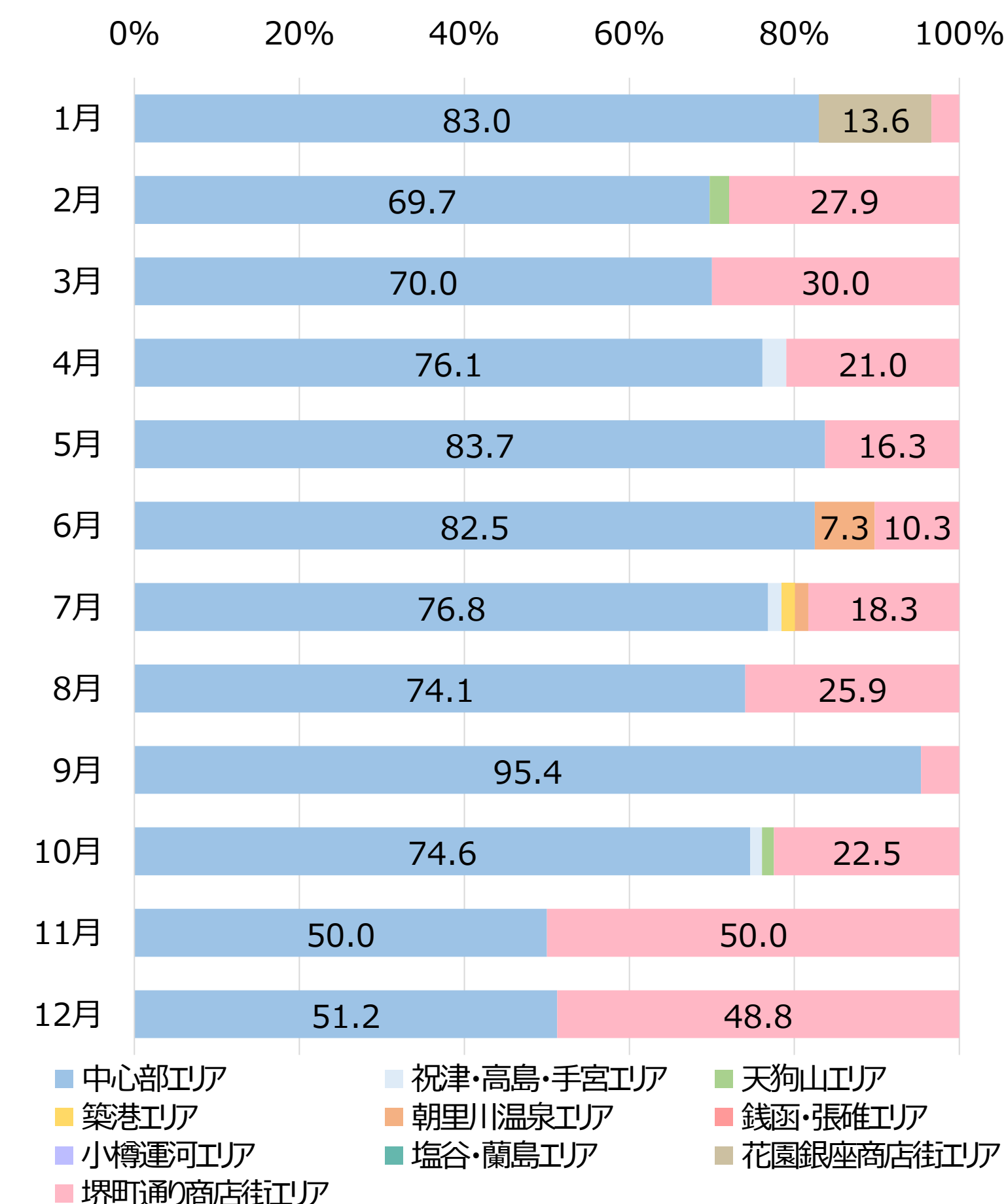
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



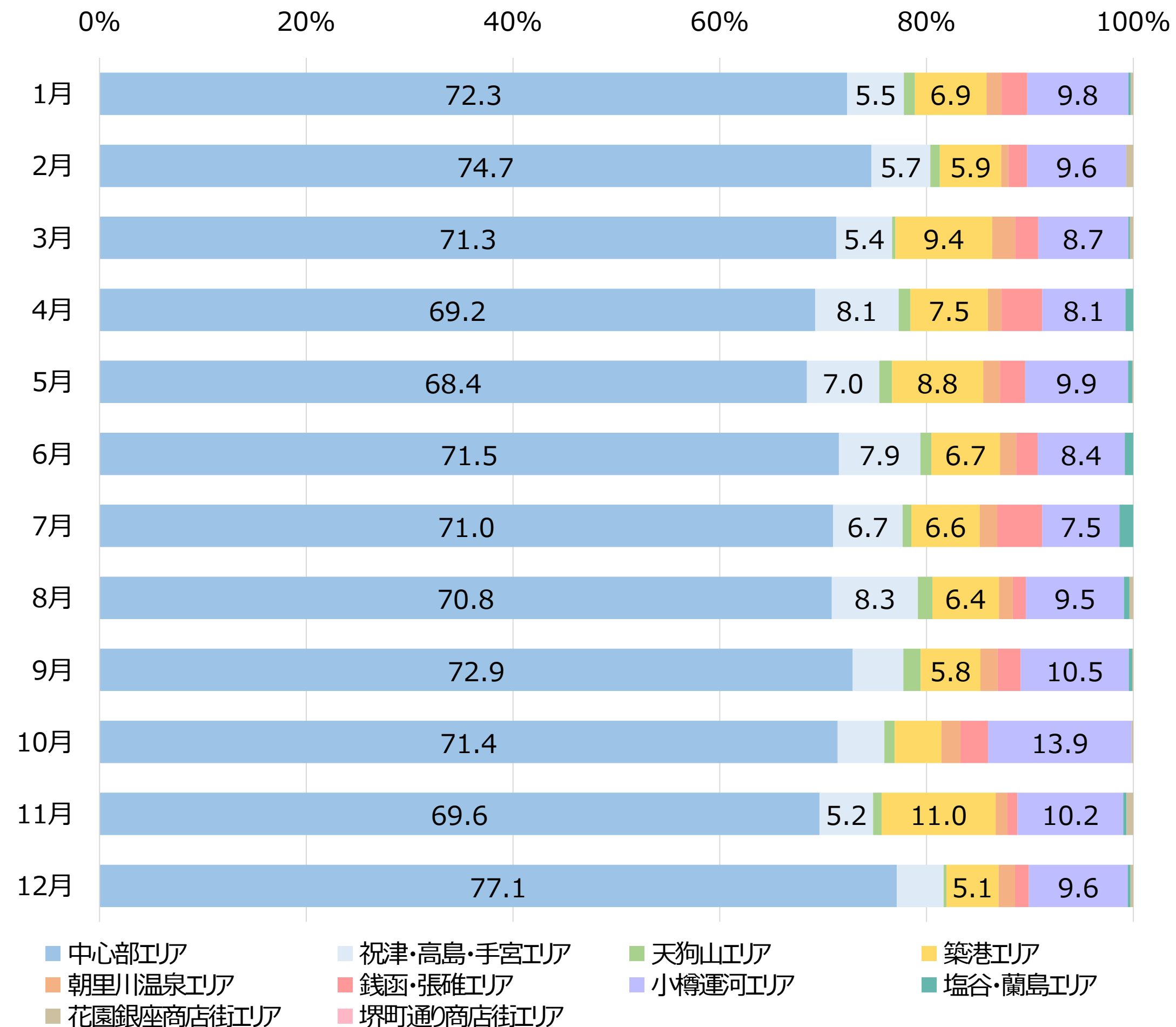
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリア来訪者の周遊先分布

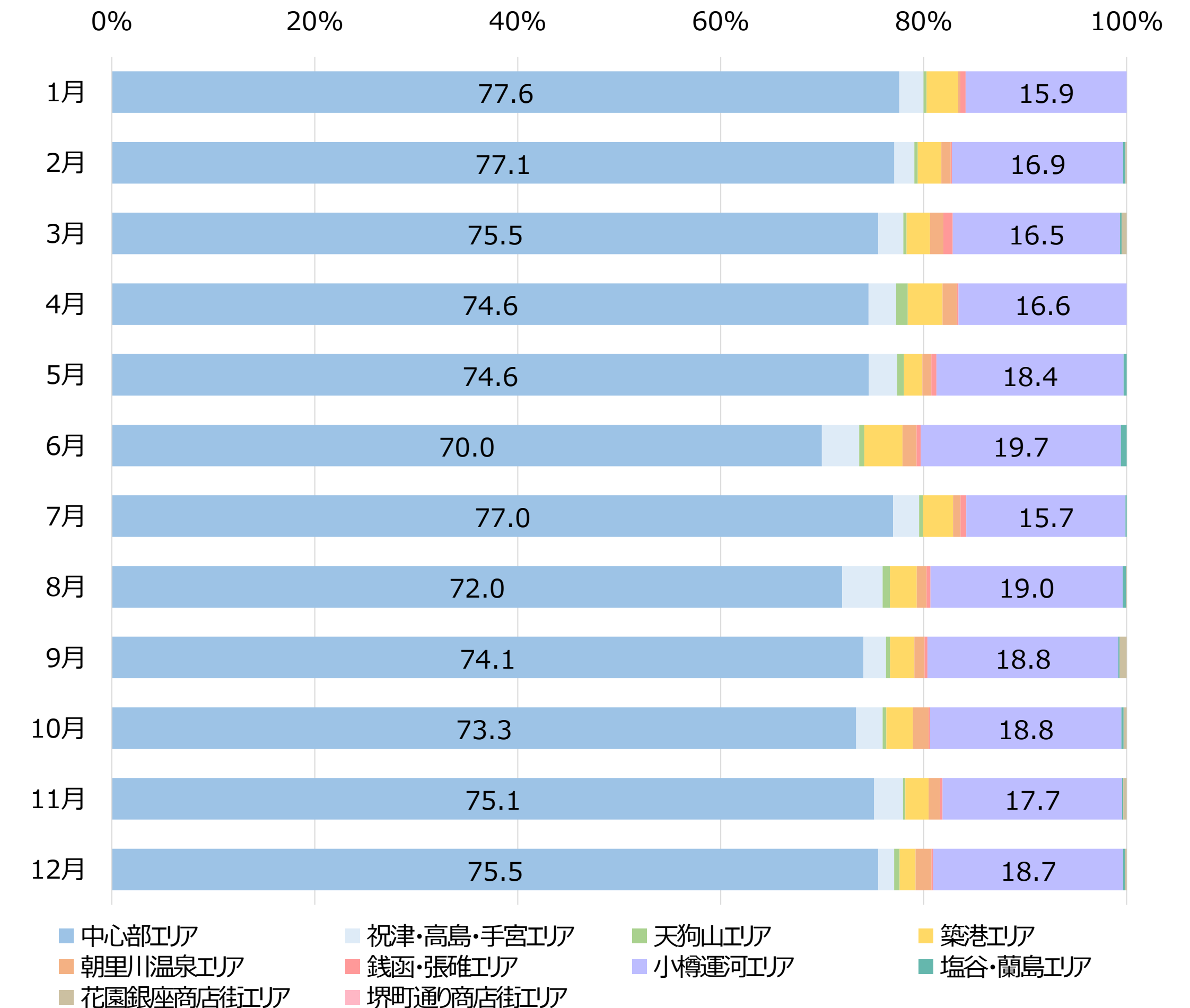
- 道内客は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。
- 道外客は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・祝津エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

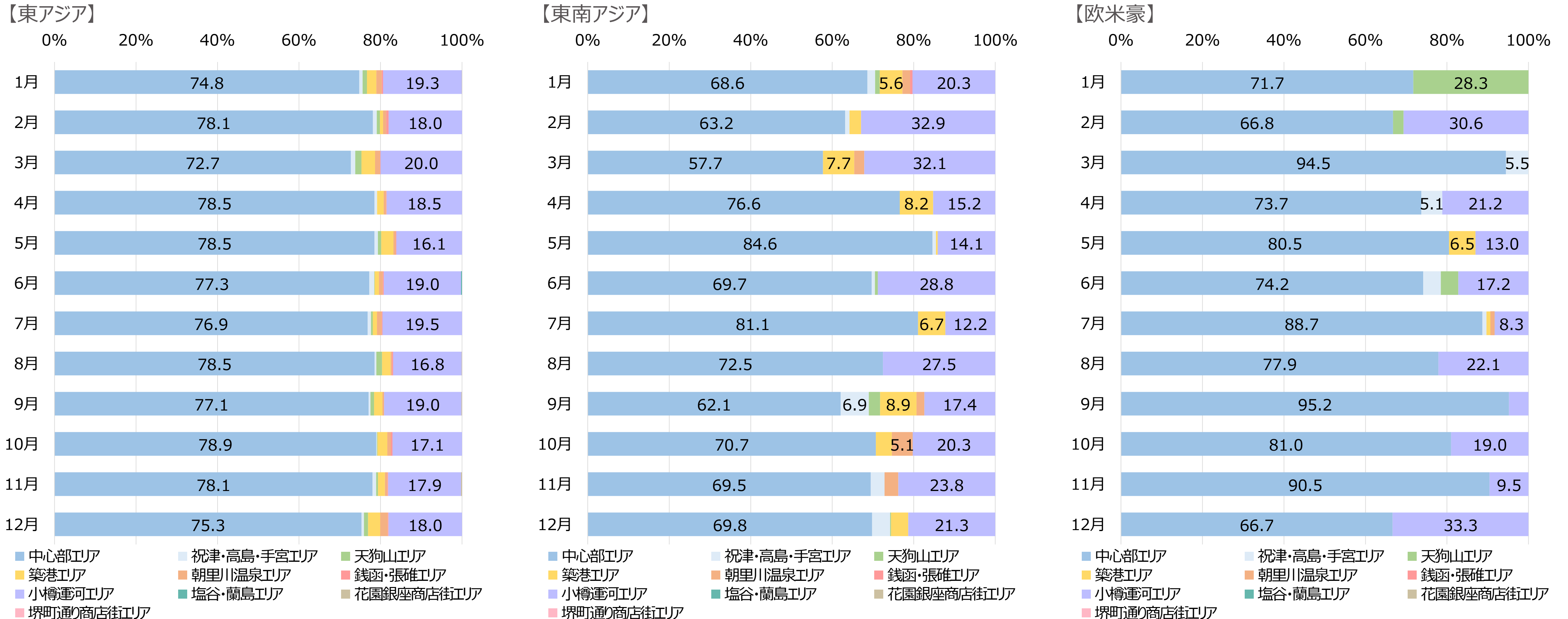


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリア来訪者の周遊先分布

- 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。
- 欧米豪居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・天狗山エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉



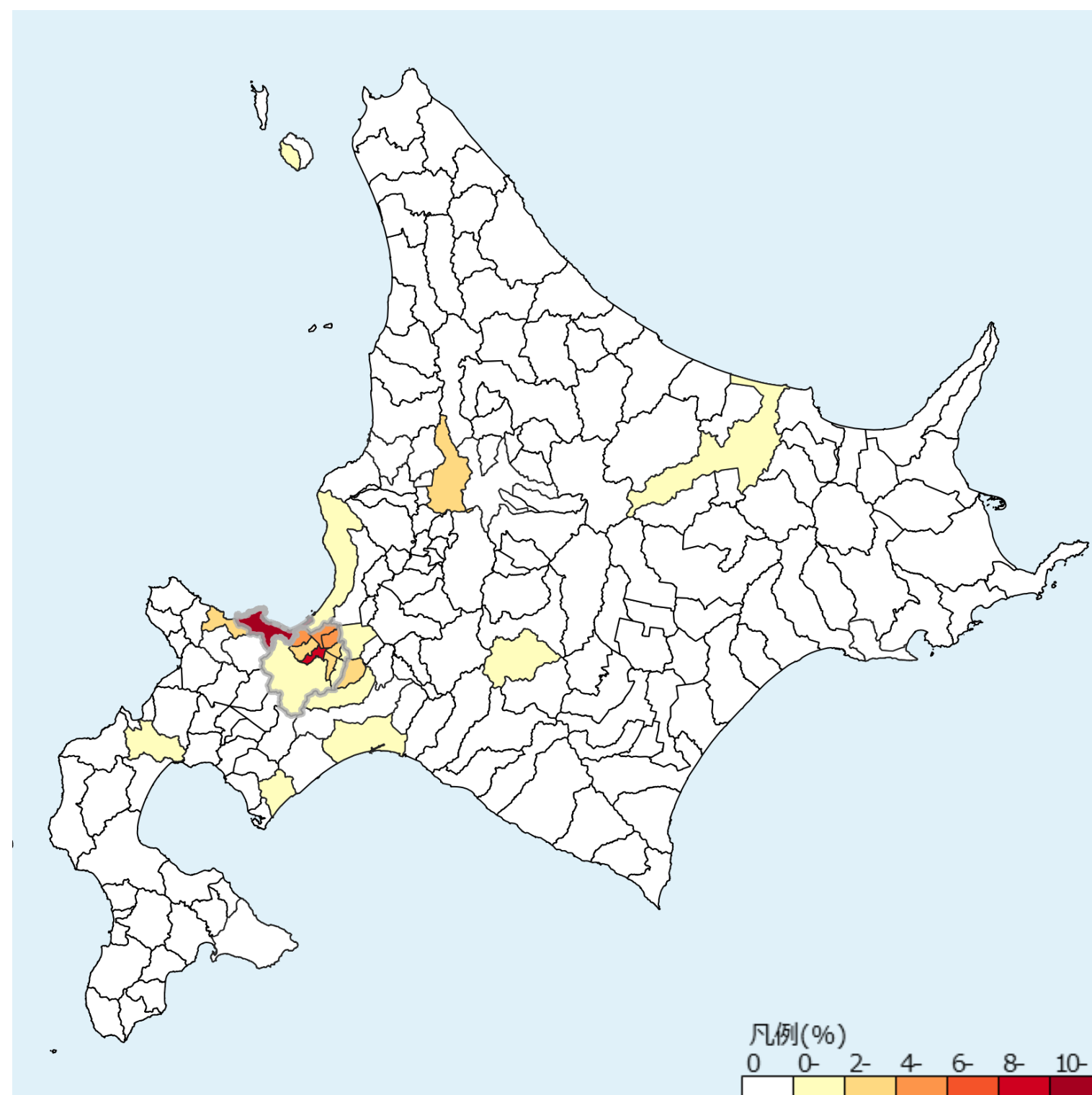
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2025年）

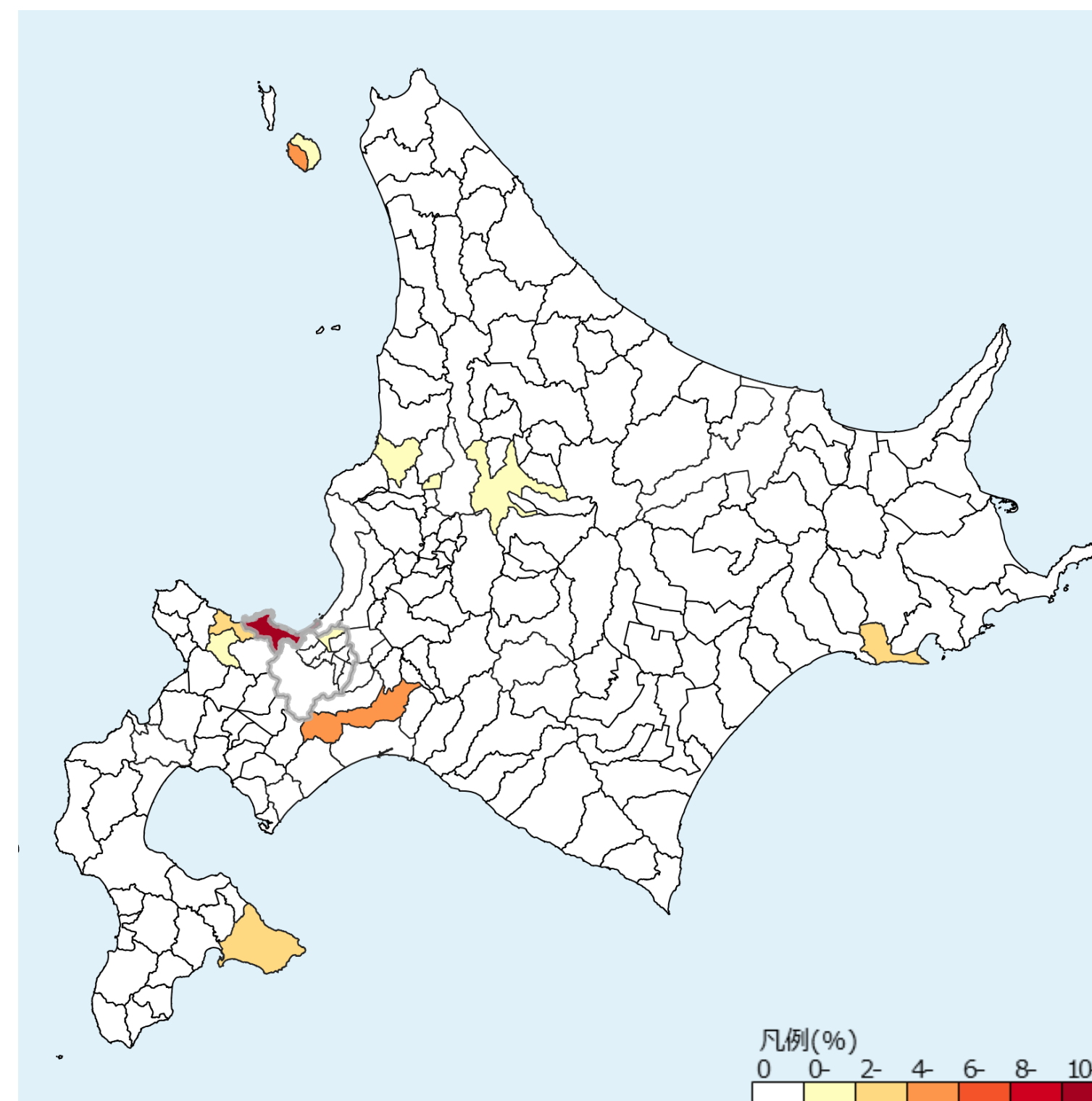
- ▶ 北海道全体における周遊先は、道内客は小樽市内のほか札幌市中央区が特に多く、道外客は小樽市内のほか千歳市・利尻町が多い。
- ▶ インバウンドは、小樽市内のほか函館市との周遊が特に多く、次いで札幌市北区・札幌市東区が多い。

● 周遊先分布 〈全道、2025年2～10月〉

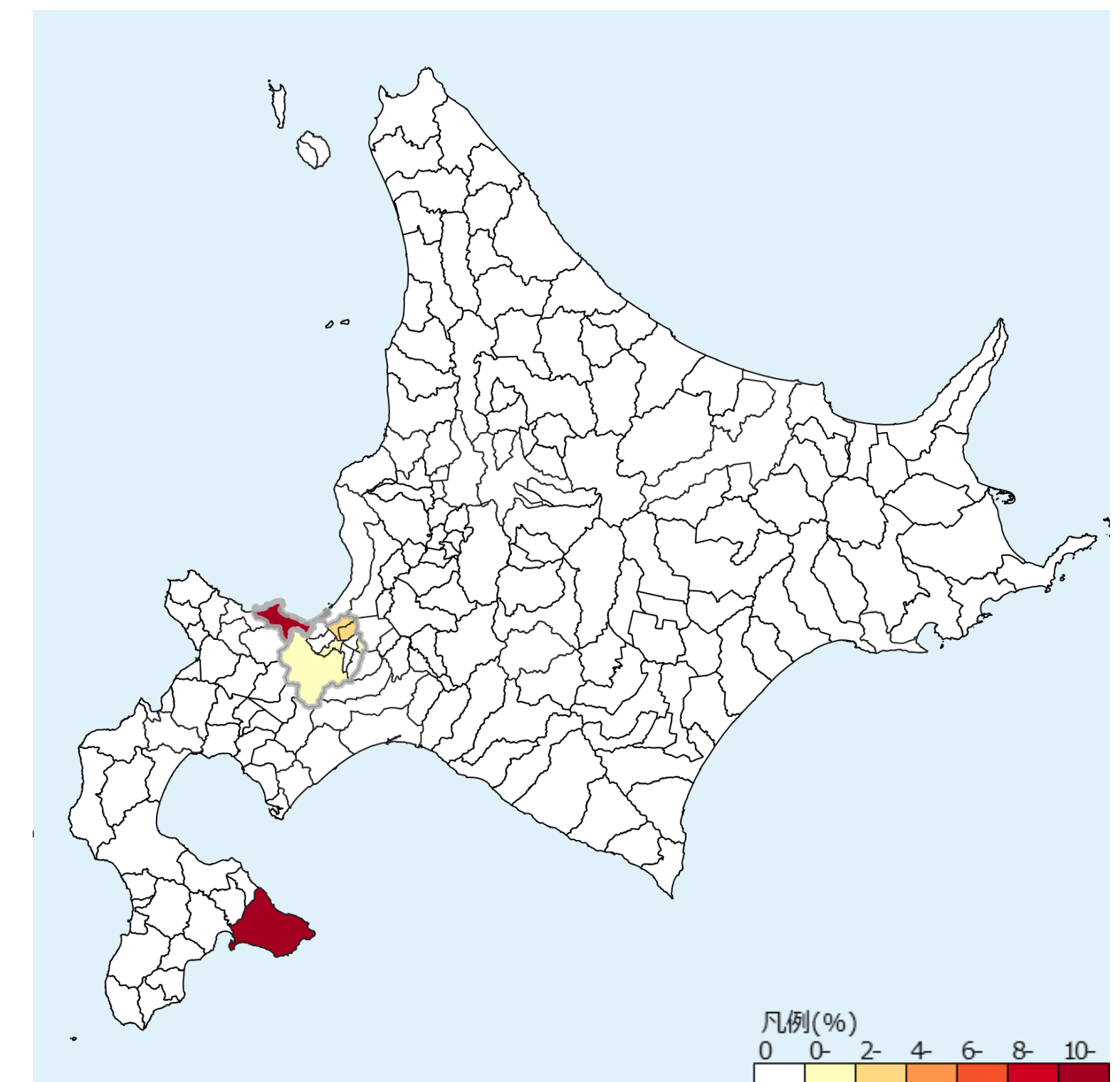
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】

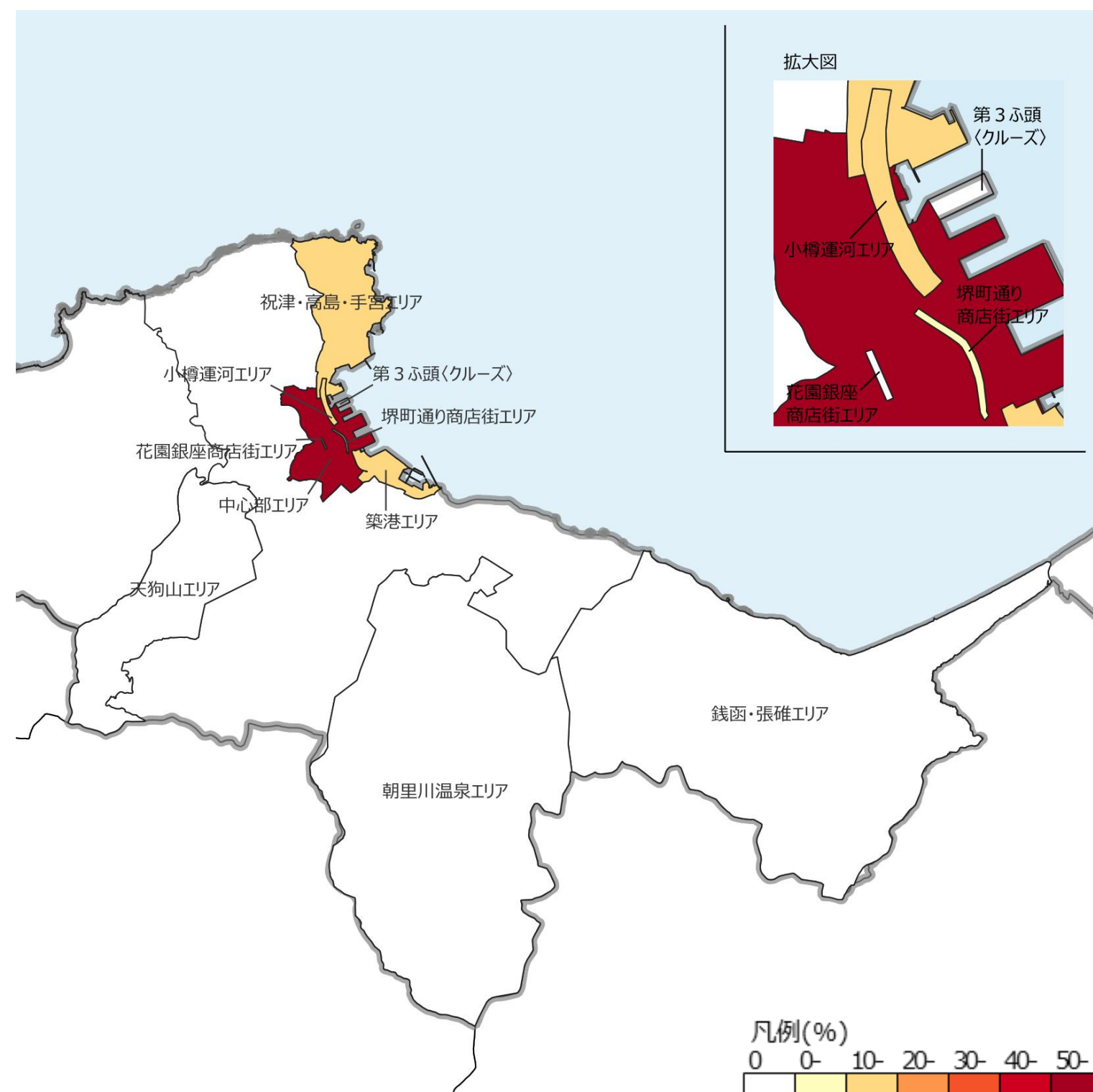


第3ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2025年）

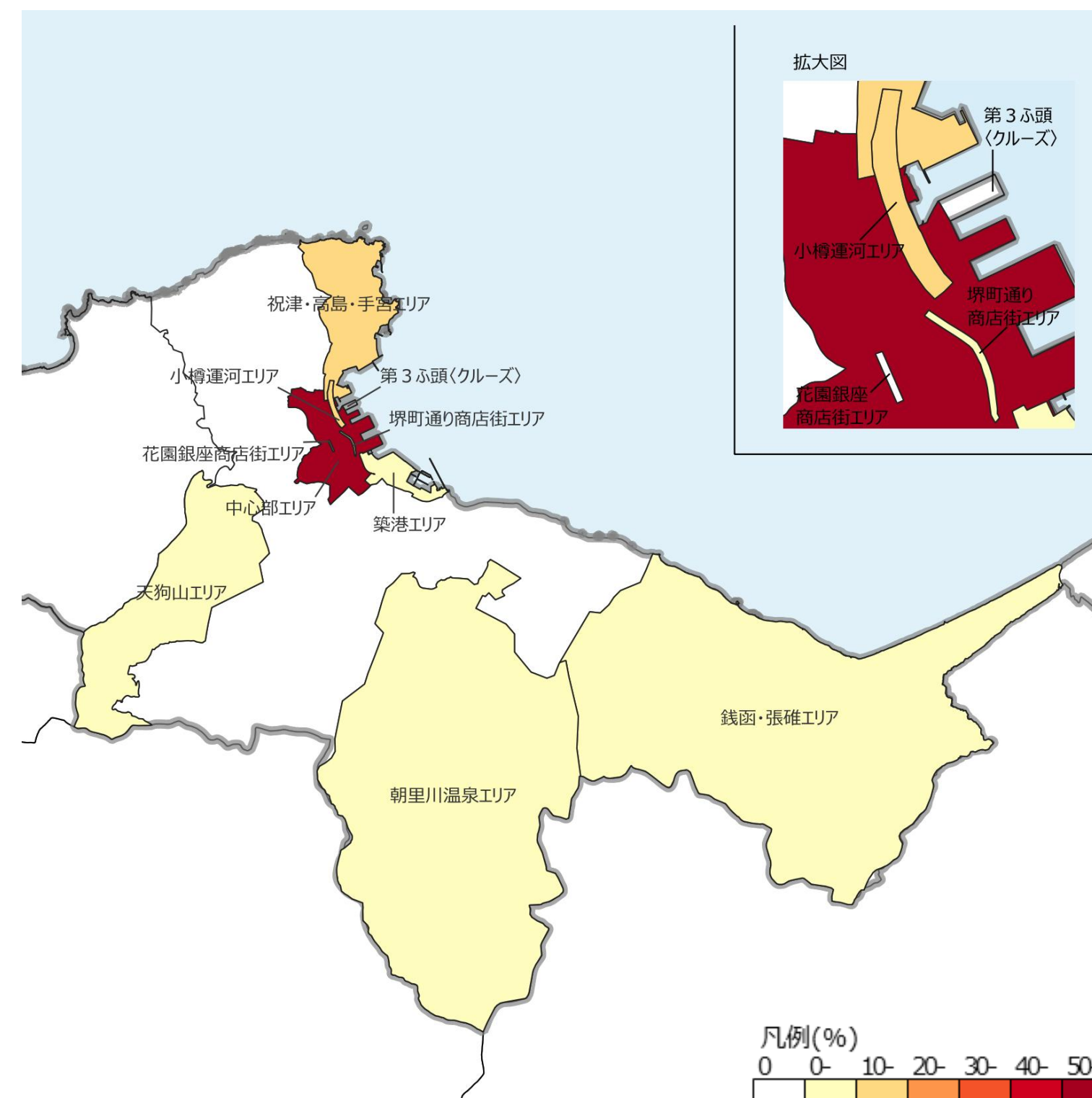
- ▶ 小樽市内における周遊先は、道内客・道外客は中心部エリアが特に多いが、小樽運河エリア・祝津エリアとの周遊もみられる。
- ▶ インバウンドは、中心部エリア・小樽運河エリアとの周遊が特に多いが、祝津エリア・堺町通りエリア・天狗山エリアとの周遊もみられる。

● 周遊先分布 〈小樽市内、2025年2～10月〉

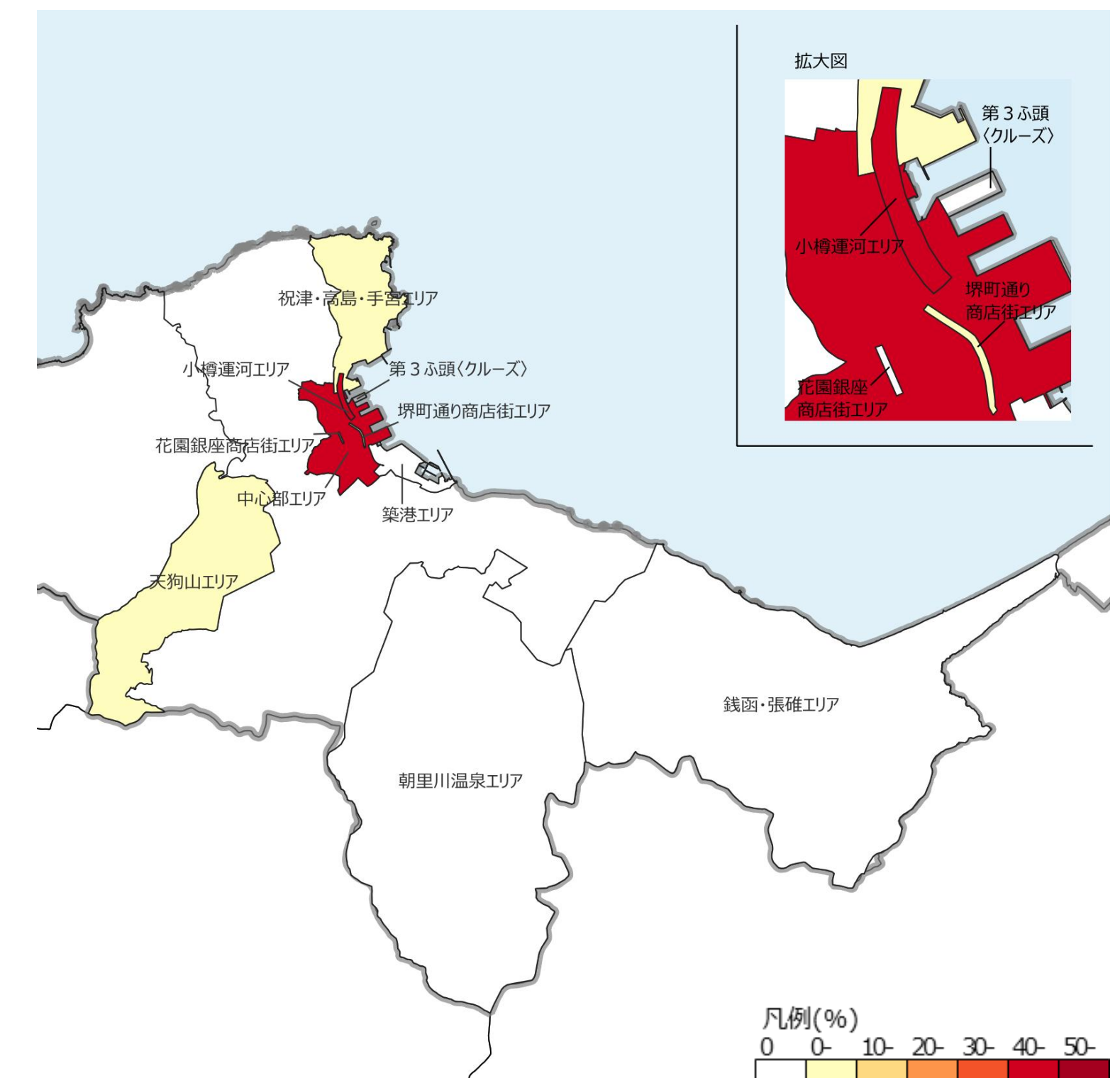
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

参考：特定地点におけるインバウンド来訪概況（2024/25年）

調査対象地	年	来訪ピーク日	来訪ピーク時間帯	平均滞在時間
船見坂	2024年（1～3月）	2月3日(土)	11時台（一日の13%）	0:18
	2025年（1～3月）	2月14日(金)	13時台（一日の 15% ）	0:21
三本木急坂	2024年（1～3月）	2月24日(土)	14時台（一日の14%）	0:09
	2025年（1～3月）	1月27日(月)	14時台（一日の14%）	0:09
JR朝里駅	2024年（1～3月）	1月31日(水)	17時台（一日の11%）	0:29
	2025年（1～3月）	1月28日(火)	15時台（一日の11%）	0:21
JR銭函駅	2024年（1～3月）	2月17日(土)	16時台（一日の11%）	0:10
	2025年（1～3月）	1月9日(木)	11時台（一日の 12% ）	0:23
祝津パノラマ展望台	2024年（1～3月）	2月6日(火)	10時台（一日の16%）	0:11
	2025年（1～3月）	2月16日(日)	10時台（一日の 18% ）	0:13
天狗山ロープウェイ 〈山麓周辺〉	2024年（1～3月）	2月3日(土)	16時台（一日の13%）	0:19
	2025年（1～3月）	1月23日(木)	16時台（一日の 15% ）	0:21

まとめ：小樽市インバウンド観光の概況（2025年）

観点	全域	エリア別
入込客数・居住国	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 総数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は落ち込む ➤ 国別では、1月・2月は中国、3月・4月・11月は台湾、5～10月・12月は韓国が最多 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中心部エリア・小樽運河・堺町通り商店街では、5月に香港・12月にタイが目立つ ➤ 祝津・高島・手宮エリアでは、5月に香港・4月にタイが目立つ ➤ 天狗山エリアでは、1月は中国、2～11月は台湾、12月は香港が最多 ➤ 築港エリアでは、1月・2月・12月は中国、3月・4月は台湾、5月は香港、6～11月は台湾が最多 ➤ 朝里川温泉エリアでは、1月・2月は中国、3月・4月は台湾、5～12月は韓国が最多
来訪時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本人に比べて、9～14時台に来訪が集中 ➤ 東アジア居住者は、2月が12～14時台、それ以外の月は9～11時台がピーク 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中心部エリアでは、7月を除き12～14時台がピーク ➤ 小樽運河・堺町通り商店街でも、一年を通じて12～14時台がピーク ➤ 築港エリアでは、来訪時間帯が比較的分散
滞在時間・宿泊数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 総じて日本人よりも長い、道外客を下回る月もみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも平均滞在時間の長い月がみられ、特殊需要がうかがえる
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本人よりもJR利用率が高い（自動車利用率が低い） 	-
周遊先	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東アジア・東南アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市・赤井川との周遊が特に多い ➤ 欧米豪居住者は、札幌のほか千歳・余市・仁木との周遊が特に多い 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリア-小樽運河-堺町通り商店街-築港エリア間の周遊が多い
冬季オーバーツーリズム	-	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 船見坂・JR銭函駅・祝津パノラマ展望台・天狗山ロープウェイでは、ピーク時間帯への集中が前年よりも深刻化するとともに、平均滞在時間が増加

主な業務目的

(業務仕様書より抜粋)

- 昨今、小樽市においては外国人観光客の増加などによる**オーバーツーリズム**が深刻化しており、**データ分析に基づく「打ち手」を検討**する必要があることから、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じて実施する観光入込調査結果を基礎として、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく**来訪者（国内・外国人）の動態把握**を網羅的かつ解像度の高い形で行い、オーバーツーリズムの実態を把握する

本業務の成果

- GPS人流データの活用により、多サンプルに基づく**来訪者（国内・外国人）の把握を実現した**
- 観光動態に係る**多様な情報を、エリア別に可視化・提供**することにより、オーバーツーリズムの実態（繁閑・傾向）など、**観光関連事業者等による「打ち手」実行に資する情報を提供した**
- また、従来人手をかけて行っていた**観光入込調査のデジタルトランスフォーメーション**や、**データドリブンマーケティング**の機運醸成にも繋がった

次年度に向けての

課題・展望

- 人気のエリア・地点において**特定時間帯へのインバウンドの集中が深刻化**している実態が改めて明らかになり、警備員配置などの対症療法のみならず、**エリアや時間帯の分散**を図る施策の検討・実行が急務
- 次年度以降も同一データによる分析を継続し、観光動態やオーバーツーリズムの**実態について定点観測**することで、多面的な現状把握や施策の効果検証などの**PDCAサイクルに寄与**することが望ましい